

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 1 号

(平成 2 年 1 月分月報)

平成 2 年 2 月 28 日発行

東京都立衛生研究所

話 題

東京都多摩地域におけるツツガ虫病 —患者の発生とその背景にあるリケッチア汚染—

平成元年の東京都におけるツツガ虫病的届出患者数は島しょ地区 39 例、その他 10 例の計 49 例（前年 35）であった。島しょ地区以外の 10 例中 6 例の患者は多摩地域（平成元年 11 月、青梅市 2、秋川市、町田市、奥多摩町、八王子市、各 1）において感染したことが確実視されている。また、東京に隣接する千葉県で 148 例（前年、43）、神奈川県で 108 例（前年、20）の届出があったことが伝わっている。まだ全国的な集計は未了であるが、関東地方では例年にない流行の規模であったことがうかがわれる。

東京都におけるツツガ虫病は島しょ地区に分布する七島熱として知られており、本病の対策も以前はこれらの地域に重点がおかれてきた。ところが、昭和 59 年 12 月町田市で患者発生があり、その感染は居住地あるいはその隣接地域でおこったものと推定されたため、多摩地域での本病の存在が新たな問題となった。

衛生研究所では昭和 60 年 4 月から町田、福生および五日市の各保健所と協力し、各管轄地域における野鼠のツツガ虫病リケッチア汚染状況の調査を行った。野鼠はヒトの感染に対して直接的にそのリケッチア伝播に関与しないが、ツツガ虫病的分布を調べるうえでよい指標動物となりうる。昭和 60 年 4 月、61 年 4 月、および 11 月に実施した調査結果では、捕獲野鼠 98 匹中 16 匹（16.3 %）からツツガ虫病リケッチアが分離された。抗体保有例をも合計すると、野鼠のリケッチア汚染率は、町田で 28.6 %、福生 28.3 %、五日市 10.5 %となり、各地区で濃厚な汚染が確認された。また、野鼠 84 匹から合計 7,474 個体（平均 89 個体）のツツガムシが回収され、しかもツツガ虫病媒介種として知られるフトゲツツガムシおよびタテツツガムシがそれぞれ全体の 24.0 %、および 11.4 %を占めていた。

同地区におけるリケッチアについての野外調査

は、昭和 29 年にも衛生研究所をはじめとする衛生局関係機関によって行われているが、その調査では、捕獲野鼠 70 匹からはツツガ虫病リケッチアは全く検出されず、回収されたツツガムシ数も 482 個体（平均 6.9 個体）と比較的少なく、ツツガ虫病媒介種としてはフトゲツツガムシが 7 個体確認されたのみであった。

これら新旧の調査の間には約 30 年の経過があり、この間の推移は不明であるが両者の結果を単純に比較すると、野鼠間のリケッチア侵淫度は進行していると推測することができる。このような状況からヒトへの感染の機会の増加が危惧されるところであったが、昭和 62 年 4 月には松原村、10 月には秋川市、11 月には奥多摩町で感染したと推定される患者発生が認められ、さらに、去年は前述のように多摩地域において 6 例の患者発生を見るに至った。なお、届出のなされない患者もあったという情報も有り、実際には患者発生はさらに多いものと考えられる。

ツツガ虫病的臨床診断はそれを念頭において診察すれば他疾患との鑑別は比較的容易であるが、確定診断のためには血清学的検査が必須である。ちなみに多摩地域で感染した上記合計 10 例中 8 例は間接蛍光抗体法（IF）で陽性が確認されている。もし疑わしい症例に遭遇した場合には、管轄の保健所もしくは下記に連絡をお願いしたい。

東京都立衛生研究所 微生物部 ウイルス研究科 電話 03（363）3231 内線 323

ツツガ虫病は一部地域の地方病との印象がいまだに根強く残っている。しかし、現在本病は地域的に多少の差があるとはいえ、全国的規模で発生しており、また遠隔地へ旅行して感染することも大いにありうる。これから春の感染時期をむかえ患者発生が懸念される。原因不明の熱性発疹性疾患についてはツツガ虫病をも疑ってみてほしい。

（ウイルス研究科 伊藤忠彦）

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	581							
中 央区 中 央保健所	962							
港区 保健衛生課検査係	2,007							
新 宿区 四 谷保健所	1,957							
文 京区 衛 生試験所	409							
台 東区 下 谷保健所	22							
墨 田区 向 島保健所	23							
江 東区 城 東保健所	28							
〃 深 川保健所	29							
品 川区 衛 生試験所	1,585 (11)							
目 黒区 衛 生試験所	1,230							
大 田区 衛 生検査所	2,304							
世田谷区 世田谷保健所	112							
渋谷区 渋谷保健所	1,051							
中 野区 衛 生試験所	1,824							
杉 並区 衛 生試験所	1,577 (13)							
豊島区池袋・長崎保健所	51							
北 区 衛 生試験所	399							
荒 川区 荒 川保健所	300 (1)							
板 橋区 検査センター	2,533							
練 馬区 衛 生試験所	3,103							
足 立区 衛 生試験所	1,684 (7)							
葛 飾区 葛飾北保健所	2,059							
江戸川区 江戸川保健所	2,006							
小 計	27,836 (32)							
東 京 都 三 鷹保健所	354							
八王子保健所	78							
田 無保健所	104							
島しょ保健所 大 島	207							
三 宅	29							
八 丈	61							
小 笠 原	0							
小 計	833							
衛生研究所 本 所	480 (181)		2 (2)		1 (1)	1 (1)		2 (2)
多摩支所	573							
小 計	1,053 (181)		2 (2)		1 (1)	1 (1)		2 (2)
合 計	29,722 (213)		2 (2)		1 (1)	1 (1)		2 (2)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1			1	
						1	
							1
			1			1 (1)	6 (6)
				1		1	
				1			
		1	1				
			2	2			
			1				6 (6)
			1	1		1	
		1		1		1 (1)	3 (3)
			1				
		2	8	6		6 (2)	16 (15)
				1			
				1			
		4 (4)	11 (10)	4 (3)	1 (1)		85 (48)
		1					
		5 (4)	11 (10)	4 (3)	1 (1)		85 (48)
		7 (4)	19 (10)	11 (3)	1 (1)	6 (2)	101 (63)

表 2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名	全 国（元 年12月分）				東 京（2 年1月分）		
	地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会
大 腸 菌	79 (57)	116	1 (1)	19 (19)	7 (6)	9 (8)	
赤 痢 菌 (A-D群)	42 (19)	2 (1)	23 (22)	15 (15)	2 (2)		
チ フ ス 菌	3 (1)	1	1 (1)				
パ ラ チ フ ス A 菌	1 (1)						
その 他 の サ ル モ ネ ラ	O4 (B)	36 (2)	28	5 (5)	5 (4)	2	2
	O7 (C ₁ 、C ₄)	35 (1)	13	1 (1)	11 (10)	8	1
	O8 (C ₂ 、C ₃)	32 (4)	14	3 (3)	4 (3)	7	3
	O9 (D ₁)	107 (3)	17			4 (1)	1
	O9、46 (D ₂)		2				
	O3、10 (E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	29 (4)		3 (3)	1 (1)		
	O1、3、19 (E ₄)	8 (2)		1 (1)		1	
	O13 (G ₁ 、G ₂)					1 (1)	
	O18 (K)	3	2	1 (1)			
そ の 他 群 不 明		1					
腸 炎 エ ル シ ニ ア		14					
偽 結 核 菌							
コ レ ラ 菌 (O1)	1 (1)						
〃 (O1以外)	4 (4)			6 (6)	2 (2)		
腸 炎 ビ ブ リ オ	19 (13)	3		82 (82)	11 (11)	4 (4)	
そ の 他 の ビ ブ リ オ	1 (1)				1 (1)		
エ ロ モ ナ ス	11 (9)	24			12 (12)	1 (1)	
カンピロバクター	40 (5)	304	2		10 (8)	2 (2)	
ブ ド ウ 球 菌	31	64		4 (4)	34		
A 型 ウ ェ ル シ ュ 菌	1						
ボツリヌス菌 (E型)							
〃 (その他)							
セ レ ウ ス 菌		6					
淋 菌	30	40					
髄 膜 炎 菌		1					
レ ン サ 球 菌 (A群)	179	1,387					
〃 (B群)	47	939					
〃 (C群)	1	37					
〃 (G群)	9	100					
〃 (不明)		98					
ジ フ テ リ ア 菌							
百 日 咳 菌	3						
肺 炎 球 菌		1,132					
レ ジ オ ネ ラ							
レ プ ト ス ビ ラ							
赤 痢 ア メ ー バ							
マ ラ リ ア							
そ の 他 の 細 菌	25 (20)	2,374		35 (35)	10 (10)		

() : 海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（元 年12月分）				東 京（2 年1月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2			1(1)			
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b						
	1						
	2a	1	1				
	2b						
	3a	1			1(1)		
	3b						
	4a	9(8)	1(1)				
	4b						
	4		2(2)	3(3)			
	5a						
	5b						
	6	1(1)	2(2)	2(2)			
	X						
	Y						
	型不明	3(3)	13(13)				
C 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8				1(1)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明						
D 群	28(7)	1(1)	4(4)	9(9)			
	その他						

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1989 年 12 月 16 日～1990 年 1 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所（患者住所）	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
A	東京都文京区本郷	1	1989.12
"	東京都大田区雪谷	1	"
"	大阪府高槻	1 (1)	1989. 9
B1	愛知県一宮	1	1987.12
"	"	1	1988. 1
D2	東京都墨田区本所	1 (1)	1989. 6
"	大阪府狭山	1	1989. 9
E1	東京都千代田区麴町	1	1989.12
"	徳島県池田	1	"
E2	栃木県宇都宮	1	"
小 計		10 (2)	
パラチフス A 菌			
小 計		0	
合 計		10 (2)	

() 海外輸入例再掲

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年7月～1989年12月報告分)

	7 か ツ	8 か ツ	9 か ツ	10 か ツ	11 か ツ	12 か ツ	1 か ツ	2 か ツ	3 か ツ	4 か ツ	5 か ツ	6 か ツ	7 か ツ	8 か ツ	9 か ツ	10 か ツ	11 か ツ	12 か ツ	コ ウ ケ イ
ヒトウイルス	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒコルナ NT	17	20	2	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	44
コクサッキー-A1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A2	24	30	50	28	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	135
コクサッキー-A3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	6	2	2	-	-	-	21
コクサッキー-A4	36	27	15	14	2	1	-	2	-	10	27	70	135	29	20	1	-	-	389
コクサッキー-A5	12	3	2	2	-	-	-	-	-	-	1	5	12	4	-	-	-	-	41
コクサッキー-A6	11	5	2	2	2	1	-	1	-	2	3	11	21	12	1	1	-	-	75
コクサッキー-A7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	22	10	-	-	-	-	42
コクサッキー-A9	1	-	1	1	1	1	1	-	2	6	3	35	49	18	4	8	1	-	132
コクサッキー-A10	93	50	36	14	7	-	-	-	-	-	4	20	5	1	-	-	-	-	230
コクサッキー-A16	121	68	54	31	12	4	-	-	-	2	3	7	6	6	2	-	-	-	316
コクサッキー-A24	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
コクサッキー-B1	1	-	-	2	2	-	1	-	2	1	-	3	10	3	2	-	-	-	27
コクサッキー-B2	-	-	1	1	3	-	-	2	6	-	2	9	14	19	7	1	-	-	65
コクサッキー-B3	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	1	2	8	1	4	-	-	-	20
コクサッキー-B4	10	6	19	8	6	9	3	3	8	7	7	52	86	35	16	8	1	-	284
コクサッキー-B5	9	1	3	2	2	-	-	1	5	14	47	64	80	19	11	8	1	-	267
コクサッキー-B6	2	5	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	1	-	1	-	-	15
エコー-3	16	23	5	21	6	4	5	11	4	2	1	5	4	2	-	-	-	-	109
エコー-4	3	2	-	2	3	-	4	1	1	62	80	52	20	23	5	1	-	-	259
エコー-5	-	-	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコー-6	4	4	5	9	4	-	4	3	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	38
エコー-7	-	-	5	2	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	12
エコー-9	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	2	-	6
エコー-11	7	5	3	1	3	12	5	2	3	12	13	49	60	36	35	9	2	-	257
エコー-12	1	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	8
エコー-14	2	2	-	-	2	-	2	1	-	-	2	5	2	-	-	1	1	-	20
エコー-16	2	2	2	3	1	1	1	-	2	-	2	2	-	-	1	-	-	-	19
エコー-18	398	138	94	32	20	41	8	1	-	-	-	2	2	4	-	-	-	-	740
エコー-19	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー-21	9	25	36	16	1	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	93
エコー-22	2	2	1	2	2	-	-	-	-	-	2	3	-	-	1	-	-	-	15
エコー-24	1	1	-	3	2	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	10
エコー-25	3	1	2	1	1	1	1	-	-	1	-	2	4	1	-	-	-	-	18
エコー-30	-	2	1	1	7	-	4	3	10	7	6	45	125	107	75	35	4	-	432
ネーリオ 1	-	-	1	4	3	6	6	4	2	9	3	1	1	-	-	1	-	-	41
ネーリオ 2	-	-	1	7	10	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	-	-	-	54
ネーリオ 3	3	-	1	2	2	-	1	5	3	6	4	2	2	-	-	-	-	-	31
エンテロ 71	36	19	10	9	4	1	-	-	-	2	-	1	11	1	1	3	-	-	98
ライノ	-	-	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフルA NT	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
インフルA (H1)	-	-	-	-	21	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	776
インフルA H1N1	-	-	-	1	6	204	433	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	721
インフルA (H3)	1	-	-	-	-	-	2	2	2	2	-	-	-	-	4	-	3	6	22
インフルA H3N2	-	-	-	-	-	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	40
インフルエンザB	-	-	-	1	-	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	-	38
インフルエンザC	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	6
パラインフル 1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	12
パラインフル 2	2	1	6	9	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
パラインフル 3	6	-	-	-	-	1	-	-	-	9	17	3	1	-	1	-	-	-	38
RSウイルス	-	-	2	4	15	21	14	2	3	1	1	-	-	-	-	4	4	-	72
ムンプス	8	10	2	7	10	8	9	4	5	6	13	31	23	27	13	27	12	-	215
マジン	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
フクシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
レオ NT	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	6
ロタ	3	3	3	5	34	105	155	183	130	77	36	8	4	-	1	-	-	-	752
コカクサッキーウイルス	7	1	2	5	61	52	57	42	21	20	6	8	10	2	-	-	1	-	295
アデノ NT	16	11	9	20	19	11	6	3	5	8	8	4	2	4	2	-	1	-	129
アデノ 1	21	11	14	6	10	8	9	6	5	13	12	15	10	5	5	4	3	-	157
アデノ 2	26	11	10	4	15	19	9	10	9	20	16	20	12	9	5	4	1	-	200
アデノ 3	57	47	30	12	15	15	8	8	13	6	11	40	36	46	23	11	2	-	380
アデノ 4	2	21	26	21	7	3	3	2	3	3	1	4	3	2	1	1	-	-	103
アデノ 5	6	6	5	5	8	15	2	3	5	8	3	4	6	5	3	-	-	-	84
アデノ 6	8	4	1	2	8	3	14	7	3	3	13	6	5	2	2	1	1	-	83
アデノ 8	10	10	32	33	14	12	6	3	7	2	1	3	5	6	3	2	-	-	149
アデノ 11	4	6	3	2	5	4	3	-	-	2	3	-	1	-	-	-	-	-	33
アデノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	2	6	1	10	2	1	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	43
アデノ 35	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 37	1	5	8	2	2	3	2	1	3	2	3	4	1	1	-	-	-	-	38
アデノ 41	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
ヘルペスウイルス	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
タンシジョンヘルペス NT	8	17	12	5	15	6	3	4	4	4	2	2	4	2	2	2	-	-	92
タンシジョンヘルペス 1	29	37	30	25	46	37	32	30	43	23	26	36	33	21	11	13	3	-	475
タンシジョンヘルペス 2	5	8	5	10	14	8	6	9	11	5	5	5	10	5	3	6	5	-	120
サイトメガロウイルス	2	-	4	-	2	4	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	14
サイトメガロ	46	49	27	30	39	39	21	4	-	2	1	1	1	-	-	1	-	-	261
B型肝炎	4	-	22	2	1	2	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	-	-	76
ツツカミシ	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
クラミジア NT	2	-	1	1	-	2	-	-	2	3	3	1	6	3	2	-	1	-	27
トラコマタ NT	37	50	38	22	41	29	16	14	20	21	19	17	18	24	23	10	14	-	413
ハイエンマイコプラズマ	17	24	31	56	44	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	-	257
コウケイ	1157	786	693	530	571	1081	1249	557	380	423	437	683	920	518	328	167	74	7	10561

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノロウィーク、カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年1月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
Coxsackie	A 9	1	元年12月	ふん便	海外帰国者検便
	B 3	1	"	"	集団発生（疾患調査）
Polio	1	1	"	咽頭ぬぐい液	定点観測
Influenza	AH 3	2	元年11月	咽頭うがい液	集団発生（疾患調査）
		13	元年12月	"	"
		5	2年1月	"	"
		1	"	"	流行予測
Influenza	B	2	"	"	集団発生（疾患調査）
Norwalk-like*		1	元年11月	ふん便	定点観測
		6	元年12月	"	集団発生（疾患調査）
		19	2年1月	"	"
Adeno	1	2	元年11月	咽頭ぬぐい液	定点観測
		1	"	ふん便	"
	3	2	元年12月	咽頭うがい液	流行予測
		1	"	咽頭ぬぐい液	定点観測

* 電頭法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年1月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性患者
衛生研究所	2	—	—	—

* ELISA法による検出、()内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

※台東病院の検出状況（1月分）は次号に掲載

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年1月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	196	—	26	10
陽性件数	6(4)	—	1	2(2)

()内は確認試験（TPHA及びFTA—ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 元—75



東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 2 号
(平成 2 年 2 月分月報)
平成 2 年 3 月 31 日発行
東京都立衛生研究所

話 題

1989 ～ 90 年冬季のインフルエンザ

わが国では毎年冬季になるとインフルエンザの流行があり、その主因となるウイルスの型は年々異なっている。過去12年間の趨勢をみると、流行主要原因ウイルスの型は次の通りである。

1977～78年	A(H3N2)、A(H1N1)
1978～79年	A(H1N1)
1979～80年	A(H1N1)、A(H3N2)、B
1980～81年	"
1981～82年	B、A(H3N2)
1982～83年	A(H3N2)
1983～84年	A(H1N1)
1984～85年	B
1985～86年	A(H3N2)
1986～87年	A(H1N1)
1987～88年	A(H3N2)、B
1988～89年	A(H1N1)

特に、ここ数年間についてA型に限って言えば香港型(H3N2)とソ連型(H1N1)によるものが毎年交互に流行している。これまでのインフルエンザの流行歴からすると、香港型が1968年に登場して以来、上記のように今もって流行していることは興味深い。なぜならば、これまでにA型インフルエンザウイルスは年々少しづつ連続的な抗原変異を繰り返しながら、約10年を経ると亜型に分類される程の大きな不連続変異を起こしており、しかも一度そのような不連続変異が起こると、それまで流行していた亜型は衰退し、ついには消失する現象が認められているからである。

ところが1977年にAソ連型が登場した後でもA香港型は消失せず、若干の抗原変異を起こしながらいまだに存続している。

前(1988～89)冬季の東京

都内におけるインフルエンザの流行は、当研究所で実施した病因検索結果から判断する限りでは、Aソ連型の単独流行であり、全国的にも分離ウイルスの型別分布は、Aソ連型96.3%、A香港型3.1%、B型0.6%であった(国立予防衛生研究所による)。

今冬季の都内における集団かぜの初発は、1989年11月7日の八王子市立恩方中学校における流行であり、当研究所で行ったウイルス分離試験によってインフルエンザA香港型ウイルスが分離された。同型ウイルスはすでに同年9月に横浜市における定点観測によっても検出されていたが、集団発生としては上記集団事例が全国的に見ても最初の確認例であった。その後の都内における集団かぜの病因検索結果は表に示すとおりである。A香港型が主体であったが、1990年1月中旬からはB型による事例も加わった。今回の流行では、同一集団事例内の患者からA香港型およびB型ウイルスが同時に分離された事例を2例認めており、流行期のある期間、同じ地域に両ウイルスが同時流行(6ページへつづく)

表 1989～90年冬季、東京都における集団かぜ患者の病因検索状況

発生年月旬	検索対象 集団例数	診断結果					
		インフルエンザ			アデノ +	SRSV	不明
		A香港型	B 型	A香港 + B 型	A香港型		
1989. 11上	1	1					
中	1	1*					
下	1	1					
12上	3	1					2
中	13	11**			1***	1*	
下	1						1
1990. 1中	9	4	5				
下	2		1	1			
2上	4		3	1			
	35	19	9	2	1	1	3

* : 患者ベア血清の血清学的診断による。

** : 内3例は血清学的診断による。

***: アデノウイルスは血清学的診断による。

上記以外はウイルスを検出

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				計
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	
千代田区 神 田保健所	468							
中 央区 中 央保健所	915							
港区 保健衛生課検査係	1,971							
新 宿区 四 谷保健所	2,285							
文 京区 衛 生試験所	359							
台 東区 下 谷保健所	20							
墨 田区 向 島保健所	4							
江 東区 城 東保健所	32							
” 深 川保健所	112							
品 川区 衛 生試験所	1,317 (7)							
目 黒区 衛 生試験所	1,228							
大 田区 衛 生検査所	2,384							
世田谷区 世田谷保健所	179							
渋谷区 渋谷保健所	3,145							
中 野区 衛 生試験所	2,100							
杉 並区 衛 生試験所	2,186 (14)							
豊島区池袋・長崎保健所	40							
北 区 衛 生試験所	392							
荒 川区 荒 川保健所	324							
板 橋区 検査センター	2,810							
練 馬区 衛 生試験所	2,902							
足 立区 衛 生試験所	1,790 (4)						1 (1)	1 (1)
葛 飾区 葛飾北保健所	2,353							
江戸川区 江戸川保健所	1,987							
小 計	31,303 (25)						1 (1)	1 (1)
東 京 都 三 鷹保健所	318							
八王子保健所	107							
田 無保健所	163							
島しょ保健所 大 島	278							
三 宅	25							
八 丈	72							
小 笠 原	0							
小 計	963							
衛生研究所 本 所	415 (174)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)
多摩支所	420							
小 計	835 (174)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	1 (1)
合 計	33,101 (199)	1 (1)	1 (1)				2 (2)	2 (2)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年2 月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			2				
			1				
							4 (4)
		1					
			4				
		1	1	3	1	4	
		1	2				
			1	3 (1)			8 (8)
					1		
			1	1			
			1				2 (2)
		3	13	7 (1)	2	4	14 (14)
					1		
					1		
		7 (7)	5 (4)	8 (7)	2 (2)	1 (1)	41 (34)
		7 (7)	5 (4)	8 (7)	2 (2)	1 (1)	41 (34)
		10 (7)	18 (4)	15 (8)	5 (2)	5 (1)	55 (48)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（2年1月分）				東 京（2年2月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会協
大腸菌		55(35)	99	1(1)	12(12)	2(2)	9(9)	
赤痢菌(A-D群)		21(16)	2(1)	12(9)	13(13)	1(1)	1(1)	
チフス菌		7(3)						
パラチフスA菌								
その他のサルモネラ	O4(B)	56(10)	29		10(10)	7(7)	3	
	O7(C ₁ 、C ₄)	59(16)	15		2(2)	5(4)	13	2
	O8(C ₂ 、C ₃)	60(8)	16	1	4(4)	8(7)	7(1)	5
	O9(D ₁)	37(3)	14			1(1)	4	
	O9、46(D ₂)		3					
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	11(8)			8(8)	2(2)	3	
	O1、3、19(E ₄)	1	1					
	O13(G ₁ 、G ₂)	5(2)						
	O18(K)	3(1)	1					
その他の群不明		1(1)	1		1(1)			
腸炎エルシニア		3			2(2)			
腸炎エルシニア		1	8					
偽結核菌			2					
コレラ菌(O1)						1(1)		
" (O1以外)		6(6)			12(12)	1(1)		
腸炎ビブリオ		26(23)	1	2(2)	74(74)	5(5)	3(3)	
その他のビブリオ		3(3)			1(1)			
エロモナス		15(15)	5		2(2)	12(12)		
カンピロバクター		31(12)	292	3		7(7)		
ブドウ球菌		42	32	1(1)				
A型ウェルシュ菌		2						
ボツリヌス菌(E型)								
" (その他)								
セレウス菌		4	9			7		
淋菌		19						
髄膜炎菌								
レンサ球菌(A群)		106						
" (B群)		20						
" (C群)		1						
" (G群)		5						
" (不明)								
ジフテリア菌								
百日咳菌		1						
肺炎球菌		3						
レジオネラ								
レプトスピラ								
赤痢アメーバ				1				
マラリア								
その他の細菌		34(31)		3(1)	61(61)	8(8)	2(2)	

(): 海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（ 2 年1月分）				東 京（ 2 年2月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1		1 (1)	1 (1)			
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b						
	1						
	2a	5 (3)	1	4 (1)	2 (2)		
	2b	1 (1)					
	3a	2 (2)		2 (2)	1 (1)		
	3b						
	4a						
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6	2 (2)		1 (1)	2 (2)		
	X						
	Y	1 (1)					
	型不明						
C 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8	1 (1)		1 (1)			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明						
D 群	9 (6)	1 (1)	3 (3)	7 (7)	1 (1)	1 (1)	
	その他						

()：海外旅行者分再掲

していたと推定された。

全国的にも今冬季の流行はA香港型を主体としてB型が混在しているようである（病原微生物検出情報による）。

なお、インフルエンザウイルス以外の病因としては、1989年12月中旬に当研究所において検索対象とした13事例の内1例に小型球形ウイルス（SRSV）感染が証明され、また、ペア血清による抗体価上昇試験の結果、A香港型ウイルス流行事例の中にアデノウイルスに対する抗体が有意に上昇した患者の混在も確認されている。

衛生局防疫結核課の情報によれば、都内公立学校の学級閉鎖数の推移は、1989年12月までに141学級であったが、本1990年に入って第2週までの累計が158学級、第3週379、第4週1,186、第

5週3,380、第6週5,969と急激に増加した（前冬季の約7倍）。但し、都感染症サーベイランス事業によるインフルエンザ様疾患の患者数は第6週をピークとして次週以後第9週まで急激に減少してきており、流行は終息に近づいていると考えられる。

インフルエンザの流行規模には、抗原変異の程度などのウイルス側要因、抗体保有状況など宿主側要因、気象など自然環境要因ならびに社会的環境要因が複雑にからみあっていると考えられる。今冬季の流行規模が前冬季をかなり上回り、1984年以来の大規模なものであったが、その理由については流行株の抗原分布、抗体保有状況の調査などを待って推論したい。

（ウイルス研究科 伊藤忠彦）

表4 チフス菌・パラチフスA菌のフェージ型別成績

（1990年1月16日～2月15日受理分）
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所（患者住所）	例数	菌分離年月
チフス菌			
E1	新潟県新潟市新潟	2	1990. 1
"	兵庫県赤穂	1	"
"	福岡県福岡市東	1	"
M1	東京都文京区本郷	1 (1)	"
"	山口県徳山	1	1989.12
UVS1*	大阪府枚方	1 (1)	"
"	兵庫県神戸市東灘	1 (1)	1989.11
B1	岐阜県岐阜市	1 (1)	1989.12
C1	神奈川県横浜市緑	1 (1)	1990. 2
J1	山口県徳山	1	1989.12
小計		11 (5)	
パラチフスA菌			
1	大阪府枚方	1 (1)	1989.12
小計		1 (1)	
合計		12 (6)	

（ ）：海外輸入例再掲

*：UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年8月～1990年1月報告分)

	8 か ツ	9 か ツ	10 か ツ	11 か ツ	12 か ツ	1 か ツ	2 か ツ	3 か ツ	4 か ツ	5 か ツ	6 か ツ	7 か ツ	8 か ツ	9 か ツ	10 か ツ	11 か ツ	12 か ツ	コ ウ ケ イ
ミト*ウチウイルス	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒ*コル NT	20	2	2	1	1	-	-	-	1	5	2	4	10	-	-	-	-	48
コクサキ-A1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサキ-A2	30	50	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111
コクサキ-A3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	7	4	2	-	-	-	25
コクサキ-A4	27	15	14	2	1	-	2	-	10	29	80	147	33	23	1	-	-	384
コクサキ-A5	3	2	2	-	-	-	-	-	-	1	5	13	5	1	-	-	-	32
コクサキ-A6	5	2	2	2	1	-	1	-	2	4	11	22	12	1	1	-	-	66
コクサキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
コクサキ-A8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	22	11	1	2	-	-	46
コクサキ-A9	-	1	1	1	1	1	-	2	6	3	35	60	26	9	9	2	-	157
コクサキ-A10	50	36	14	7	-	-	-	-	-	4	21	5	1	-	-	-	-	138
コクサキ-A16	68	54	31	12	4	-	-	-	2	3	7	6	2	-	-	-	-	195
コクサキ-A24	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
コクサキ-B1	-	-	2	2	-	1	-	2	1	-	3	10	3	2	-	-	-	26
コクサキ-B2	-	1	1	3	-	-	2	6	-	2	9	14	19	19	2	1	-	79
コクサキ-B3	-	3	-	-	1	-	-	-	-	1	2	8	1	4	1	-	-	22
コクサキ-B4	6	19	8	6	9	3	3	8	7	8	52	92	40	21	12	1	-	295
コクサキ-B5	1	3	2	2	-	-	1	7	18	58	74	101	21	15	13	3	-	319
コクサキ-B6	5	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	14
エ*コ 3	23	5	21	6	4	5	11	4	2	1	9	4	2	-	-	-	-	97
エ*コ 4	2	-	2	3	-	4	1	1	62	80	52	20	23	5	1	-	-	256
エ*コ 5	-	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エ*コ 6	4	5	9	4	-	4	3	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	34
エ*コ 7	-	5	2	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	12
エ*コ 9	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1	6	1	16
エ*コ 11	5	3	1	3	12	5	2	3	12	13	52	62	45	48	24	3	-	293
エ*コ 12	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	7
エ*コ 14	2	-	-	2	-	2	1	-	-	2	5	2	-	-	1	1	-	18
エ*コ 16	2	2	3	1	1	1	-	2	-	2	2	-	-	1	-	-	-	17
エ*コ 18	138	94	32	20	41	8	1	-	-	2	2	4	1	-	-	-	-	343
エ*コ 21	25	36	16	1	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	84
エ*コ 22	2	1	2	2	-	-	1	-	-	2	3	1	-	3	-	-	-	17
エ*コ 24	1	-	3	2	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9
エ*コ 25	1	2	1	1	1	1	-	-	1	-	2	4	1	17	1	-	-	33
エ*コ 30	2	1	1	7	-	4	3	10	7	6	51	128	108	75	38	4	2	447
ホ*リオ 1	-	1	4	3	6	6	4	2	9	3	1	1	-	-	1	-	-	41
ホ*リオ 2	-	1	7	10	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	1	-	-	54
ホ*リオ 3	-	1	2	2	-	1	5	3	6	4	2	2	-	-	-	-	-	28
エンテロ 71	19	10	9	4	1	-	-	2	-	2	11	2	1	3	1	2	-	67
ライノ	-	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフルA NT	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
インフルA (H1)	-	-	-	21	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	776
インフルA H1N1	-	-	1	6	204	433	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	721
インフルA (H3)	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	97	122
インフルA H3N2	-	-	-	-	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	9	38	85
インフルエンザB	-	-	1	-	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	7	45
インフルエンザC	-	-	1	-	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	6
パ*ラインフル 1	-	-	-	-	-	-	9	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	12
パ*ラインフル 2	1	6	9	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
パ*ラインフル 3	-	-	-	-	1	-	-	-	9	17	3	1	-	1	-	-	-	32
RSウイルス	-	2	4	15	21	20	8	12	4	1	-	1	-	-	4	4	-	96
ムンブ*ス	10	2	7	10	8	10	4	8	15	16	34	25	28	14	31	33	6	261
マシ	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
フクシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	2
レ*オ NT	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
レ*オ 2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	2
ロタ	3	3	5	34	105	155	184	131	77	36	8	4	-	1	-	15	22	783
コ*タ*タ*リウイルス	1	2	5	61	52	57	42	21	20	6	8	10	2	-	-	6	4	297
ア*チ*ノ NT	11	9	20	19	11	7	5	9	12	12	4	3	14	5	1	4	4	150
ア*チ*ノ 1	11	14	6	10	8	9	6	5	13	15	15	11	5	5	4	3	1	141
ア*チ*ノ 2	11	10	4	15	19	10	10	9	20	16	21	12	9	6	5	1	3	181
ア*チ*ノ 3	47	30	12	15	15	8	10	14	6	12	41	41	70	36	13	2	1	373
ア*チ*ノ 4	21	26	21	7	3	4	3	3	4	1	4	3	3	2	1	-	-	106
ア*チ*ノ 5	6	5	5	8	15	2	3	8	8	3	5	6	5	5	2	-	1	87
ア*チ*ノ 6	4	1	2	8	3	14	7	3	4	13	8	5	2	2	2	-	-	80
ア*チ*ノ 8	10	32	33	14	12	7	4	8	2	2	3	5	6	3	2	-	-	143
ア*チ*ノ 11	6	3	2	5	4	4	-	1	3	5	-	1	-	-	-	-	-	34
ア*チ*ノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ア*チ*ノ 19	6	1	10	2	1	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	41
ア*チ*ノ 35	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ア*チ*ノ 37	5	8	2	2	3	2	1	3	2	3	4	1	1	-	-	-	-	37
ア*チ*ノ 41	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
ヘル*ス*ク*ン	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
タン*シ*ン*ヘル*ス*NT	17	12	5	15	6	3	4	6	10	12	4	5	3	2	2	2	1	109
タン*シ*ン*ヘル*ス* 1	37	30	25	46	37	33	33	49	29	37	39	33	23	15	15	9	5	495
タン*シ*ン*ヘル*ス* 2	8	5	10	14	8	7	11	12	8	7	6	10	5	3	7	8	5	134
ス*イ*ウ*タ*イ*シ*ウ*ウ*ウ*シ	-	4	-	2	4	1	2	1	1	5	2	-	1	-	1	-	-	24
リ*イ*ト*メ*カ*ロ	49	27	30	39	39	31	18	31	40	12	4	5	5	2	2	2	-	336
B*タ*タ*ン*エン	-	22	2	1	2	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	-	-	72
ツ*ツ*カ*ム*シ	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
ク*ラ*シ*ア* NT	-	1	1	-	2	-	-	2	3	3	1	6	3	2	-	1	-	25
トラ*コ*マ*チ*ス NT	50	38	22	41	29	16	14	20	21	19	17	18	24	23	11	20	1	384
ハイ*エン*マイ*コ*ラ*ス*マ	24	31	56	44	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	2	242
コ*ラ*タ*イ	786	693	530	571	1081	1273	591	447	502	512	737	997	609	419	220	163	203	10334

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年2月分）

ウイルス／型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
Influenza AH3	1	元年12月	咽頭うがい液	集団発生（疾患調査）
	1	2年 1月	〃	〃
Influenza B	5	〃	〃	集団発生（疾患調査）
Mumps	1	元年12月	髄液	熱性疾患（MMR）
Rota*	1	2年 1月	ふん便	集団発生（疾患調査）
	1	〃	〃	定点観測
	2	2年 2月	〃	〃
Norwalk-like**	13	2年 1月	ふん便	集団発生（疾患調査）
	10	2年 2月	〃	〃
Adeno 3	1	元年12月	咽頭ぬぐい液	定点観測

* ELISA法による検出

** 電顕法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年1月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	30	8（一）	3（一）	8

（平成2年2月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	26	8（一）	1（一）	10
衛生研究所	4	—	—	—

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年2月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	94	1	23	7
陽性件数	1	—	—	3（2）

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA—ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 元—75

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第11巻 第3号

(平成2年3月分月報)

平成2年4月28日発行

東京都立衛生研究所

話 題

東京都における輸入細菌性下痢症、 1989年まとめ

昨年の我が国の海外旅行者数は約1千万人で、30年前の50倍、20年前の15倍、10年前の2.5倍と、依然として増加傾向を続けている。これに伴って、海外で下痢症に罹患する例も相当の数にのぼる。東京都(検査は衛生研究所が担当)では1978年以降、海外旅行者を対象とする健康診断事業を継続して実施しているが、ここでは1989年の病原菌検索成績を紹介する。

この一年間における海外旅行者検便数は計2,684件で、そのうち便採取時に下痢症状を認めた下痢現症者は370件、下痢既往者および健康者は2,314件であった。これらのうち、既知腸管系病原菌が検出されたのは、下痢現症者群で228件(61.6%)、下痢既往者・健康者群で723件(31.2%)、合計951件(35.4%)であった。この検出率は例年とはほぼ同じである。

検出病原菌を検出頻度順にみるとこれも例年と大差なく、下痢現症者群では毒素原性大腸菌が最も高率で137例(37.0%)、次いで腸炎ビブリオ(8.9%)、カンピロバクターおよびプレジオモナス(各7.3%)、赤痢菌(6.8%)の順であった。一方、下痢既往者、健康者群においては、サルモネラが最も多く204例(8.8%)、次いで毒素

原性大腸菌(5.5%)、エロモナス(5.2%)、プレジオモナス(4.8%)、腸炎ビブリオ(4.5%)の順であった。

赤痢菌は全体で66例から検出され、そのうちソネ菌検出例が最も多く45例(68.2%)、次いでフレクスナー菌16例(24.2%)、ボイド菌2例、志賀菌1例で、残り2例はフレクスナー菌とソネ菌の同時検出例であった。サルモネラではS. Blockley、S. Anatum、S. Hadar、S. Typhimuriumなどを主体に44血清型が認められ、チフス菌も2件検出された。コレラ菌は4例(小川型3例、稲葉型1例)から検出されたが、いずれもエルトル型の毒素産生株であった。カンピロバクターの90例中66例(73.3%)はC. jejuni、21例(23.3%)はC. coliで、C. laridis、C. fetus、C. jejuni subsp. doyle各1例認められ注目された。

海外旅行者下痢症の特徴の1つとして、2種以上の病原菌が検出される例の多いことがあげられるが、1989年も例年同様下痢現症者群では陽性者の30.3%に相当する69例、下痢既往者・健康者群では18.0%に相当する130例、合計951例中190例(20.9%)から複数の病原菌が検出されている。

(細菌第一研究科 山田澄夫)

海外旅行者からの腸管系病原菌検出状況

東京都立衛生研究所(1989年)

	下痢現症者	下痢既往者健康者	合 計
検査件数	370	2,314	2,684
病原菌陽性者数(%)	228 (61.6)	723 (31.2)	951 (35.4)
検出病原菌			
毒素原性大腸菌	137	128	265
サルモネラ	21	204	225
エロモナス	22	121	143
プレジオモナス	27	111	138
腸炎ビブリオ	33	103	136
カンピロバクター	27	63	90
病原血清型大腸菌	10	62	72
赤痢菌	25	41	66
NAGビブリオ	5	22	27
組織侵入性大腸菌	1	5	6
コレラ菌	1	3	4
ビブリオ・フルビアリス	1	3	4
腸炎エルシニア	—	1	1

注 同一個体から複数菌が検出される例があるので病原菌陽性者数と検出病原菌総数とは一致しない。

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コレラ菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	540							
中 央 区 中 央保健所	950							
港区 保健衛生課検査係	2,014							
新 宿 区 四 谷保健所	2,316							
文 京 区 衛 生試験所	308							
台 東 区 下 谷保健所	20							
墨 田 区 向 島保健所	31							
江 東 区 城 東保健所	85							
〃 深 川保健所	114							
品 川 区 衛 生試験所	1,351 (21)							
目 黒 区 衛 生試験所	1,163							
大 田 区 衛 生検査所	2,442							
世田谷区 世田谷保健所	131							
渋谷区 渋谷保健所	845							
中 野 区 衛 生試験所	1,082							
杉 並 区 衛 生試験所	1,577 (14)						3 (3)	3 (3)
豊島区池袋・長崎保健所	111							
北 区 衛 生試験所	415							
荒 川 区 荒 川保健所	311							
板 橋 区 検査センター	2,530							
練 馬 区 衛 生保健所	2,820							
足 立 区 衛 生試験所	1,888 (11)				1 (1)			1 (1)
葛 飾 区 葛飾北保健所	2,221						1	1
江戸川区 小 岩保健所	2,089							
小 計	27,354 (46)				1 (1)		4 (3)	5 (4)
東 京 都 三 鷹保健所	332							
八王子保健所	92							
田 無保健所	156						1	1
島しょ保健所 大 島	235							
三 宅	26							
八 丈	58							
小 笠 原	110							
小 計	1,009						1	1
衛生研究所 本 所	758 (421)		3 (3)		1 (1)		12 (12)	13 (13)
多摩支所	694 (1)							
小 計	1,452 (422)		3 (3)		1 (1)		12 (12)	13 (13)
合 計	29,815 (468)		3 (3)		2 (2)		17 (15)	19 (17)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年3月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1				1
				1			
			3	1			
					2 (2)		8 (8)
			2				
		1		1			
		1	1	1			
		1					
		1 (1)					16 (16)
			1				
						1	
			3				
		1	1			2 (2)	3 (3)
		1	3				
		6 (1)	15	4	2 (2)	3 (2)	28 (27)
		8 (8)	10 (10)	5 (5)	5 (5)	7 (7)	
			1				
		8 (8)	11 (10)	5 (5)	5 (5)	7 (7)	161 (103)
		14 (9)	26 (10)	9 (5)	7 (7)	10 (9)	189 (130)

表 2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（ 2 年2月分）				東 京（ 2 年3月分）		
		地研・保健所	一 般 医療機関	都 市 立 伝染病院	検疫所	衛 生 研究所	保健所	予 防 医 学 会 協
大 腸 菌		36 (28)	145		20 (20)	13 (13)	15 (14)	
赤 痢 菌 (A-D群)		11 (9)	2 (1)	11 (10)	16 (16)	13 (13)	6 (4)	
チ フ ス 菌		2	3	2 (1)				
バ ラ チ フ ス A 菌		1						
その 他 の サ ル モ ネ ラ	O4 (B)	35 (12)	34	1	6 (6)	8 (8)	6 (1)	1
	O7 (C ₁ , C ₄)	30 (7)	11		3 (3)	11 (10)	15	1
	O8 (C ₂ , C ₃)	39 (14)	14	1	7 (7)	5 (5)	4	1
	O9 (D ₁)	8 (3)	14	1		4 (4)	2 (1)	
	O9、46 (D ₂)	1						
	O3、10 (E ₁ , E ₂ , E ₃)	11 (6)			5 (5)	5 (5)	2 (2)	
	O1、3、19 (E ₄)	3 (1)			1 (1)	2 (2)	1 (1)	
	O13 (G ₁ , G ₂)	1						
	O18 (K)					1 (1)		
	そ の 他		3		1 (1)			
	群 不 明	1	1		3 (3)			
腸 炎 エ ル シ ニ ア			6					
偽 結 核 菌			2					
コ レ ラ 菌 (O1)		24 (24)	1 (1)	9 (9)	3 (3)			
〃 (O1以外)		3 (3)	1		16 (16)	3 (3)		
腸 炎 ビ ブ リ オ		18 (18)	1		66 (66)	7 (7)	1 (1)	
そ の 他 の ビ ブ リ オ		1 (1)	2 (1)		4 (4)	1 (1)		
エ ロ モ ナ ス		19 (19)	18			29 (29)	4 (4)	
カンピロバクター		31 (8)	238	2		26 (25)	2 (2)	
ブ ド ウ 球 菌		8	57	1	1 (1)	57		
A 型 ウェルシュ菌		23	1					
ボツリヌス菌 (E型)								
〃 (その他)								
セ レ ウ ス 菌			9					
淋 菌		9						
髄 膜 炎 菌								
レ ン サ 球 菌 (A群)		29						
〃 (B群)		4						
〃 (C群)								
〃 (G群)		2						
〃 (不明)								
ジ フ テ リ ア 菌								
百 日 咳 菌								
肺 炎 球 菌		2						
レ ジ オ ネ ラ								
レ プ ト ス ビ ラ								
赤 痢 ア メ ー バ				2 (1)				
マ ラ リ ア								
そ の 他 の 細 菌		44 (34)	1	6 (2)	51 (51)	28 (28)	6 (6)	

() : 海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国 （ 2 年2月分）				東 京 （ 2 年3月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1			1 (1)			
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b						
	1						
	2a	2 (2)		2 (2)	1 (1)		
	2b						
	3a			3 (3)			
	3b						
	4a						
	4b						
	4		1 (1)				
	5a						
	5b						
	6	1 (1)				1 (1)	
	X						
	Y						
	型不明						
C 群	1	1 (1)					
	2			1 (1)			
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8	1 (1)					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明		1 (1)	1 (1)			
D 群	6 (4)	2 (1)	8 (7)	8 (8)	12 (12)	5 (3)	
	その他		1 (1)				

() : 海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 3 月 16 日～ 4 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
D 2	三重県熊野	1	1 9 9 0. 2
〃	三重県伊勢	1	1 9 9 0. 3
A	大阪府大阪市福島	1	1 9 9 0. 4
E 1	大阪府狭山	1	1 9 9 0. 3
O	東京都墨田区本所	1 (1)	1 9 9 0. 3
UVS 1 *	神奈川県横浜市保土ヶ谷	1 (1)	1 9 9 0. 4
小 計		6 (2)	
パラチフス A 菌		0	
小 計		0	
合 計		6 (2)	

() : 海外輸入例再掲

* : UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年9月～1990年2月報告分)

	9 カ ツ	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	4 カ ツ	5 カ ツ	6 カ ツ	7 カ ツ	8 カ ツ	9 カ ツ	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	コ ウ ケ イ
ミトコンドリアウイルス	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ヒコルナ NT	2	2	1	1	-	-	-	1	5	2	4	10	-	-	-	-	-	-	28
コクサッキー-A1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A2	50	28	-	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	82
コクサッキー-A3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	7	5	2	-	-	-	-	-	25
コクサッキー-A4	15	14	2	1	-	2	-	10	29	82	159	39	24	4	-	-	-	-	381
コクサッキー-A5	2	2	-	-	-	-	-	1	5	14	5	1	1	1	1	1	-	-	33
コクサッキー-A6	2	2	2	1	-	1	-	2	4	11	24	12	1	2	-	-	-	-	64
コクサッキー-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
コクサッキー-A8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	22	11	1	2	1	-	-	-	47
コクサッキー-A9	1	1	1	1	1	1	-	2	6	5	36	62	32	12	10	3	-	-	173
コクサッキー-A10	36	14	7	-	-	-	-	-	4	21	5	1	-	1	-	-	-	-	89
コクサッキー-A16	54	31	12	4	-	-	-	2	3	7	6	2	1	-	-	-	-	-	128
コクサッキー-A24	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
コクサッキー-B1	-	2	2	-	1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	-	-	-	28
コクサッキー-B2	1	1	3	-	-	2	6	-	2	9	16	19	21	3	1	-	-	-	84
コクサッキー-B3	3	-	-	1	-	-	-	-	1	2	8	1	4	1	1	-	-	-	22
コクサッキー-B4	19	8	6	9	3	3	8	8	9	53	94	48	23	12	3	2	-	-	308
コクサッキー-B5	3	2	2	-	-	1	9	24	75	83	118	22	15	15	5	-	-	-	374
コクサッキー-B6	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	9
エコー 3	5	21	6	4	5	11	4	2	1	9	4	2	-	-	-	-	-	-	74
エコー 4	-	2	3	-	4	1	1	62	80	52	20	23	5	1	-	-	-	-	254
エコー 5	-	-	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコー 6	5	9	4	-	4	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	31
エコー 7	5	2	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	12
エコー 9	1	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1	6	1	-	-	15
エコー 11	3	1	3	12	5	2	3	12	13	56	70	58	58	31	5	1	-	-	333
エコー 12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
エコー 14	-	-	2	-	2	1	-	-	2	5	2	-	-	1	1	-	-	-	16
エコー 16	2	3	1	1	1	-	2	-	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	15
エコー 18	96	32	20	41	8	1	-	-	2	2	4	1	-	-	-	-	-	-	207
エコー 21	36	16	1	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	59
エコー 22	1	2	2	-	-	-	1	-	-	2	3	1	1	3	-	-	-	-	16
エコー 24	-	3	2	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8
エコー 25	2	1	1	1	1	-	-	1	-	2	5	1	17	1	-	-	-	-	33
エコー 30	1	1	7	-	4	3	10	7	6	54	129	115	77	40	6	7	-	-	467
ヘルペス 1	1	4	3	6	6	4	2	9	3	1	1	-	-	1	1	-	-	-	42
ヘルペス 2	1	7	10	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	1	2	-	-	-	56
ヘルペス 3	1	2	2	-	1	5	3	6	4	2	2	-	-	-	1	-	-	-	29
エンテロ 71	10	9	4	1	-	-	-	2	-	2	11	2	1	3	1	2	-	-	48
ライノ	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフル A NT	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
インフル A (H1)	-	-	21	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	776
インフル A H1N1	-	1	6	204	435	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	723
インフル A (H3)	-	-	-	-	2	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	161	118	-	304
インフル A H3N2	-	-	-	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	9	40	57	-	144
インフルエンザ B	-	1	-	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	19	27	-	84
インフルエンザ C	-	1	-	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
パラインフル 1	-	-	-	-	-	9	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
パラインフル 2	6	9	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
パラインフル 3	-	-	-	1	-	-	-	9	17	3	1	-	1	-	-	-	-	-	32
RSウイルス	2	4	15	21	20	8	12	4	1	-	1	-	-	4	6	7	2	-	107
ムンプス	2	7	10	8	10	4	8	15	16	34	25	28	16	34	40	19	3	-	279
麻疹	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
アデノ	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ NT	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	6
ロタ	3	5	35	108	155	187	131	81	37	8	4	-	1	-	15	32	41	1	844
コクサッキー A24	2	5	62	53	57	43	21	20	6	8	10	2	-	-	13	16	2	-	320
アデノ NT	9	20	19	11	7	5	9	12	12	4	3	14	5	1	4	6	2	-	143
アデノ 1	14	6	10	8	9	6	5	13	15	16	12	5	5	5	3	1	1	-	134
アデノ 2	10	4	15	19	10	10	9	20	16	21	12	9	6	5	5	3	-	-	174
アデノ 3	30	12	15	15	8	10	14	6	12	43	41	82	46	17	13	3	1	-	368
アデノ 4	26	21	7	3	4	3	3	4	1	4	3	6	4	3	-	-	-	-	92
アデノ 5	5	5	8	15	2	3	8	8	3	6	6	5	5	2	-	1	-	-	82
アデノ 6	1	2	8	3	14	7	3	4	13	8	5	4	3	6	8	2	-	-	91
アデノ 8	32	33	14	12	7	4	8	2	3	5	6	4	2	-	-	-	-	-	134
アデノ 11	3	2	5	4	4	-	1	3	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	28
アデノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	1	10	2	1	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	-	-	35
アデノ 35	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 37	8	2	2	3	2	1	3	2	3	4	1	1	-	-	-	-	-	-	32
アデノ 41	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ヘルペス 2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
タンシエンヘルペス NT	12	5	15	6	3	4	6	10	12	4	5	3	2	2	2	1	-	-	92
タンシエンヘルペス 1	30	25	46	38	33	33	49	29	38	39	33	23	19	23	16	16	-	-	490
タンシエンヘルペス 2	5	10	14	8	7	11	12	8	7	6	10	5	3	7	9	5	2	-	129
サイトメガロ	4	-	2	4	1	2	1	1	5	2	-	1	-	1	-	-	-	-	24
サイトメガロ	27	30	39	39	31	18	31	40	12	4	5	5	2	2	2	2	-	-	287
BCA タンシエン	22	2	1	2	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	1	1	-	-	74
ツツカミシ	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
クラミジア NT	1	1	-	2	-	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	36
トラコマタ NT	38	22	41	29	16	14	20	21	19	17	18	24	23	11	21	8	6	-	348
ハイエンマシラ	31	56	44	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	-	-	220
コウケイ	695	530	573	1086	1275	595	450	513	534	762	1047	669	461	265	229	361	263	1	10309

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年3月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
Influenza	AH3	1	元年12月	咽頭ぬぐい液	定 点 観 測
		2	2年 1月	〃	〃
Influenza	B	4	2年 1月	〃	〃
		5	2年 2月	咽頭うがい液	集団発生（疾患調査）
		4	2年 2月	咽頭ぬぐい液	定 点 観 測
Rota*		7	2年 3月	ふ ん 便	サ ー ベ イ ラ ン ス
Norwalk-like**		8	2年 2月	ふ ん 便	集団発生（疾患調査）
		9	2年 3月	〃	〃

* ELISA法による検出

** 電顕法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年3月分）

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	28	6（－）	—	8
衛 生 研 究 所	3	—	—	1

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年3月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検 査 件 数	120	—	17	8
陽 性 件 数	7（7）	—	—	—

（ 内は確認試験（TPHA及びFTA－ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2－96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 4 号

(平成 2 年 4 月分月報)

平成 2 年 5 月 31 日発行

東京都立衛生研究所

話 題

東京都において分離された赤痢菌及び

サルモネラの薬剤感受性について (1989 年分)

本号では、1989 年に東京都および特別区の保健所など関係検査機関及び衛生研究所で分離された赤痢菌とサルモネラの薬剤感受性について、衛生研究所で実施した検査成績の概略を紹介する。

供試菌株は、都内の患者およびその関係者、飲食物取り扱い業者 (国内由来株) 並びに海外旅行者 (海外由来株) から分離された赤痢菌 110 株とサルモネラ 919 株である。

薬剤感受性試験は、米国臨床検査標準委員会 (The National Committee for Clinical Laboratory Standards; NCCLS) の抗菌薬ディスク感受性試験実施基準ののっとり、センシディスク (BBL) を用いて行なった。供試薬剤は、クロラムフェニコール (CP)、テトラサイクリン (TC)、ストレプトマイシン (SM)、カナマイシン (KM)、アンピシリン (ABPC)、スルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤 (ST)、ナリジクス酸 (NA)、ホスホマイシン (FOM) およびノルフロキサシン (NFLX) の 9 剤である。

赤痢菌及びサルモネラの菌群別にみた耐性菌の出現頻度を表に示す。

赤痢菌における耐性頻度は、国内由来株で 93.8 % と高く、海外由来株も例年より高率の 87.2 % であった。供試薬剤別耐性頻度についてみると、国内由来株では SM (81.3 %)、TC (75.0 %)、ST (50.0 %)、ABPC (43.8 %)、CP (25.0 %)、NA (12.5 %)、KM (6.3 %)、海外由来株では SM (86.2 %)、TC (74.5 %)、ST (39.1 %)、ABPC (35.1 %)、CP (31.9 %)、KM (2.1 %)、NA (2.1 %) の順で高かったが、FOM と NFLX に対する耐性株は、本年もまだ両由来株いずれにもみられていない。各菌群別にみた出現耐性パターンは、A 群菌で CP・TC・SM・ABPC・ST (2 株)、B 群菌で CP・TC・SM・ABPC・ST (9 株)、CP・TC・SM・ABPC (9 株) TC・SM・ABPC・ST (4 株)、D 群菌では TC・SM・ST (36 株)、SM (9 株)、CP・TC・SM・ABPC・ST・NA (4 株)、CP・TC・SM・ABPC・ST (3 株) が主要なものであった。

一方、サルモネラにおける耐性菌の出現頻度は、国内由来株で 44.7 %、海外由来株

で 42.2 % であり、前者における耐性頻度の方が高かった。これは SM 単独耐性の血清型 Enteritidis が都内において高頻度に分離されたためである。菌群別にみると、国内由来株で 08 群と 09 群、海外由来株で 04 群、08 群において耐性頻度が高く、また、菌型別 (10 株以上分離された型) では、国内由来株で S. ser. Blockley (100 %)、S. ser. Hadar (95.7 %)、S. ser. Enteritidis (82.8 %)、S. ser. Typhimurium (58.3 %)、S. ser. Newport (56.0 %)、海外由来株で S. ser. Hadar (100 %)、S. ser. Blockley (96.4 %)、S. ser. Derby (90.9 %)、S. ser. Typhimurium (71.4 %) など高率であった。なお、分離菌株数は少ないがチフス菌 (国内由来 1 株、海外由来 2 株) はすべて感受性であった。

(細菌第一研究科 松下 秀)

表 赤痢菌及びサルモネラの薬剤耐性菌の出現頻度 (1989 年: 東京都)

菌 種 ・ 菌 群	国内由来株	海外由来株
赤 痢 菌 計	15/ 16 (93.8%)*	82/ 94 (87.2%)*
A 群	—	2/ 2 (100 %)
B 群	6/ 6 (100 %)	24/ 25 (96.0 %)
C 群	—	4/ 5 (80.0 %)
D 群	9/ 10 (90.0 %)	52/ 62 (83.9 %)
サルモネラ 計	293/656 (44.7 %)	111/263 (42.2 %)
チフス菌	0/ 1 (0 %)	0/ 2 (0 %)
04 (B 群)	32/119 (26.9 %)	26/ 47 (55.3 %)
07 (C ₁ 群)	10/153 (6.5 %)	7/ 47 (14.9 %)
08 (C ₂ 群)	164/217 (75.8 %)	57/ 71 (80.3 %)
09 (D ₁ 群)	83/101 (82.2 %)	5/ 21 (23.8 %)
03, 10 (E ₁ 群)	4/ 36 (11.1 %)	8/ 43 (18.6 %)
01, 3, 19 群 (E ₄ 群)	0/ 4 (0 %)	6/ 18 (33.3 %)
その他の 0 群	0/ 25 (0 %)	2/ 14 (14.3 %)

* いずれかの薬剤に対して耐性であったもののパーセント

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱件数	病 原 菌						
		コレラ菌		赤 痢 菌				計
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	
千代田区 神 田保健所	636							
中 央区 中 央保健所	1,087							
港区 保健衛生課検査係	2,190							
新 宿区 四 谷保健所	1,348							
文 京区 衛 生試験所	451							
台 東区 下 谷保健所	24							
墨 田区 向 島保健所	35							
江 東区 城 東保健所	77							
” 深 川保健所	63							
品 川区 衛 生試験所	2,140 (4)							
目 黒区 衛 生試験所	1,344							
大 田区 衛 生検査所	2,180							
世田谷区 世田谷保健所	184							
渋谷区 渋谷保健所	961							
中 野区 衛 生試験所	2,404							
杉 並区 衛 生試験所	2,393 (10)						1 (1)	
豊島区池袋・長崎保健所	148							
北 区 衛 生試験所	420							
荒 川区 荒 川保健所	300							
板 橋区 検査センター	2,706							
練 馬区 衛 生保健所	3,080							
足 立区 衛 生試験所	1,745							
葛 飾区 葛飾北保健所	2,159							
江戸川区 江戸川保健所	2,272							
小 計	30,347 (14)						1 (1)	
東 京 都 三 鷹保健所	338							
八王子保健所	115							
田 無保健所	161							
島しょ保健所 大 島	276							
三 宅	21							
八 丈	63							
小 笠 原	116							
小 計	1,090							
衛生研究所 本 所	495 (214)		1 (1)		3 (3)		6 (6)	9 (9)
多摩支所	600							
小 計	1,095 (214)		1 (1)		3 (3)		6 (6)	9 (9)
合 計	32,532 (228)		1 (1)		3 (3)		7 (7)	9 (9)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年 4 月 分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
		2	1		1		
			1			1	
			1	1			
			1 (1)	2 (2)			7 (6)
		1		1			
			1				
			1	2			
							6 (6)
		1	2				
		1		1			
			1				
						1	
		5	9 (1)	7 (2)		2	13 (12)
		5 (5)	1 (1)	8 (8)		6 (6)	102 (59)
		10 (5)	10 (2)	15 (10)	1	8 (6)	115 (71)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（2年3月分）				東 京（2年4月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会協
大腸菌		79(60)	137	1(1)	5(5)	42(4)	4(4)	
赤痢菌(A-D群)		46(39)	14(7)	50(50)	47(47)	9(9)	1(1)	
チフス菌		4(1)	2	2(2)				
バラチフスA菌			1					
その他のサルモネラ	O4(B)	61(30)	33	4(4)	13(13)	5(5)	6(1)	1
	O7(C ₁ 、C ₄)	62(30)	13	1(1)	3(3)	1(1)	10(2)	2
	O8(C ₂ 、C ₃)	124(108)	24(1)	2(2)	11(11)	8(8)	5	6
	O9(D ₁)	22(17)	21		2(2)	2(2)	1	1
	O9、46(D ₂)	9	1					
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	32(28)	2	1(1)	13(13)	4(4)		1
	O1、3、19(E ₄)	8(8)		2(2)	6(6)	1(1)		1
	O13(G ₁ 、G ₂)	1(1)	2		1(1)			
	O18(K)	3(1)	1					
	その他の群	1	2		2(2)			
腸炎エルシニア		5(4)	1		1(1)	1		1
偽結核菌		2(2)	8					
コレラ菌(O1)			1					
" (O1以外)		1(1)		4(4)	5(5)			
腸炎ビブリオ		6(6)			23(23)	1(1)		
その他のビブリオ		19(19)	2		68(68)	10(8)	1(1)	
エロモナス		1(1)	3		4(4)			
カンピロバクター		39(39)	3	2(2)		16(16)	2(2)	
ブドウ球菌		56(28)	370	6(4)		16(13)	2(2)	
A型ウェルシュ菌		89	39		1(1)			
ボツリヌス菌(E型)		53	8					
" (その他)								
セレウス菌			2					
淋菌		27						
髄膜炎菌								
レンサ球菌(A群)		132						
" (B群)		15						
" (C群)								
" (G群)		1						
" (不明)								
ジフテリア菌								
百日咳菌		7						
肺炎球菌								
レジオネラ								
レプトスピラ								
赤痢アメーバ			2	8(3)				
マラリア								
その他の細菌		95(83)	3	3(2)	88(88)	19(19)	3(3)	

(): 海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（ 2 年3月分）				東 京（ 2 年4月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2						
	3						
	4			1 (1)			
	5						
	6						
	7						
	8						
	9	1 (1)	1				
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b						
	1						
	2a	4 (3)	1 (1)	6 (6)	2 (2)		
	2b						
	3a			2 (2)	3 (3)	1 (1)	
	3b						
	4a						
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6	1 (1)		1 (1)	1 (1)		
	X						
	Y						
	型不明			1 (1)			
C 群	1			1 (1)			
	2			1 (1)	1 (1)		
	3						
	4	1 (1)					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11	2 (2)	1				
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明	1 (1)	1 (1)	1 (1)			
D 群		36 (1)	10 (5)	36 (36)	39 (39)	6 (6)	1 (1)
	その他			1 (1)			

() : 海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 4 月 16 日～ 5 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
UVS 1 *	宮城県仙台市泉	1 (1)***,1)	1990. 4
"	富山県高岡	1	1990. 4
"	埼玉県川口市	1 (1)***,1)	1990. 4
"	東京都文京区本郷	1 (1)***,1)	1990. 4
"	東京都港区芝	1 (1)***,1)	1990. 4
"	東京都立川市	1 (1)***,1)	1990. 4
"	岐阜県岐阜市	1 (1)***,1)	1990. 4
"	千葉県八日市場	1	1990. 1
"	千葉県千葉市	1	1990. 3
"	千葉県柏	2 (2)	1990. 1
A	茨城県日立	1 (1)***,2)	1990. 4
"	茨城県日立	1 (1)***,3)	1990. 4
"	東京都北区赤羽	1 (1)***,3)	1990. 4
"	東京都板橋区板橋	1 (1)	1990. 4
E 1	千葉県千葉市	1 (1)	1990. 4
"	富山県上市	2	1990. 4
"	石川県金沢市	1	1990. 4
M 1	千葉県柏	1 (1)	1990. 4
"	広島県海田	1	1990. 4
D 1	宮城県仙台市若林	1	1990. 4
O	東京都墨田区本所	1	1990. 5
UVS 4 **	千葉県千葉市	1 (1)	1990. 4
小 計		24 (15)	
パラチフス A 菌			
1	東京都墨田区本所	1 (1)	1990. 4
"	滋賀県大津	1	1990. 4
2	東京都文京区本郷	1 (1)	1990. 4
5	滋賀県大津	1	1990. 3
小 計		4 (2)	
合 計		28 (17)	

() : 海外輸入例再掲

* : UVS 1 = Untypabl Vi positive stain 1** : UVS 4 = Untypabl Vi positive stain 4

*** : 1990 年 3 月 24 日インドより帰国した旅行者間の集団発生

1) 耐性パターン (CP・TC・SM・ABPC・ST)

2) 耐性パターン (CP・SM)

3) 耐性パターン (SM)

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年10月～1990年3月報告分)

	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	4 カ ツ	5 カ ツ	6 カ ツ	7 カ ツ	8 カ ツ	9 カ ツ	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	コ ウ ケ イ
エコー NT	2	1	1	-	-	-	1	5	2	4	10	-	-	-	-	-	-	-	26
コウサッキ-A2	28	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	32
コウサッキ-A3	-	-	-	-	-	-	-	2	9	8	5	3	-	-	-	-	-	-	27
コウサッキ-A4	14	2	1	-	2	-	10	29	82	160	45	31	4	-	-	-	-	-	380
コウサッキ-A5	2	-	-	-	-	-	-	1	5	14	5	1	1	1	1	-	-	-	31
コウサッキ-A6	2	2	1	-	1	-	2	4	11	24	13	1	2	-	-	-	-	-	63
コウサッキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
コウサッキ-A8	-	-	-	-	-	-	-	1	9	22	11	1	2	1	-	-	-	-	47
コウサッキ-A9	1	1	1	1	-	2	6	5	37	64	34	15	11	4	2	-	-	-	184
コウサッキ-A10	14	7	-	-	-	-	-	-	4	21	5	1	-	1	-	-	-	-	53
コウサッキ-A16	32	12	4	-	-	2	3	8	10	6	3	7	6	3	-	-	-	-	96
コウサッキ-A21	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コウサッキ-A24	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
コウサッキ-B1	2	2	-	1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	-	-	-	-	28
コウサッキ-B2	1	3	-	-	2	6	-	2	9	18	19	24	4	1	-	-	-	-	89
コウサッキ-B3	-	-	1	-	-	-	-	1	2	8	1	4	3	1	1	-	-	-	22
コウサッキ-B4	8	6	9	3	3	8	9	55	96	50	30	12	5	2	-	-	-	-	304
コウサッキ-B5	2	2	-	1	1	9	24	75	84	118	22	15	16	10	-	-	-	-	379
コウサッキ-B6	1	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	7
エコー 3	21	6	4	5	11	4	2	1	9	4	2	-	-	-	-	-	-	-	69
エコー 4	2	3	-	4	1	1	62	80	52	20	23	5	1	1	2	-	-	-	257
エコー 5	-	1	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコー 6	9	4	-	4	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	26
エコー 7	2	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
エコー 9	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1	6	1	-	-	-	14
エコー 11	1	3	12	5	2	3	12	13	61	85	62	66	38	16	4	-	-	-	383
エコー 12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	-	2	-	2	1	-	-	2	5	2	-	-	1	1	-	-	-	-	16
エコー 16	3	1	1	1	-	2	-	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	14
エコー 18	32	20	41	8	1	-	-	2	2	4	1	-	-	2	-	-	-	-	113
エコー 21	16	1	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	23
エコー 22	2	2	-	-	1	1	-	2	3	1	1	3	-	-	-	-	-	-	15
エコー 24	3	2	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9
エコー 25	1	1	1	1	-	-	1	-	2	5	1	17	1	-	-	-	-	-	31
エコー 30	1	7	-	4	3	10	7	6	58	146	124	89	42	14	8	-	1	-	520
ホリオ 1	4	3	6	6	4	2	10	3	1	1	-	-	2	2	1	-	-	-	45
ホリオ 2	7	10	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	1	2	-	-	-	-	55
ホリオ 3	2	2	-	1	5	3	6	4	2	2	-	-	1	2	-	-	-	-	30
エプシロ 71	9	4	1	-	-	2	-	2	11	2	1	4	3	4	1	-	-	-	44
ライノ	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
インフルA NT	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
インフルA (H1)	-	21	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	776
インフルA H1N1	1	6	204	435	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	723
インフルA (H3)	-	-	-	2	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	175	209	16	-	425
インフルA H3N2	-	-	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	78	261	47	-	435
インフルエンザB	1	-	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	19	78	113	-	248
インフルエンザC	1	-	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
ハ°ラインフル 1	-	-	-	-	9	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
ハ°ラインフル 2	9	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
ハ°ラインフル 3	-	-	1	-	-	-	9	17	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	32
RSウイルス	4	15	21	20	8	12	4	1	-	1	-	-	4	6	7	2	-	-	105
ムンファス	7	10	8	10	4	8	15	16	34	26	28	16	34	43	22	5	-	-	286
マシシ	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
フウシシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ NT	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	5	35	108	155	187	131	81	37	8	4	-	1	-	17	45	89	14	1	918
コカタケリウイルス	5	62	53	57	43	21	20	6	8	10	2	-	-	13	25	32	9	-	366
アデノ NT	20	19	11	7	5	9	12	12	4	3	14	5	1	4	7	4	1	-	138
アデノ 1	6	10	8	9	6	6	13	15	17	14	5	6	5	7	3	2	-	-	132
アデノ 2	4	15	19	10	10	9	22	16	21	12	9	6	5	15	7	2	-	-	182
アデノ 3	12	15	15	9	10	15	6	13	52	46	89	50	23	25	22	1	-	-	403
アデノ 4	21	7	3	4	3	4	1	4	3	6	4	3	1	-	-	-	-	-	67
アデノ 5	5	8	15	2	3	8	9	4	6	7	5	5	3	1	4	-	-	-	85
アデノ 6	2	8	3	14	7	4	4	13	8	5	4	4	7	9	4	-	-	-	96
アデノ 8	33	14	12	7	4	8	2	2	3	5	6	4	3	1	-	-	-	-	104
アデノ 11	2	5	4	4	-	1	3	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	27
アデノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	10	2	1	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	34
アデノ 37	2	2	3	2	1	3	2	3	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	24
アデノ 41	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
ヘルペスグレン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クンシエンヘルペスNT	5	15	6	3	4	6	10	12	4	5	3	2	2	2	1	1	1	-	82
クンシエンヘルペス 1	25	46	38	33	33	50	39	40	35	23	20	26	23	23	3	3	-	-	490
クンシエンヘルペス 2	10	14	8	7	11	12	8	7	6	10	6	5	11	10	6	2	2	-	135
サイトクワイシ*ホウホウシ	-	2	4	1	2	1	1	5	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	20
サイトメカ*ロ	30	39	39	31	18	31	40	12	4	5	5	2	2	3	-	-	-	-	261
ロカ*タシエン	2	1	2	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	1	1	1	-	-	53
ツツカ*ムシ	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
クラミシ*ア NT	1	-	2	-	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	-	35
トロコマシス NT	22	41	29	16	14	22	26	30	24	26	32	17	26	14	18	4	1	-	391
ハイエンマイコフ*ラヌ*マ	56	44	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	-	191
トウケイ	531	573	1086	1277	595	456	523	549	794	1110	709	520	309	321	500	714	212	2	10781

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年4月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
ECHO	2 1	1	2年3月	ふ ん 便	海 外 帰 国 者 検 便
Mumps		1	2年4月	リ コ ー ル	熱性疾患（MMR）
Rota*		2	”	ふ ん 便	サ ー ベ イ ラ ン ス
Norwalk-like**		2	2年3月	”	集 団 発 生（疾患調査）
		8	2年4月	”	”
Adeno	1	1	2年3月	咽頭ぬぐい液	定 点 観 測

* ELISA法による検出

** 電顕法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年4月分）

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	2 6	6（1）	2（—）	7
衛 生 研 究 所	7	2	—	1

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年4月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検 査 件 数	1 0 0	1	2 3	1 2
陽 性 件 数	5（5）	—	—	1（1）

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA—ABS法）陽性件数

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 5 号

(平成2年5月分月報)

平成2年6月30日発行

東京都立衛生研究所

話 題

コレラの発生状況、1989年

1989年に厚生省に届け出られた全国のコレラ発生件数及び患者、保菌者数は合計47件102名で(うち東京都関係は14件、14名)であった。このうち、国内発生例は合計12件64名で、輸入例は35件38名であった。102名の患者、保菌者中真性患者は95名、保菌者3名及び、疑似患者は4名であった。本年は例年と異なり、国内で9月の名古屋市を中心とした患者・保菌者合計44名にのぼる事例、また、9月から10月にかけて滋賀県甲賀郡において発生した患者・疑似者合計8名の事例など、患者数が2名以上の集団発生例が3件発生した。その他、国内発生例では、前述の2件の集団例のほか岐阜県(3件3名)、愛知県(2件3名)、宮城県(2件2名)、及び神奈川県、大阪府、岡山県でそれぞれ1件1名であった。また、群馬県においてインドネシア旅行者からの二次感染と推定された散発例も1件認められた。

一方、輸入例における推定感染国(旅行先)は、フィリピンが12件13名と最も多く、続いてインドネシア(7件9名)、タイ及びインド(各3件3名)、ネパール、ホンコン、ケニア、シンガポ

ル(それぞれ1件1名)であり、その他は東南アジアを含む複数国への旅行者6件(それぞれ1名)であった。

次に1989年の世界的なコレラの発生状況(1990年4月30日現在WHOへの報告)をみると、35カ国、48,403例で、発生国数、発生例とも前年とほぼ同じ規模であった。なお、新しく発生をみた国としてユーゴスラビアとアフリカのサントメ・プリンシプラの2カ国が追加された。発生例の最も多かった地域はこれまでと同様アフリカで、患者数も約12,400例増加し35,606例、発生国数は16カ国であった。また、最も多く発生した国は1987年4月以来流行が続いているアンゴラで、前年より多い17,601例が報告された。また、マラウイでは10月から流行が始まり、8,351例が報告され、これらには重症例も多く含まれている。一方、タンザニアやルワンダでの流行は確実に減少していると報告されている。

アジアでの発生国は前年より1カ国多い12カ国であったが、患者数は約8,000減12,785例であった。最も大きな事件は、前年と同様、5～9月

8頁へつづく

表 1 わが国におけるコレラ発生状況

年 次	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
海外感染事例	18(4)	33(6)	29(9)	90(15)	37(10)	27(7)	31(7)	34(11)	38(13)
国内感染事例	6(-)	-	14(10)	2(-)	4(2)	1(-)	7(-)	4(-)	64(1)
合 計	24(4)	33(6)	43(19)	92(15)	41(12)	28(7)	38(7)	38(11)	102(14)

() (: 東京都分再掲

表 2 世界のコレラ発生状況 (WHO, Weekly Epidemiological Record)

年 次	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
汚染国数	42(1)	37(1)	33(-)	35(-)	36(-)	36(1)	34(-)	30(-)	35(2)
罹患者数	36,840	54,856	64,061	28,893	40,510	46,473	48,507	44,120	48,403

() : 新しく汚染国となった国数

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コレラ菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	1,452							
中 央区 中 央保健所	2,750							
港区 保健衛生課検査係	3,763							
新 宿区 四 谷保健所	3,515							
文 京区 衛 生試験所	3,235							
台 東区 下 谷保健所	2,557							
墨 田区 向 島保健所	2,680							
江 東区 城 東保健所	97							
” 深 川保健所	3,406							
品 川区 衛 生試験所	2,609(6)							
目 黒区 衛 生試験所	2,009							
大 田区 衛 生検査所	4,082							
世田谷区 世田谷保健所	289							
渋谷区 渋谷保健所	2,470							
中 野区 衛 生試験所	1,919							
杉 並区 衛 生試験所	2,227(20)				1(1)		1(1)	2(2)
豊島区池袋・長崎保健所	1,006							
北 区 衛 生試験所	3,525							
荒 川区 荒 川保健所	1,807							
板 橋区 検査センター	3,346							
練 馬区 衛 生試験所	4,762							
足 立区 衛 生試験所	4,242							
葛 飾区 葛飾北保健所	4,116							
江戸川区 保 健 所	5,144							
小 計	67,008(26)				1(1)		1(1)	2(2)
東 京 都 三 鷹保健所	3,458							
八王子保健所	3,219							
田 無保健所	3,842							
島しょ保健所 大 島	453							
三 宅	141							
八 丈	294							
小 笠 原	111							
小 計	11,518							
衛生研究所 本 所	411(162)	1(1)	2(2)	1(1)			4(4)	5(5)
多摩支所	13,679							
小 計	14,090(162)	1(1)	2(2)	1(1)			4(4)	5(5)
合 計	92,616(188)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)		5(5)	7(7)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2年5月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1				
			1	1			
		1		2			
		1		1		1	
		1	1				1
				1			3(3)
			1				
			2		1	1	
		1		3		1	
			2				
		3(2)				1	18(18)
			1			1	
		1		1			
						1	
		2	1			1	
		2		1	1(1)		5(5)
		1	1				
		13(2)	11	10	2(1)	7	27(26)
			1				
				1		1	
			1	1		1	
		4(4)	5(3)	6(5)	4(4)	5(2)	78(37)
		2	2	2		1	
		6(4)	7(3)	8(5)	4(4)	6(2)	78(37)
		19(6)	19(3)	19(5)	6(5)	14(2)	105(63)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（ 2年4月分）				東 京（ 2年5月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会協
大 腸 菌		127(35)	118	5(3)		4(4)	15(15)	
赤 痢 菌（A-D群）		32(24)	8(6)	33(28)	22(22)	5(5)	2(2)	1
チ フ ス 菌		7(4)	3(3)	8(8)	1(1)			
パ ラ チ フ ス A 菌			2(1)	3(3)				
その 他 の サ ル モ ネ ラ	O4 (B)	45(11)	50	3	8(8)	4(4)	15(2)	11
	O7 (C ₁ 、C ₄)	30(6)	21	2	4(4)	5(3)	14	9
	O8 (C ₂ 、C ₃)	45(14)	42	1(1)	3(3)	6(5)	13	14
	O9 (D ₁)	37(3)	32		2(2)	4(1)	4	2
	O9、46 (D ₂)							
	O3、10 (E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	19(14)	3	1	7(7)	4(4)	2(1)	1
	O1、3、19 (E ₄)	3(3)			4(4)			
	O13 (G ₁ 、G ₂)		3					
	O18 (K)	2(1)	1			1(1)	1	
	そ の 他	5(1)					2	
群 不 明		2(1)	8		1(1)		2	2
腸 炎 エ ル シ ニ ア		8(7)	8					
偽 結 核 菌			1					
コ レ ラ 菌（O1）		1(1)			1(1)	1(1)		
"（O1以外）		1(1)			9(9)	2(2)		
腸 炎 ビ ブ リ オ		17(15)	1		36(36)	4(4)		
そ の 他 の ビ ブ リ オ		3(3)			2(2)			
エ ロ モ ナ ス		17(16)	3			8(8)	3(3)	
カンピロバクター		94(17)	497	4(1)		9(8)	1(1)	
ブ ド ウ 球 菌		10	49			40		
A 型 ウ ェ ル シ ュ 菌		38	4					
ボツリヌス菌（E型）								
"（その他）								
セ レ ウ ス 菌		3	3					
淋 菌		20						
髄 膜 炎 菌								
レ ン サ 球 菌（A群）		104						
"（B群）		5						
"（C群）		2						
"（G群）		2						
"（不明）								
ジ フ テ リ ア 菌								
百 日 咳 菌		5						
肺 炎 球 菌		1						
レ ジ オ ネ ラ								
レ プ ト ス ビ ラ								
赤 痢 ア メ ー バ				1(1)				
マ ラ リ ア								
そ の 他 の 細 菌		61(59)		10(9)	64(64)	13(13)	8(7)	

（ ）：海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国 （ 2 年 5 月 分 ）				東 京 （ 2 年 5 月 分 ）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群 1							
2			1(1)	1(1)			
3				1(1)			
4	1(1)						
5							
6					1(1)		
7							
8							
9							
10							
型不明			1(1)				
B 群 1a							
1b							
1							
2a	3(3)	1(1)	2(2)	1(1)			
2b	2						
3a	4(4)		3(2)				
3b							
4a							
4b							
4							
5a	1(1)						
5b							
6				1(1)			
X							
Y							
型不明			1(1)			1(1)	1
C 群 1							
2							
3							
4							
5				1(1)			
6							
7							
8		1(1)		1(1)			
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15		1(1)	1(1)				
型不明							
D 群	21(15)	5(3)	24(20)	16(16)	4(4)	1(1)	
その他							

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 5 月 16 日～ 6 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
D 2	東京都文京区本郷	1 (1)	1990. 4
"	東京都文京区本郷	1 (1)	1990. 5
"	愛知県豊田	1	1990. 3
A	京都府京都市左京	1 (1)	1990. 4
"	京都府京都市左京	1	1990. 5
B 1	東京都中央区中央	1	"
"	大阪府大阪市平野	1	"
D 1	福岡県北九州市小倉北	1	1990. 4
M 1	広島県海田	1	1990. 6
DVS *	愛知県名古屋市昭和	1	1990. 4
UVS 1 **	兵庫県神戸市垂水	1 (1)	"
小 計		11 (4)	
パラチフス A 菌			
1	京都府京都市山科	1	1990. 4
"	福岡県福岡市東	1	1990. 5
型別不能	千葉県柏	1 (1)	"
"	京都府京都市右京	1	"
小 計		4 (1)	
合 計		15 (5)	

() : 海外輸入例再掲

* : DVS = Degraded Vi positive strain

** : DVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年11月~1990年4月報告分)

	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	4 カ ツ	5 カ ツ	6 カ ツ	7 カ ツ	8 カ ツ	9 カ ツ	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	4 カ ツ	コ ウ ケ イ
ヒコルナ NT	1	1	-	-	-	1	5	2	6	15	1	4	3	-	-	-	-	-	39
コグサッキ-A2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	4
コグサッキ-A3	-	-	-	-	-	-	2	9	8	5	3	-	-	-	-	-	-	-	27
コグサッキ-A4	2	1	-	2	-	10	29	83	158	45	29	4	-	-	-	-	1	-	364
コグサッキ-A5	-	-	-	-	-	-	1	5	14	5	1	1	1	2	-	-	-	-	30
コグサッキ-A6	2	1	-	1	-	2	4	11	22	13	1	3	-	-	-	-	-	-	60
コグサッキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A8	-	-	-	-	-	-	1	9	22	11	1	2	1	-	-	-	-	-	47
コグサッキ-A9	1	1	1	-	2	6	5	37	64	37	17	13	5	2	-	-	-	-	191
コグサッキ-A10	7	-	-	-	-	-	4	21	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	39
コグサッキ-A16	12	4	-	-	-	2	3	8	11	6	3	7	6	3	3	-	-	-	68
コグサッキ-A21	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-B1	2	-	1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	-	-	-	-	-	26
コグサッキ-B2	3	-	-	2	6	-	2	10	18	20	24	7	4	1	1	-	-	-	98
コグサッキ-B3	-	1	-	-	-	-	1	2	9	2	4	3	1	1	-	-	-	-	24
コグサッキ-B4	6	9	3	3	8	8	10	59	102	54	30	12	6	2	2	-	-	-	314
コグサッキ-B5	2	-	1	1	9	24	75	79	113	22	14	16	11	-	-	-	-	-	367
コグサッキ-B6	-	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	7
エウ 3	6	4	5	11	5	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50
エウ 4	3	-	4	1	1	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	250
エウ 5	1	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エウ 6	4	-	4	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	17
エウ 7	-	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エウ 9	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	14
エウ 11	3	12	5	2	3	12	13	64	89	65	68	42	28	11	-	-	-	-	417
エウ 12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エウ 14	2	-	2	1	-	-	2	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	17
エウ 16	1	1	1	-	2	-	2	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	11
エウ 18	20	41	8	1	-	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	-	82
エウ 21	1	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7
エウ 22	2	-	-	-	1	-	-	2	3	1	1	3	-	-	-	-	-	-	13
エウ 24	2	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	6
エウ 25	1	1	1	-	-	1	-	2	5	1	17	1	-	-	-	-	-	-	30
エウ 30	7	-	4	3	10	7	6	62	149	123	96	42	14	8	1	1	-	-	533
ホリオ 1	3	6	6	4	2	10	3	1	1	-	-	2	2	1	-	-	-	-	41
ホリオ 2	10	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	48
ホリオ 3	2	-	1	5	3	6	4	3	2	-	-	2	-	-	1	-	-	-	29
エンチロ 71	4	1	-	-	-	2	-	2	11	2	1	5	3	5	1	1	-	-	38
ライノ	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
インフルA NT	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
インフルA (H1)	21	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	776
インフルA H1N1	6	204	435	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	722
インフルA (H3)	-	-	2	2	2	2	-	-	-	-	4	-	13	276	448	80	-	-	829
インフルA H3N2	-	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	80	513	119	4	-	765
インフルエンザB	-	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	21	184	439	197	-	878
インフルエンザC	-	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ハ°ラインフル 1	-	-	-	9	-	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	21
ハ°ラインフル 2	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
ハ°ラインフル 3	-	1	-	-	-	9	19	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	34
RSウイルス	15	21	20	8	12	4	1	-	1	-	-	4	7	8	4	-	-	-	105
ムンプス	10	8	10	4	8	15	16	34	26	28	16	34	44	25	11	10	3	-	302
麻疹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
フライン	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ NT	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	-	-	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	35	108	155	187	131	81	37	8	4	-	1	-	17	47	139	74	13	1	1038
コカ°タケ°リウウイルス	62	53	57	43	21	20	6	8	10	2	-	-	13	25	36	20	15	-	391
アデ°ノ NT	19	11	7	5	9	12	12	4	3	14	5	1	4	7	4	5	1	-	123
アデ°ノ 1	10	8	9	6	6	13	16	18	13	4	7	5	8	5	7	2	-	-	137
アデ°ノ 2	15	19	10	11	9	22	17	23	12	10	7	5	15	11	7	1	2	-	196
アデ°ノ 3	15	15	9	10	15	6	13	52	47	104	59	33	31	26	7	-	2	-	444
アデ°ノ 4	7	3	4	3	3	4	1	4	3	6	4	3	1	-	-	1	-	-	47
アデ°ノ 5	8	15	2	4	8	9	5	6	7	6	4	5	4	7	5	1	-	-	94
アデ°ノ 6	8	3	14	7	4	4	13	6	4	4	4	7	9	6	5	-	-	-	98
アデ°ノ 8	14	12	7	4	8	2	2	3	5	6	4	3	1	-	-	-	-	-	71
アデ°ノ 11	5	4	4	-	1	3	5	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	26
アデ°ノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデ°ノ 19	2	1	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	24
アデ°ノ 37	2	3	2	1	3	2	3	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	22
アデ°ノ 41	-	2	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
ヘル°ス°クワン	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
タンシ°ンヘル°スNT	15	6	3	4	6	10	12	4	5	3	2	2	2	1	1	2	-	-	78
タンシ°ンヘル°ス 1	46	38	36	33	50	30	42	40	36	24	23	26	25	29	18	8	4	-	508
タンシ°ンヘル°ス 2	14	8	7	11	13	10	7	6	12	7	5	11	10	6	2	4	4	-	137
サイトウイシ°ウホウシ	2	4	1	2	1	2	7	2	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	24
サイトメカ°ロ	39	39	31	19	33	43	12	4	5	7	3	3	3	-	-	1	-	-	242
Bカ°タカシエン	1	2	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	1	1	1	1	3	-	55
ツツムシ	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
クラミシ°ア NT	-	2	-	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	-	-	34
トラコマチス NT	41	29	16	14	21	26	30	23	25	32	28	16	25	14	19	8	14	-	381
ハイシ°ンマイコ°ラス°マ	44	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	136
コウケイ	573	1086	1281	598	459	529	563	802	1120	741	543	337	361	643	1424	779	264	1	12104

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

にかけて中国の新疆自治地区南部において、再び飲料水による集団発生があったことである。この他さらに、インドでの流行、及びクウェート、マカオ、ミャンマーなどで流行がみられている。これまで発生例の多かったタイ国からの報告はなかった。

一方、ヨーロッパでは、前年より2カ国増え6カ国で発生、患者数は11例であったがその殆どは輸入例であった。なお、ユーゴスラビアとスペイ

ンにおいてそれぞれ2例、1例の国内発生例が認められた。（WHO Weekly Epidemiological Record, Vol, 65, No. 19, 1990 による）。

なお、本年のわが国におけるコレラ発生状況を見ると、5月18日現在、前年と同期の約5.5倍の33名（うち東京都関係5名）となっており、このうち、輸入例の推定感染国はタイが最も多い。

（微生物部 太田建爾）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年5月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
Mumps		1	2 年 4 月	リ コ ー ル	熱 性 疾 患（MMR）
		1	5 月	”	”
Norwalk-like *		2	3 月	ふ ん 便	集 団 発 生（疾患調査）
		12	4 月	”	”
		3	5 月	”	”
Adeno	1	1	4 月	”	サ ー ベ イ ラ ン ス
	3	1	4 月	”	定 点 観 測

* 電顕法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年5月分）

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	26	4（－）	6（－）	6
衛 生 研 究 所	5	－	－	－

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年5月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検 査 件 数	71	－	19	6
陽 性 件 数	4（3）	－	1	2（2）

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA－ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2－96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 6 号

(平成2年 6 月分月報)

平成2年 7 月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題

東京都における食中毒発生状況 (1989 年)

1989 年の東京都における食中毒発生状況について述べる。表 1 に示したように、この 1 年間の発生総数は 92 事例、患者数 3,958 名(死亡例なし)で、1984 年頃よりみられていた食中毒事件数の減少傾向から一転して、前年に比べ事件数で 40%、患者数で 64% の増加がみられた。

病因物質別発生数をみると、腸炎ビブリオ 27 件 (29.3%)、サルモネラ 25 件 (27.2%)、黄色ブドウ球菌 10 件 (10.9%)、カンピロバクター 7 件 (7.6%)、ウェルシュ菌 3 件 (3.3%)、病原大腸菌

1 件 (1.1%)、バチルス・セレウス 1 件 (1.1%) であった。自然毒および化学物質による中毒例は、ふぐ毒によるもの 1 事例、ヤマゴボウによるもの 1 事例、ヒスタミンによるもの 1 事例であった。また、全体の 16.3% にあたる 15 事例は病因物質不明であったが、このうち 6 事例 (患者数 125 名) は SRV (小型球形ウイルス) によるものと推定された。これは全事例の 6.5% に当たる。

昨年発生した食中毒事例には二つの特徴がみられる。その一つは、大規模な集団発生が多くみられたことである。学校や事業所などでの給食、および会食などでの仕出し弁当に起因するものが 25 事例、事件総数の 27.2% も発生し、その患者数は患者総数の 57.5% にあたる 2,277 名であった。このことは食中毒の大規模化の傾向が強まっていることを示すものと考えられる。患者数 100 名を越える集団事例は、表 2 に示したように給食によるもの 5 事例、仕出し弁当によるもの 3 事例、飲食店利用客に発生したもの 2 事例、原因食など不明のもの 1 事例の合計 11 事例で、最近 10 年間をみても最高の発生数である。また、これらの大型事例を病因物質別にみると、4 事例がサルモネラによるものであり、次いで、腸炎ビブリオによるもの 2 例、カンピロバクター・ジェジュニによるもの

8 頁へつづく

表 1 1989 年の東京都における食中毒発生状況

原因物質	事件数(%)	患者数
腸 炎 ビ ブ リ オ	27 (29.3)	818
サル モ ネ ラ	25 (27.2)	1,155
黄色ブドウ球菌	10 (10.9)	182
カンピロバクター	7 (7.6)	761
ウェルシュ菌	3 (3.3)	672
病 原 大 腸 菌	1 (1.1)	93
セ レ ウ ス 菌	1 (1.1)	6
小 計	74 (80.4)	3,687
動物性自然毒	1 (1.1)	1
植物性自然毒	1 (1.1)	4
化 学 物 質	1 (1.1)	14
原因物質不明	15 (16.3)	252
合 計	92	3,958

表 2 1989 年の東京都における患者数 100 名以上の食中毒事例

発生月	病 因 物 質	患者数	原 因 食 品
3 月	サルモネラ (S. Litchfield)	257	寿司および刺身類
4 月	ウェルシュ菌	260	不明
5 月	カンピロバクター・ジェジュニ	749	給食 (小学校)
7 月	黄色ブドウ球菌	117	鮭 (仕出し弁当副食)
7 月	カンピロバクター・ジェジュニ	480	給食 (小学校)
8 月	腸炎ビブリオ	103	仕出し弁当
9 月	腸炎ビブリオ	262	仕出し弁当
9 月	サルモネラ (S. Enteritidis)	104	パバロア (給食・事業所)
9 月	ウェルシュ菌	374	給食 (小学校)
9 月	サルモネラ (S. Enteritidis)	105	ポテトサラダ
9 月	サルモネラ (S. Enteritidis)	385	自家製マヨネーズ

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				計
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	
千代田区 神 田保健所	1,411							
中 央区 中 央保健所	8,118						1	1
港区 保健衛生課検査係	4,265							
新 宿区 四 谷保健所	3,726							
文 京区 衛 生試験所	3,336							
台 東区 下 谷保健所	3,104							
墨 田区 向 島保健所	2,346							
江 東区 城 東保健所	57							
” 深 川保健所	3,358							
品 川区 衛 生試験所	2,926 (6)							
目 黒区 衛 生試験所	2,264							
大 田区 衛 生検査所	4,273							
世田谷区 世田谷保健所	274							
渋 谷区 渋 谷保健所	2,913							
中 野区 衛 生試験所	3,362							
杉 並区 衛 生試験所	4,297 (14)							
豊島区池袋・長崎保健所	1,028							
北 区 衛 生試験所	4,073							
荒 川区 荒 川保健所	1,303							
板 橋区 検査センター	6,062							
練 馬区 衛 生試験所	4,807							
足 立区 衛 生試験所	4,920 (5)						1 (1)	1 (1)
葛 飾区 葛飾北保健所	3,893							
江戸川区 江戸川保健所	4,824							
小 計	80,940 (25)						2 (1)	2 (1)
東 京 都 三 鷹保健所	4,028							
八王子保健所	3,465							
田 無保健所	3,193							
島しょ保健所 大 島	497							
三 宅	70							
八 丈	317							
小 笠 原	101							
小 計	11,671							
衛生研究所 本 所	1,522 (171)		1 (1)			1 (1)	7 (7)	8 (8)
多摩支所	14,470 (2)							
小 計	15,992 (173)		1 (1)			1 (1)	7 (7)	8 (8)
合 計	108,603 (198)		1 (1)			1 (1)	9 (8)	10 (8)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2年6月分

検 査 出 状 況		そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフス A 菌	O4	O7	O8	O3、10	その他	
		2	8	1			2
			3	1	1		
			2	2			
			1				
				1			
				1	1		1
		1		1	1 (1)		8 (8)
			1	1			
		3	9	2		3	
		1					
			1	2			
				3		2	
		1		1 (1)			5 (5)
				2			
			3	1			
		1	1		1	1	
			6	2		1	
		1	1	2		1	12 (7)
		1		1		1	
		1	2				
		12	38	22 (1)	4 (1)	9	28 (20)
						1	
				2			
		10 (4)	12 (2)	1 (1)	3 (2)	3 (3)	142 (44)
				2		5	
		10 (4)	12 (2)	3 (1)	3 (2)	8 (3)	142 (44)
		22 (4)	50 (2)	25 (2)	7 (3)	17 (3)	170 (64)

表 2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名	全 国（ 2 年5月分）				東 京（ 2 年6月分）		
	地研・保健所	一 般 医療機関	都 市 立 伝染病院	検疫所	衛 生 研究所	保健所	予 防 医 学 会 協
大 腸 菌	83(53)	131	1(1)	29(29)	6(6)	11(9)	
赤 痢 菌（A-D群）	25(19)	4(3)	7(6)	18(18)	8(8)	2(1)	
チ フ ス 菌	2(1)	2	1(1)				
バ ラ チ フ ス A 菌	3(1)		1(1)				
その 他 の サ ル モ ネ ラ	O4(B)	99(10)	53	5	4(4)	10(4)	7
	O7(C ₁ 、C ₄)	44(4)	13		2(2)	12(2)	3
	O8(C ₂ 、C ₃)	78(10)	34		7(7)	3(1)	7
	O9(D ₁)	36(3)	20		2(2)	7(2)	1
	O9、46(D ₂)		2			1	
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	20(9)	3	1(1)	9(9)	4(2)	3
	O1、3、19(E ₄)				2(2)	1(1)	
	O13(G ₁ 、G ₂)				1(1)	1	
	O18(K)	5(1)			1(1)		
そ の 他 の 群	そ の 他	5(1)	1		1(1)	3	1
	群 不 明	2	8		1(1)	2	
腸 炎 エ ル シ ニ ア	1						
偽 結 核 菌							
コ レ ラ 菌（O1）	3(3)		1(1)	2(2)			
〃（O1以外）	5(5)			11(11)	1(1)		
腸 炎 ビ ブ リ オ	7(7)	4	2(1)	41(41)	74(6)		
そ の 他 の ビ ブ リ オ			1(1)	1(1)	3(3)		
エ ロ モ ナ ス	12(12)	8		1(1)	10(10)	1	
カンピロバクター	166(10)	545	11(2)		6(4)	1(1)	
ブ ド ウ 球 菌	84	61	1				
A 型 ウ ェ ル シ ュ 菌	22	2			23		
ボツリヌス菌（E型）							
〃（その他）							
セ レ ウ ス 菌		3			3		
淋 菌	28						
髄 膜 炎 菌							
レ ン サ 球 菌（A群）	70						
〃（B群）	6						
〃（C群）	2						
〃（G群）	6						
〃（不明）							
ジ フ テ リ ア 菌							
百 日 咳 菌	11						
肺 炎 球 菌	4						
レ ジ オ ネ ラ							
レ プ ト ス ピ ラ							
赤 痢 ア メ ー パ			2				
マ ラ リ ア							
そ の 他 の 細 菌	27(26)		2(2)	75(75)	14(13)	6(3)	

（ ）：海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国 （ 2 年5 月分 ）				東 京 （ 2 年6 月分 ）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2						
	3	1 (1)					
	4						
	5						
	6	1 (1)					
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b		1 (1)				
	1						
	2a	3 (2)	1 (1)	1 (1)			
	2b						
	3a						
	3b						
	4a						
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6						
	X		1				
	Y						
	型不明	1 (1)					
C 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11				1 (1)		
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明						
D 群	19 (14)	4 (3)	4 (4)	17 (17)	7 (7)	2 (1)	
	その他						

() : 海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 6 月 16 日～ 7 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
M 1	山形県米沢	1	1 9 9 0. 5
"	福岡県福岡市東	1	1 9 9 0. 6
B 1	広島県広島市西	1 (1)	"
B 2	福岡県福岡市中央	1	"
D 2	広島県海田	1 (1)	"
E 1	神奈川県川崎市幸	1	"
UVS 1*	宮城県大崎	1	"
Vi -	富山県八尾	1	"
小 計		8 (2)	
パラチフス A 菌			
1	東京都墨田区本所	1 (1)	1 9 9 0. 7
"	岡山県岡山	2	1 9 9 0. 6
小 計		3 (1)	
合 計		1 1 (3)	

() : 海外輸入例再掲

* : UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1988年12月～1990年5月報告分)

	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	コ ウ ケ イ
	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	
ヒコルナ NT	1	-	-	1	1	8	6	20	23	10	9	10	3	-	2	1	-	-	95
コクサッキー-A2	1	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	6
コクサッキー-A3	-	-	-	-	-	2	9	8	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	27
コクサッキー-A4	1	-	2	-	10	29	83	158	45	29	4	-	-	-	-	1	-	-	362
コクサッキー-A5	-	-	-	-	-	1	5	15	5	2	1	2	2	-	-	-	-	-	33
コクサッキー-A6	1	-	1	-	2	4	11	22	13	1	3	-	-	-	-	-	-	-	58
コクサッキー-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A8	-	-	-	-	-	1	9	22	11	1	2	1	-	-	-	-	-	-	47
コクサッキー-A9	1	1	-	4	7	5	40	73	41	22	16	9	3	-	-	-	-	-	222
コクサッキー-A10	-	-	-	-	-	4	22	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	33
コクサッキー-A16	4	-	-	-	2	3	8	11	6	3	7	6	3	3	-	-	-	-	56
コクサッキー-A21	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-B1	-	1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	26
コクサッキー-B2	-	-	2	6	-	2	11	19	20	25	7	7	2	5	-	-	-	-	106
コクサッキー-B3	1	-	-	-	-	1	2	9	2	6	3	2	4	1	-	-	-	-	31
コクサッキー-B4	9	3	3	8	8	10	61	105	54	34	13	7	2	2	-	-	-	-	319
コクサッキー-B5	-	1	1	9	24	75	81	120	22	23	22	13	-	1	-	-	-	-	392
コクサッキー-B6	1	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	7
エコー 3	4	5	12	5	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45
エコー 4	-	4	1	1	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	247
エコー 5	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
エコー 6	-	4	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13
エコー 7	-	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコー 9	-	-	-	-	-	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	-	15
エコー 11	12	5	2	3	12	13	68	90	67	74	46	32	19	2	1	-	-	-	446
エコー 12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	-	2	1	-	-	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	16
エコー 16	1	1	-	2	-	2	2	-	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	12
エコー 18	41	8	1	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	62
エコー 21	2	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7
エコー 22	-	-	-	1	-	-	4	4	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	16
エコー 24	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4
エコー 25	1	1	-	-	1	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	-	31
エコー 30	-	4	3	10	7	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	-	-	527
ホリオ 1	6	6	4	2	10	4	1	1	-	-	2	2	1	1	-	-	-	-	40
ホリオ 2	1	6	4	2	11	7	4	-	-	-	1	3	-	-	2	-	-	-	41
ホリオ 3	-	1	5	3	6	4	3	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	27
エンテロ 71	1	-	-	-	2	-	3	15	2	3	6	6	8	2	1	-	-	-	49
ライノ	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
インフルA NT	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
インフルA (H1)	335	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	755
インフルA H1N1	204	435	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	716
インフルA (H3)	-	2	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	301	513	82	1	1	-	923
インフルA H3N2	13	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	130	564	134	4	-	-	881
インフルエンザB	1	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	22	249	543	281	15	-	1147
インフルエンザC	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
パラインフル 1	-	-	9	-	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	21
パラインフル 2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
パラインフル 3	1	-	-	-	9	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	38
RSウイルス	21	20	12	16	4	6	2	2	-	-	4	9	14	7	7	-	-	-	124
ムンプス	8	10	5	10	15	23	38	33	30	20	47	59	28	13	12	7	1	-	359
マシロ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
フクシロ	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
レオ NT	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	133	211	269	193	125	43	8	4	-	1	3	29	75	142	100	22	5	-	1363
コカタタリウイルス	53	57	43	21	20	6	8	10	2	-	1	13	25	36	20	17	8	-	340
アデノ NT	11	7	9	11	12	12	11	8	21	10	5	12	20	11	14	3	-	-	177
アデノ 1	8	9	7	6	13	16	20	13	4	8	6	10	9	9	4	3	-	-	145
アデノ 2	19	10	11	9	22	17	25	12	11	7	5	17	11	10	4	3	-	-	193
アデノ 3	15	9	11	15	7	13	55	51	111	67	40	37	35	22	7	2	-	-	497
アデノ 4	3	4	5	6	4	1	4	3	6	7	6	3	4	-	2	-	-	-	58
アデノ 5	15	2	4	8	9	5	9	7	4	6	5	6	8	6	3	3	1	-	101
アデノ 6	3	14	7	4	4	13	6	4	4	4	7	9	7	6	-	1	-	-	93
アデノ 8	12	7	4	8	2	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	2	-	-	85
アデノ 11	4	4	1	2	3	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	-	-	-	52
アデノ 14	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	1	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	22
アデノ 37	3	2	2	3	2	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	-	-	-	33
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
アデノ 41	2	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ヘルペス	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
タンシエンヘルペスNT	6	3	4	6	10	13	7	10	7	4	11	9	7	5	11	5	-	-	118
タンシエンヘルペス 1	38	36	37	52	30	42	44	43	35	31	37	31	45	26	15	14	2	-	558
タンシエンヘルペス 2	8	7	11	13	10	8	9	14	7	5	14	10	6	2	4	4	-	-	132
サイトメガロ	4	1	3	1	2	8	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	44
サイトメガロ	39	32	42	45	43	23	22	22	23	23	24	26	24	22	21	1	-	-	432
BCAタンエン	2	4	1	-	2	-	2	2	32	-	1	1	1	1	1	3	-	-	54
クラミジア NT	2	-	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	-	11	-	45
トコマチス NT	29	16	14	21	26	31	23	25	32	28	16	25	14	20	8	20	-	-	348
ハイエンマイコプラズマ	25	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	92
コウケイ	1111	1338	724	550	575	603	878	1215	809	649	451	506	864	1697	1004	399	45	-	13418

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

2例、ウェルシュ菌によるもの2例、黄色ブドウ球菌によるもの1例であった。

いま一つの特徴は、S.Enteritidis による事例が多発したことである。サルモネラ食中毒25例中16事例が本菌によるもので、患者数100名以上の大規模発生3事例を含み患者総数は835名であった。これらの事例ごとの菌株のファージ型別成

績（既報、本誌Vo1.10,Na 8およびNa 11）では4つの型に型別されており、汚染源は単一ではなかったと推定されるが、原因食品として鶏卵が関与したと考えられるものが多く認められており、今後の対策上貴重な資料を提供することとなった。
(細菌第一研究科 柳川義勢)

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

(平成2年6月分)

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
Coxsackie B	1	1	2年6月	ふ ん 便	海外帰国者検便
ECHO	1 1	1	5 月	”	”
Mumps		1	5 月	髄 液	サーベイランス
Adeno	4 1	1	4 月	ふ ん 便	”
”	4 0	1	5 月	”	”

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

(平成2年6月分)

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
台東病院泌尿器科 (男子尿道炎患者)	2 1	8 (―)	1 (―)	8
衛 生 研 究 所	1 0	1	―	3

*ELISA法による検出、()内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

(平成2年6月分、衛生研究所)

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検妊	病院・その他の依頼
検 査 件 数	6 4	―	2 7	1 4
陽 性 件 数	7 (6)	―	―	―

()内は確認試験（TPHA 及び FTA－ABS 法）陽性件数

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 7 号

(平成2年 7 月分月報)

平成2年 8 月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題

東京都において最近10年間(1980～89年)に
ヒトから分離されたサルモネラの血清型について

1980 年以降 23 特別区の検査機関で分離された赤痢菌とサルモネラを衛生研究所に送付していたが、血清型別試験と薬剤感受性試験を実施してきた。各年における成績については本報で紹介してきたが、本号では、1989 年までの 10 年間に検査したサルモネラの血清型について、国内と海外との由来別にまとめたので、その概要を紹介する。

供試した菌株は、患者とその関係者(集団事例由来を除く)及び飲食物取扱従事者から分離された 4,188 株(国内由来株)並びに海外旅行者から分離された 2,628 株(海外由来株)の合計 6,816 株である。

供試菌株の O 群は、22 種にわたっており、主要なものは従来同様 O 4 群、O 7 群、O 8 群、O 9 群、O 3, 10 群、O 1, 3, 19 群であったが、O 13 群(両由来株)、O 16 群(海外由来株)、O 18 群

(両由来株)、O 39 群(国内由来株)も比較的多く検出されている。これらは、国内由来株で 113 血清型、海外由来株で 126 血清型、全体で 157 の血清型に型別された。全血清型については紙面の都合上網羅できないが、表に上位 10 血清型と各年における検出順位を示した。この上位 10 血清型で国内・海外両由来株に共通してみられているのは、S. Typhimurium、S. Infantis、及び S. Agona の 3 血清型のみで、由来によって菌型の分布はかなり異った。また、31 の血清型が国内由来株にのみ、44 の血清型が海外由来株のみに検出された。それらの血清型のうち主要なのは、国内由来株では S. Brandenburg (36 株)、S. Johannesburg (11 株)、S. Oranienburg (6 株)、S. Bradford (5 株)、S. Nagoya (5 株)、S. Fyris (3 株)、S. London (3 株)、S. Waycross (8 頁へつづく)

ヒト由来サルモネラ主要血清型の年次別出現状況(1980～89年、東京)

順位	血清型	菌株数(%)	1980	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
国内 由来 株	1 Litchfield	462 (11.0)	2	2	1	1	1	1	1	1	2	4
	2 Typhimurium	328 (7.8)	1	3	4	2	3	2	2	4	4	6
	3 Hadar	277 (6.6)	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
	4 Infantis	260 (6.2)	3	1	3	3	4	4	5	3	6	-
	5 Thompson	252 (6.0)	5	-	7	-	6	3	3	5	3	4
	6 Enteritidis	196 (4.7)	-	-	9	5	9	-	-	-	5	2
	7 Agona	189 (4.5)	8	5	2	10	9	-	4	-	10	8
	8 Tennessee	170 (4.1)	-	8	10	-	-	6	9	5	6	3
	9 Braenderup	147 (3.5)	4	6	6	4	7	-	-	7	-	-
	10 Paratyphi B	136 (3.2)	-	4	5	-	5	8	6	-	-	-
	その他	1,771 (42.3)										
順位	血清型	菌株数(%)	1980	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
海外 由来 株	1 Anatum	218 (8.3)	2	2	1	1	2	2	2	5	2	2
	2 Derby	197 (7.5)	1	1	2	2	1	10	4	5	4	6
	3 Blockley	163 (6.2)	-	-	-	6	3	1	1	1	1	1
	4 Agona	146 (5.6)	3	3	3	3	4	3	3	4	6	10
	5 Typhimurium	107 (4.1)	6	10	6	-	7	5	5	10	3	4
	6 Senftenberg	102 (3.9)	4	8	4	5	7	8	8	5	-	6
	7 Virchow	90 (3.4)	-	6	-	-	7	10	7	8	6	5
	8 Weltevreden	89 (3.4)	-	4	8	9	-	8	-	3	-	8
	9 Newport	85 (3.2)	4	7	-	4	-	10	-	10	-	-
	10 Infantis	62 (2.4)	-	-	5	6	-	6	-	-	-	-
	その他	1,369 (52.1)										

- = 10 位以下

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	1,654							
中 央区 中 央保健所	2,317							
港区 保健衛生課検査係	4,409							
新 宿区 四 谷保健所	3,430							
文 京区 衛 生試験所	2,911							
台 東区 下 谷保健所	3,149							
墨 田区 向 島保健所	2,317							
江 東区 城 東保健所	103							
” 深 川保健所	3,425							
品 川区 衛 生試験所	2,680 (12)						1 (1)	1 (1)
目 黒区 衛 生試験所	1,766							
大 田区 衛 生検査所	4,797							
世田谷区 世田谷保健所	639							
渋谷区 渋谷保健所	2,335							
中 野区 衛 生試験所	3,010							
杉 並区 衛 生試験所	4,415 (19)				2 (2)	1 (1)		3 (3)
豊島区池袋・長崎保健所	4,371							
北 区 衛 生試験所	2,140							
荒 川区 荒 川保健所	1,641							
板 橋区 検査センター	5,458							
練 馬区 衛 生試験所	4,876							
足 立区 衛 生試験所	4,187							
葛 飾区 葛飾北保健所	3,843							
江戸川区 江戸川保健所	4,277							
小 計	74,150 (31)				2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (4)
東 京 都 三 鷹保健所	3,639							
八王子保健所	3,417							
田 無保健所	3,409							
島しょ保健所 大 島	515							
三 宅	90							
八 丈	300							
小 笠 原	129							
小 計	11,499							
衛生研究所 本 所	2,052 (225)				1 (1)		6 (6)	7 (7)
多摩支所	13,025							
小 計	15,077 (225)				1 (1)		6 (6)	7 (7)
合 計	100,726 (256)				3 (3)	1 (1)	7 (7)	11 (11)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年7月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
				1			
			2				
			6	1			
		1	1		1	1	
		1		1			
				2			
		1		1			
		1	1	1		2	
		1	1	4 (1)			5 (4)
			2				
		4	3	6			
		1					
		1	1	1			
		1		1			
			1 (1)	3		3	11 (9)
		2		1		2	
		3		1			
					1	1	
				2			1
			3	1			2 (2)
						1	
		1		1			
		18	21 (1)	28 (1)	2	10	19 (15)
			1	2		1	
						1	
			1	2		2	
		4 (3)	5 (4)	7 (6)	3 (3)	8 (2)	155 (46)
			1	1	2		
		4 (3)	6 (4)	8 (6)	5 (3)	8 (2)	155 (46)
		22 (3)	28 (5)	38 (7)	7 (3)	20 (2)	174 (61)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（2年6月分）				東 京（2年7月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会協
大腸菌		94(79)	149	2(2)	6(6)	5(5)	7(6)	
赤痢菌（A-D群）		19(14)	3(1)	8(8)	19(19)	7(7)	4(4)	
チフス菌		1(1)		5(3)				
パラチフスA菌		2		1(1)				
その他のサルモネラ	O4(B)	102(9)	84	1	5(5)	4(3)	18	5
	O7(C ₁ 、C ₄)	87(4)	19		2(2)	6(4)	22(1)	5
	O8(C ₂ 、C ₃)	80(3)	47		1(1)	8(6)	30(1)	16
	O9(D ₁)	30(6)	31	3(1)	1(1)	1(1)	8	3
	O9、46(D ₂)	3						
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	23(8)	5	1(1)	5(5)	5(3)	2	2
	O1、3、19(E ₄)	2(2)				1(1)	1	
	O13(G ₁ 、G ₂)	3(1)			1(1)			
	O18(K)		1					1
	その他の群不明	6(1)	1					2
腸炎エルシニア		17(17)	14				1	
偽結核菌			2					
コレラ菌（O1）		6(2)		1	1(1)			
"（O1以外）		3(3)	4		8(8)			
腸炎ビブリオ		171(11)	47	5	62(62)	31(6)	3(3)	
その他のビブリオ		8(7)	2		5(5)	3(2)		
エロモナス		14(12)	28		1(1)	7(7)	5(4)	
カンピロバクター		117(9)	723	3(1)		12(9)		
ブドウ球菌		22	38			19		
A型ウェルシュ菌		38				50		
ボツリヌス菌（E型）								
"（その他）								
セレウス菌		22	4			11		
淋菌		16						
髄膜炎菌								
レンサ球菌（A群）		100						
"（B群）		23						
"（C群）		1						
"（G群）		1						
"（不明）		3						
ジフテリア菌								
百日咳菌		7						
肺炎球菌								
レジオネラ								
レプトスピラ								
赤痢アメーバ				2(1)				
マラリア								
その他の細菌		31(24)	2		71(71)	17(17)	3(2)	

()：海外旅行者分再掲

表3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（2年6月分）				東 京（2年7月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b		1 (1)	1 (1)			
	1						
	2a	2 (1)	1	1 (1)	3 (3)		
	2b				1 (1)		
	3a				1 (1)	1 (1)	
	3b						
	4a						
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6						
	X						
	Y						
	型不明			1 (1)		2 (2)	
C 群	1						
	2						
	3						
	4	1					
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11	1 (1)					
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明					1 (1)	
D 群	15 (12)	1	5 (5)	14 (14)	6 (6)	1 (1)	
	その他						

()：海外旅行者分再掲

表4 チフス菌・パラチフスA菌のフェージ型別成績

(1990年7月16日～8月15日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所(患者住所)	例数	菌分離年月
チフス菌			
DVS*	東京都町田	1(1)	1990. 7
"	大阪府大阪市生野	2	"
A	東京都東村山	1(1)	1990. 8
B1	岐阜県岐阜市中央	1(1)	1990. 7
B2	千葉県佐原	1	"
C1	埼玉県熊谷	1(1)	"
D2	東京都墨田区本所	1(1)	"
E1	北海道釧路	1	"
39	千葉県千葉市	1	"
UVS1**	東京都北区王子	1(1)	"
小計		11(6)	
パラチフスA菌			
1	東京都中野区北	1(1)	1990. 7
"	埼玉県朝霞	1(1)	"
小計		2(2)	
合計		13(8)	

(): 海外輸入例再掲

* : DVS = Degraded Vi positive strain

** : UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年1月～1990年6月報告分)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	コ ウ ケ イ
	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	
ヒコルナ NT	-	-	1	1	8	6	20	10	9	10	3	-	-	2	1	-	-	-	94
コグサッキ-A2	-	-	-	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
コグサッキ-A3	-	-	-	-	-	2	9	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
コグサッキ-A4	-	2	-	10	29	83	162	45	36	7	1	-	-	-	1	-	-	-	376
コグサッキ-A5	-	-	-	-	1	5	15	6	2	2	2	2	-	-	-	-	1	-	36
コグサッキ-A6	-	1	-	2	4	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	58
コグサッキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A8	-	-	-	-	1	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	48
コグサッキ-A9	1	-	4	7	5	40	73	41	22	16	9	3	2	-	-	-	-	-	223
コグサッキ-A10	-	-	-	-	-	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	-	2	-	36
コグサッキ-A16	-	-	-	2	3	9	11	6	6	8	7	4	3	-	-	-	-	-	59
コグサッキ-A21	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A24	-	-	-	-	-	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コグサッキ-B1	1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	-	28
コグサッキ-B2	-	2	6	-	2	11	19	20	25	7	7	3	5	-	-	-	-	-	107
コグサッキ-B3	-	-	-	-	1	2	9	2	6	3	2	4	2	-	-	-	-	-	31
コグサッキ-B4	3	3	8	8	10	61	105	54	62	13	7	2	2	-	-	-	-	-	338
コグサッキ-B5	1	1	9	24	75	81	120	22	24	23	14	2	1	-	-	-	-	-	397
コグサッキ-B6	-	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	6
エコー 3	5	12	5	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41
エコー 4	4	1	1	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	247
エコー 5	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
エコー 6	4	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	13
エコー 7	2	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
エコー 9	-	-	-	-	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	-	-	15
エコー 11	5	2	3	12	13	68	90	67	75	49	36	19	2	1	-	-	-	-	442
エコー 12	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	2	1	-	-	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	16
エコー 16	1	-	2	-	2	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	12
エコー 18	8	1	-	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	22
エコー 21	1	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	6
エコー 22	-	-	1	-	-	4	4	1	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	17
エコー 24	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4
エコー 25	1	-	-	1	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	30
エコー 30	4	3	10	7	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	-	-	-	527
ホリオ 1	6	4	2	10	4	1	1	-	-	2	3	1	1	-	-	-	-	-	35
ホリオ 2	6	4	2	11	8	4	-	-	-	1	3	-	-	2	-	1	-	-	42
ホリオ 3	1	5	3	6	4	3	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	28
エンテロ 71	-	-	-	2	-	3	15	3	6	10	6	13	3	2	13	1	-	-	77
ライノ	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
インフルA NT	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフルA (H1)	336	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	420
インフルA H1N1	435	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	512
インフルA (H3)	2	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	321	588	88	2	1	-	-	1025
インフルA H3N2	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	146	620	149	6	-	-	-	957
インフルエンザB	-	2	10	5	12	1	-	1	-	-	5	24	287	616	364	38	-	-	1365
インフルエンザC	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
パラインフル 1	-	9	-	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	1	-	-	-	22
パラインフル 2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
パラインフル 3	-	-	-	9	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	37
RSウイルス	20	12	16	4	6	2	2	-	-	4	9	14	7	7	-	-	-	-	103
ムンプス	10	5	10	15	23	38	33	30	20	47	60	28	13	12	9	8	-	-	361
マシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
フクシ	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
レオ NT	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
レオ 2	-	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	211	269	194	126	43	8	4	-	2	3	30	86	172	125	41	25	2	-	1341
コカタケリウイルス	57	43	21	20	6	8	10	2	1	1	17	30	39	23	19	24	3	-	324
アデノ NT	7	9	11	12	12	11	8	21	10	5	12	21	13	14	3	3	-	-	172
アデノ 1	9	7	6	13	16	20	13	4	8	6	10	9	9	4	3	3	2	-	142
アデノ 2	10	11	9	22	17	25	12	11	7	5	17	16	11	5	5	4	1	-	188
アデノ 3	9	11	15	7	14	55	54	111	72	41	39	37	24	8	3	1	4	-	505
アデノ 4	4	5	6	4	1	4	3	6	7	6	4	5	2	2	-	-	-	-	59
アデノ 5	2	4	8	9	5	9	7	4	6	5	6	8	6	3	3	2	2	-	89
アデノ 6	14	7	4	4	13	6	4	4	4	7	9	7	6	-	1	-	-	-	90
アデノ 8	7	4	8	2	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	3	1	-	-	75
アデノ 11	4	1	2	3	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	-	-	-	-	48
アデノ 14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	-	-	-	6	-	3	4	4	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	23
アデノ 37	2	2	3	2	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	-	-	-	-	30
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
アデノ 41	-	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ヘルペススポン	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
タンシエンヘルペスNT	3	4	6	10	13	7	10	7	4	12	9	8	5	13	6	2	-	-	119
タンシエンヘルペス 1	36	37	53	30	42	44	43	35	31	37	31	45	28	16	20	9	2	1	540
タンシエンヘルペス 2	7	11	13	10	8	9	14	7	5	14	10	6	2	6	5	3	-	-	134
サイトウタイシホウホウシ	1	3	1	2	8	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	-	40
サイトメカロ	32	42	45	43	23	22	22	23	23	24	26	24	22	21	1	-	-	-	393
アカタカエン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
BD*タカエン	4	1	-	2	-	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	-	-	-	57
クマシニア NT	-	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	-	-	12	6	51
トラコマチス NT	16	14	21	26	31	23	25	32	28	16	25	14	20	8	20	6	7	3	335
ハイエンマイコフラスマ	9	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	-	67
コウケイ	1338	724	552	576	605	879	1222	812	732	478	526	940	1917	1135	534	146	38	5	13159

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

(5株)などであり、海外由来株は *S. Indiana* (17株)、*S. Alachua* (10株)、*S. Berta* (8株)、*S. Aberdeen* (5株)、*S. Butantan* (4株)、*S. Salford* (4株)、*S. Hato* (3株)、*S. Langesalza* (3株)などであった。

由来別にみると、国内由来株では1987年からの *S. Hadar* と1989年の *S. Enteritidis* の分離株数の急増が特徴的である。*S. Hadar* の急増は、全国的なものであるが、その原因は不明である。*S. Enteritidis* は1989年鶏卵を原因とする集団食中毒事例が多発したが(本誌第10巻、第8号及び第11号参照)、それとの関連で増加したもの

と考えられる。海外由来株での特徴は、*S. Blockley* が1983年から著明に増加し始め、1985年から現在まで継続して検出率1位となっていることである。本血清型菌の分離された旅行者の旅行先国は、当初はシンガポールであることが多かったが、その後次第にシンガポール周辺の国々への旅行者からも分離されるようになってきた。各国へ拡散した様子を物語るのかもしれない。今後これらの血清型菌の検出率がどのように推移していくのか興味のもたれるところである。

(細菌第一研究科 松下 秀)

表6 ヒト由来ウイルス検出状況(東京)

(平成2年7月分)

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
ECHO	3	1	2年6月	ふん便	海外帰国者検便
	24	3	"	髄液	サーベイランス
Mumps		2	"	"	熱性疾患(MMR)
		1	2年7月	"	"

表7 淋菌及びクラミジア検出状況

(平成2年7月分)

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
衛生研究所	11	—	—	1

*ELISA法による検出、()内はペニシリナーゼ産生淋菌(PPNG)検出例再掲
台東病院の7月分は次号に掲載

表8 梅毒血清反応試験成績

(平成2年7月分、衛生研究所)

	一般健康者	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	77	—	22	12
陽性件数	2(2)	—	—	4(4)

()内は確認試験(TPHA及びFTA—ABS法)陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2—96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 8 号

(平成 2 年 8 月分月報)

平成 2 年 9 月 30 日発行

東京都立衛生研究所

話 題

食肉からのリステリア・モノサイトゲネス (*Listeria monocytogenes*) の検出法

最近、*L. monocytogenes* による食品媒介リステリア症が世界各国の食品衛生関係者の注目を集めている(本誌第 9 巻 8 号、1988 年)。しかし、その疫学的背景には不明確な部分が多い。WHO では緊急に各国の専門家によるワーキンググループを組織し、1988 年に「Foodborne Listeriosis」と題する報告書を作成して食品媒介リステリア症発生防止のための勧告を行った。この中で、あらゆる食品が家畜や環境を通じて *L. monocytogenes* により汚染される危険性が指摘され、これを監視するための簡易・迅速な検査法を早急に確立する必要性が強調されている。

食品からの *L. monocytogenes* の検出は、通常、選択増菌→選択分離→確認培養の手順で行われる。選択増菌培養には、以前から本菌の低温増殖性に着目した 4℃ による低温培養法が採用されている。しかし、この方法は結果を得るまでに長期間を要すること、食肉など低温細菌の汚染が濃厚な食品では選択増菌効果がないことなどの欠点がある。このため、抗生物質などの薬剤を添加して 30~35℃ の培養で短期間に選択増菌する目的の培地が多数開発されている。これらの中で、現在国際的に広く用いられているのがアメリカの FDA 法としても採用されている EB 培地 (Lovett ら、1987) および UVM 培地 (Donnelly ら、1986) である。一方、選択分離培地についても、1985 年以降勢力的に開発が進められ、LPM 寒天 (Lee ら、1986)、

オックスホード寒天 (Curtis ら、1989)、パルカム寒天 (van Netten ら、1989) などが広く支持され、製品化もされている。

表に示した成績は、われわれが市販食肉 162 例を対象に、本菌の検出法を検討したものである。EB 培地により 30℃ で 2 および 7 日間増菌培養後にオックスホード寒天と LPM 寒天で分離培養を行い、*L. monocytogenes* の検出率を低温増菌法と比較した。EB 培地による増菌培養期間は 2 日より 7 日目に検出率が高く、低温増菌培養法ではこれらよりも検出率がかなり低かった。2 種類の分離培地の間での検出率には優劣は認められなかったが、オックスホード寒天では *Listeria* 集落とその周辺部がエスクリン分解により褐色になるために肉眼的に識別が容易であるという利点があった。このように、EB 培地で増菌培養後にオックスホード寒天で分離培養するという手順は食肉からの本菌の検出に優れた成績を示したが、さらに迅速かつ確かな培養法が検討されるべき余地がある。

また、最近簡易迅速検査法として ELISA や DNA プローブなどの手法を応用したキットが開発され一部で商品化されている。このような方法は日常的な食品の品質管理を目的とした検査では有効であろうと考えられるので、その実用性も検討してゆきたい。

(生活科学部 小久保彌太郎)

市販食肉 (162 例) からの *Listeria monocytogenes* 検出状況：検出法別の成績

増菌培養条件	陽 性 検 体 数 (%)	
	オックスホード寒天	LPM 寒天
EB 培地 30℃ - 2 日間	33(20.4)	34(21.0)
30℃ - 7 日間	52(32.1)	51(31.5)
PBS* 4℃ - 30 日間	21(13.0)	21(13.0)

*M/15 リン酸緩衝生理食塩水 (pH 7.6)

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	1,216							
中 央区 中 央保健所	2,287							
港区 保健衛生課検査係	2,928							
新 宿区 四 谷保健所	3,032							
文 京区 衛 生試験所	2,537							
台 東区 下 谷保健所	1,887							
墨 田区 向 島保健所	1,971							
江 東区 城 東保健所	51							
〃 深 川保健所	2,540							
品 川区 衛 生試験所	2,331(16)							
目 黒区 衛 生試験所	1,712							
大 田区 衛 生検査所	3,697							
世田谷区 世田谷保健所	304							
渋谷区 渋谷保健所	1,484							
中 野区 衛 生試験所	2,673							
杉 並区 衛 生試験所	3,251(20)							
豊島区池袋・長崎保健所	108							
北 区 衛 生試験所	2,430							
荒 川区 荒 川保健所	746							
板 橋区 検査センター	3,710							
練 馬区 衛 生試験所	3,524							
足 立区 衛 生試験所	2,802							
葛 飾区 葛飾北保健所	2,834							
江戸川区 江戸川保健所	3,721							
小 計	53,776(36)							
東 京 都 三 鷹保健所	3,825							
八王子保健所	3,035							
田 無保健所	3,404							
島しょ保健所 大 島	378							
三 宅	97							
八 丈	250							
小 笠 原	106							
小 計	11,095							
衛生研究所 本 所	1,282(354)	2(2)	6(4)		2(2)	1(1)	1(1)	4(4)
多摩支所	12,124(8)							
小 計	13,406(362)	2(2)	6(4)		2(2)	1(1)	1(1)	4(4)
合 計	78,277(398)	2(2)	6(4)		2(2)	1(1)	1(1)	4(4)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2年8月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌*
チフス菌	パラチフス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1				
		1	3			1	
			7	1		1	
		1	2	1			
		1	1	1			
		2					
				1	1	1	1
			4(4)	1(1)	1(1)	2(2)	10(8)
		2	9	1		1	
1				1	2		
		1		1			
		1	3	2			
		2	1	5(1)	1	2	12(12)
				1			
						1	
		1	4		1	2	
		3	3	3	1		3(3)
1		15	38(4)	19(2)	7(1)	11(2)	26(23)
				1		1	
				1			
			2	1			
			2	3		1	
		16(7)	29(1)	11(6)	4(4)	61(12)	256(58)
		1	1	5			
		17(7)	30(1)	16(6)	4(4)	61(12)	256(58)
1		32(7)	70(5)	38(8)	11(5)	73(14)	282(81)

表 2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（ 2 年 7 月 分 ）				東 京（ 2 年 8 月 分 ）		
		地研・保健所	一 般 医療機関	都 市 立 伝染病院	検疫所	衛 生 研究所	保健所	予 防 医 学 会 協
大 腸 菌		73(58)	105(1)	4(3)	7(7)	117(6)	9(9)	
赤 痢 菌（A-D 群）		26(24)	1(1)	16(15)	28(28)	4(4)		
チ フ ス 菌		5(2)		1(1)			1	
パ ラ チ フ ス A 菌		1(1)		2(2)				
そ の 他 の サ ル モ ネ ラ	O4(B)	115(7)	147	1	5(5)	16(7)	17	2
	O7(C ₁ , C ₄)	81(11)	36	1	2(2)	29(1)	41(6)	7
	O8(C ₂ , C ₃)	117(11)	55	2	4(4)	11(6)	25(2)	7
	O9(D ₁)	36(1)	31	2(1)	3(3)	54(5)	2	3
	O9, 46(D ₂)		2			1(1)		
	O3, 10(E ₁ , E ₂ , E ₃)	14(6)	5		1(1)	4(4)	7(7)	
	O1, 3, 19(E ₄)	5(3)	1			1(1)	1	1
	O13(G ₁ , G ₂)	2	1			2(2)		
	O18(K)	2	1		1(1)	4(4)	4	1
	そ の 他	3	3					
群 不 明		3	5		1(1)			1
腸 炎 エ ル シ ニ ア		6(3)	19					
偽 結 核 菌								
コ レ ラ 菌（O1）		3(1)			1(1)	2(2)		
"（O1 以外）		1	2	1(1)	15(15)	6(4)		
腸 炎 ビ ブ リ オ		204(12)	84	4(1)	83(83)	63(17)	1(1)	
そ の 他 の ビ ブ リ オ		23(3)	4		7(7)			
エ ロ モ ナ ス		19(15)	44			26(26)	7(7)	
カンピロバクター		66(13)	706	3(1)		9(9)	2(2)	
ブ ド ウ 球 菌		96	65			3		
A 型 ウェルシュ菌		70	23			8		
ボツリヌス菌（E 型）								
"（その他）								
セ レ ウ ス 菌		17	1					
淋 菌								
髄 膜 炎 菌		35						
レ ン サ 球 菌（A 群）		101						
"（B 群）		23						
"（C 群）		1						
"（G 群）		3						
"（不明）								
ジ フ テ リ ア 菌								
百 日 咳 菌		12						
肺 炎 球 菌		1						
レ ジ オ ネ ラ								
レ プ ト ス ビ ラ								
赤 痢 ア メ ー バ				1				
マ ラ リ ア								
そ の 他 の 細 菌		32(30)	4	3(3)	85(85)		7(4)	

()：海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（ 2 年 7 月 分 ）				東 京（ 2 年 8 月 分 ）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 研 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 会 協 会
A 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b		1(1)	1(1)			
	1	1(1)					
	2a	3(2)	1	2(2)			
	2b						
	3a	4(3)		2(2)			
	3b				1(1)		
	4a	1(1)	1(1)	1(1)			
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6		1(1)		1(1)		
	X						
	Y						
	型不明	2(2)					
C 群	1						
	2						
	3						
	4	2(2)		2(2)			
	5						
	6						
	7		1(1)	1(1)			
	8		1(1)				
	9						
	10			1(1)			
	11						
	12				1(1)		
	13						
	14						
	15						
	型不明	1(1)					
D 群		13(13)	9(9)	18(18)	1(1)		
	その他		1(1)				

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 8 月 16 日～ 9 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
A	東京都本郷	2	1990. 9
〃	三重県四日市	1 (1)	1990. 6
M 1	東京都葛飾北	1 * (1)	1990. 8
〃	広島県海田	2	1990. 7
D 1	三重県松阪	1	1990. 5
D 2	東京都大森	1 (1)	1990. 8
E 1	東京都東久留米	1 ** (1)	〃
E 2	東京都渋谷	1 (1)	1990. 9
合 計		10 (5)	

() : 海外輸入例再掲

* : CP・TC・SM・ABPC・SXT耐性 (パキスタンからの輸入事例)

** : 埼玉県衛生研究所にて分離

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年2月~1990年7月報告分)

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	コ ウ ケ イ
	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	
ヒコルナ NT	-	1	1	8	6	20	23	10	9	10	3	-	2	1	-	-	-	-	94
コグサッキ-A2	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
コグサッキ-A3	-	-	-	2	9	8	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
コグサッキ-A4	2	-	10	29	83	162	45	36	7	1	-	-	-	1	-	-	-	-	376
コグサッキ-A5	-	-	-	1	5	15	6	2	2	2	2	-	-	-	-	2	4	-	41
コグサッキ-A6	1	-	2	4	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	2	1	-	61
コグサッキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A8	-	-	-	1	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	48
コグサッキ-A9	-	4	7	5	40	74	41	22	16	9	3	2	-	-	1	-	2	-	226
コグサッキ-A10	-	-	-	-	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	-	3	15	-	52
コグサッキ-A16	-	-	2	3	9	11	6	6	8	7	5	3	-	-	3	5	1	-	69
コグサッキ-A21	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A24	-	-	-	-	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コグサッキ-B1	-	3	1	-	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	27
コグサッキ-B2	2	6	-	2	11	19	21	36	7	7	3	5	1	-	-	1	3	-	124
コグサッキ-B3	-	-	-	1	2	9	2	6	3	2	4	2	-	-	-	1	1	-	33
コグサッキ-B4	3	8	8	10	61	105	54	73	13	7	2	2	-	-	-	-	-	-	346
コグサッキ-B5	1	9	24	75	81	120	22	24	23	14	2	1	-	-	-	1	1	-	398
コグサッキ-B6	-	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	6
エコー 3	12	6	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37
エコー 4	1	1	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	243
エコー 5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
エコー 6	3	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	12
エコー 7	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
エコー 9	-	-	-	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	-	-	-	15
エコー 11	2	3	12	13	68	90	67	75	49	36	23	3	1	-	-	-	-	-	442
エコー 12	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	1	-	-	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	14
エコー 16	-	2	-	2	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	11
エコー 18	1	-	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	14
エコー 21	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5
エコー 22	-	1	-	-	4	4	1	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	24
エコー 24	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
エコー 25	-	-	1	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
エコー 30	3	10	7	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	1	2	-	-	-	526
ホリヲ 1	4	2	10	4	1	1	-	-	3	3	2	2	-	-	-	-	-	-	35
ホリヲ 2	4	2	11	8	4	-	-	-	2	3	1	-	2	1	3	-	-	-	28
ホリヲ 3	5	3	6	4	3	2	-	-	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	89
エンチロ 71	-	-	2	-	3	15	3	6	10	7	14	3	2	13	1	6	4	-	89
ライノ	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
インフル A (H1)	77	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	84
インフル A H1N1	70	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	77
インフル A (H3)	2	2	-	-	-	-	-	4	-	13	321	588	90	2	1	-	-	-	1025
インフル A H3N2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	173	641	157	6	-	1	-	-	991
インフルエンザ B	2	10	5	12	1	-	1	-	5	25	294	639	427	53	2	-	-	-	1476
インフルエンザ C	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ハ・ラインフル 1	9	-	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	1	-	-	-	-	22
ハ・ラインフル 2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ハ・ラインフル 3	-	-	9	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	37
RSウイルス	12	16	4	6	2	2	-	4	9	14	7	7	-	-	-	-	-	-	83
ムンツァス	5	10	17	24	39	34	31	20	49	61	28	13	12	9	15	7	3	-	377
マジン	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
フクシ	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
レオ NT	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
レオ 2	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	271	194	130	43	16	6	-	2	5	39	145	183	128	44	31	5	2	-	1244
コカ・タケ・リウウイルス	43	21	20	7	10	10	2	1	1	17	34	40	25	19	24	3	-	-	277
アデノ NT	9	11	12	13	12	8	21	10	8	15	30	15	14	3	3	-	1	-	185
アデノ 1	8	6	13	16	28	15	4	8	6	10	9	9	4	5	5	5	-	-	151
アデノ 2	11	9	22	17	29	12	11	7	5	17	16	11	6	6	8	1	1	-	189
アデノ 3	11	15	7	14	55	56	114	72	41	39	38	24	10	7	12	11	1	-	527
アデノ 4	5	6	4	1	4	3	6	7	6	4	5	2	2	-	1	3	-	-	59
アデノ 5	4	8	9	6	9	7	4	6	5	6	8	6	3	4	3	5	1	-	94
アデノ 6	7	4	4	13	12	6	4	4	7	9	7	6	-	1	1	-	-	-	85
アデノ 8	4	8	2	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	3	1	-	-	-	68
アデノ 11	1	2	3	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	-	-	-	-	-	44
アデノ 14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	-	-	6	-	3	4	4	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	23
アデノ 37	2	3	2	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	2	-	1	-	-	31
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 41	1	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
ヘルペス・グアン	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
タンシ・ジョンヘルペス NT	4	6	10	13	7	10	7	4	12	9	8	5	13	6	2	-	-	-	116
タンシ・ジョンヘルペス 1	37	53	30	42	44	43	35	31	37	31	47	30	16	26	14	15	7	-	538
タンシ・ジョンヘルペス 2	11	13	10	8	9	14	7	5	14	10	6	2	6	5	3	6	7	-	136
サイトウ・グアン・ウ・ホウシ	3	1	2	8	3	2	2	3	6	5	3	1	-	-	-	-	-	-	39
サイトメ・カ・ロ	42	45	43	23	22	22	23	23	24	26	25	22	21	1	3	-	1	-	366
A・カ・タンエン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
B・カ・タンエン	1	-	2	-	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	1	1	1	-	56
クラミジア NT	-	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	-	-	12	6	1	-	51
トラコ・チ・ス NT	14	21	26	31	23	25	32	28	16	25	14	20	8	20	11	8	24	2	348
ハイ・エ・ミ・コ・ア・ラ・ス・マ	9	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	3	-	61
コウケイ	727	553	582	609	909	1232	817	761	487	540	1052	1963	1178	618	218	108	86	2	12442

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノロウィーク，カリシを含む）

表6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年8月分）

ウイルス / 型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
Polio 3	1	2 年 8 月	ふ ん 便	流 行 予 測
ECHO 1 4	1	〃	〃	海 外 帰 国 者 検 便
2 5	1	〃	〃	サ ー ベ ラ ン ス
Mumps	1	2 年 7 月	髄 液	熱 性 疾 患 （ M M R ）
	2	〃	〃	サ ー ベ ラ ン ス
Adeno 4 1	1	2 年 8 月	ふ ん 便	流 行 予 測

表7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年7月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	32	8（－）	1（－）	7

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

（平成2年8月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	19	4（－）	－	3
衛生研究所	19	－	－	2

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年8月分、衛生研究所）

	一般健康者	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	75	－	19	19
陽性件数	4（4）	－	－	2（2）

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA－ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2－96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 9 号

(平成2年 9 月分月報)

平成2年10月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題

Vero 毒素産生性大腸菌 (腸管出血性大腸菌) による下痢症と溶血性尿毒症性症候群

本年10月中旬、埼玉県下の幼稚園でVero 毒素産生性大腸菌(腸管出血性大腸菌) O157:H7 による下痢症が集団発生し、溶血性尿毒症性症候群(Hemolytic Uremic Syndrome: HUS)の併発による2名の死亡例を出した。新しく問題となった疾患であり、死亡例が出たこともあってマスコミに大きく取り上げられたことは記憶に新しいところである。ここでは、文献をもとに、このHUSについて紹介する。

HUSは欧米において関心が高く、患者数の調査は英国、カナダ、アメリカでよくなされている。英国での年間報告数は1983年から54、57、83、105、130、104例と推移し、1989年は188例と著しく増加している。このような増加傾向はこの疾患についての関心の高まりを反映してのものかも知れないが、カナダ、アメリカでも認められている。年令別にみると、小児における発症例が多く、1985～88年の英国での調査(Milfordら)では、2～3才にピークを示している。この報告によると、臨床的には、多くの場合、出血性下痢や腹痛を主徴とする腸炎症状に始まり、3日から14日(平均約8日)後に、血小板数の減少、血清クレアチニンの上昇、ハプトグロビン低値を伴った貧血、腎不全などを呈するHUSに移行するケースが多いとされている。小児や老人では死亡する場合もあり、Milfordらの調査結果では288名中17名(5.9%)の小児が死の転帰をとっている。治療法としては、ヘパリン、アスピリン、デヒリダモールなどの抗血栓剤投与、血漿交換などが試みられている。腎不全に対しては、早期に透析療法を行なう必要があることが指摘されている。

HUSの発症機転については、未だ不明であるが、これまでの研究から、ある種の誘因によって腎を中心とする血管炎、局所的な凝血異常を生じ、急性腎不全を招くと理解されている。HUSの誘因としては、細菌性あるいはウイルス性の感染を含む多くのものが提唱されてきたが、1983年KarmaliらのカナダにおけるHUS患者の病原学的解析以来、或る種の大腸菌がクローズアップされるに至った。すなわち、40名のHUS患者中24名(60.0%)からVero細胞(アフリカミドリザル腎臓細胞)に細胞毒性を示すいわゆるVerocytotoxin産生性大腸菌(VTEC)が確認されたことで

ある。以後、この大腸菌がHUSの有力な起因菌として注目されてきている。このVTECは1982年、アメリカおよびカナダで発生したO157:H7の血清型の大腸菌による出血性大腸炎の集団事例の原因菌として発見され、腸管出血性大腸菌(Enterohemorrhagic E. coli: EHEC)とも呼ばれる(本誌第4巻、第3号)。その後、我が国においてもこの菌による出血性大腸炎の散発的な発生が報告されたし、同様の細胞毒を産生するO145:NMやO111:NMの血清型の大腸菌による集団例も報告された。出血性大腸炎の病原としてのVTECの役割については、本誌においてすでに紹介してきた(第6巻、第10号、第9巻、第9号)。また、その後上記のみでなく多くの異なった血清型の大腸菌がVerocytotoxinを産生することも明らかにされてきた。英国ではHUS患者53名からVTECが検出され、そのうち35件からO157:H7が、3例からO157:NMが、その他からは11種類の異なった血清型のVTECが検出されたという報告もある。何れの血清型にしても、Verocytotoxinの産生性とHUSとの間の相関が注目されるところである。しかし、HUSの病原としてはいずれの国においても、今回埼玉県で問題となったO157:H7であることが圧倒的に多い。英国では1990年以降HUSのサーベイを大腸菌O157に代表されるVTEC検出を方法論とするサーベイに切り替えている。一方、我が国におけるHUSの症例は極めて少なかったといえる。しかし、今回の埼玉県の事件を契機に、国が中心となってその実態調査が展開される予定である。HUSの病理、感染源、感染経路などについてはまだ不明な点が多いが、この調査により明らかにされることが期待される。都立衛生研究所では、Verocytotoxin(現在VT1および2の二種とVT2に酷似したvariantが知られている)を簡易に検出するための逆受身ラテックス凝集反応を開発し、充分利用価値のあることを確認している。出血性大腸炎、HUSを併発した下痢症に遭遇された際には、糞便あるいは血清材料(ベア血清)をお届け頂ければ、検査に応じられる体制を整えている。

(細菌第一研究科 山田澄夫)

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コレラ菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	1,520							
中 央区 中 央保健所	2,554							
港区 保健衛生課検査係	3,822						1	1
新 宿区 四 谷保健所	3,265							
文 京区 衛 生試験所	2,670							
台 東区 下 谷保健所	2,184							
墨 田区 向 島保健所	2,358							
江 東区 城 東保健所	35							
〃 深 川保健所	3,035							
品 川区 衛 生試験所	2,667 (8)							
目 黒区 衛 生試験所	1,941							
大 田区 衛 生検査所	4,237							
世田谷区 世田谷保健所	214							
渋谷区 渋谷保健所	2,540							
中 野区 衛 生試験所	3,114							
杉 並区 衛 生試験所	2,946 (13)							
豊島区池袋・長崎保健所	3,421							
北 区 衛 生試験所	2,368							
荒 川区 荒 川保健所	1,499							
板 橋区 検査センター	4,158							
練 馬区 衛 生試験所	4,814							
足 立区 衛 生試験所	3,954 (3)							
葛 飾区 葛飾北保健所	3,238							
江戸川区 江戸川保健所	3,839							
小 計	66,393 (24)						1	1
東 京 都 三 鷹保健所	3,985							
八王子保健所	3,031							
田 無保健所	3,056							
島しょ保健所 大 島	483							
三 宅	68							
八 丈	240							
小 笠 原	110							
小 計	10,973							
衛生研究所 本 所	1,097 (295)	2 (2)	5 (4)		2 (2)		2 (2)	4 (4)
多摩支所	12,350 (4)							
小 計	13,447 (299)	2 (2)	5 (4)		2 (2)		2 (2)	4 (4)
合 計	90,813 (323)	2 (2)	5 (4)		2 (2)		3 (2)	5 (4)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年9 月分

検 出 状 況		そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフス A 菌	O4	O7	O8	O3、10	その他	
				2			
			2		1		
		3	4	1		2	
		1	3		1		
2		4		1		1	
			2				
		1	1	1	1		
			4	1		1	
		2	5	1		2	7 (5)
		2	2	1			
			10	3		1	
			3	5	1	1	
			1	1	3	2	
		1 (1)	3	1		2 (1)	7 (7)
					1	1	
			1			1	1
			1				
			11			1	
		2 (1)		1		3 (1)	
				1		2	
2		16 (2)	53	20	8	20 (2)	15 (12)
				2		1	
		1				2	
			2				
			1				
		1	3	2		3	
		13 (9)	61 (12)	13 (12)	4 (4)	9 (5)	149 (53)
		1	3	1	1	2	
		14 (9)	64 (12)	14 (12)	5 (4)	11 (5)	149 (53)
2		31 (11)	120 (12)	36 (12)	13 (4)	34 (7)	164 (65)

表 2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（ 2 年8月分）				東 京（ 2 年9月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会
大 腸 菌		186 (125)	126	2 (2)	8 (8)	2 (2)	6 (6)	
赤 痢 菌 (A-D群)		22 (20)	2	16 (14)	25 (25)	4 (4)	1	
チ フ ス 菌		2 (1)		1 (1)			2	
バ ラ チ フ ス A 菌			1					
その 他 の サル モ ネ ラ	O4 (B)	63 (11)	100	8	15 (15)	13 (9)	14 (2)	4
	O7 (C ₁ 、C ₄)	163 (10)	65		2 (2)	61 (12)	62	12
	O8 (C ₂ 、C ₃)	61 (7)	65	2 (1)	5 (5)	13 (12)	23	10
	O9 (D ₁)	58 (5)	60		7 (7)	7 (3)	14 (2)	5
	O9、46 (D ₂)							
	O3、10 (E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	20 (14)	5		12 (12)	4 (4)	9	1
	O1、3、19 (E ₄)	2 (2)			1 (1)	2 (2)	2	1
	O13 (G ₁ 、G ₂)	4	1				3	
	O18 (K)	3 (2)	1		1 (1)		4	
	そ の 他	3 (1)	3				1	1
群 不 明		2 (1)	12				1	
腸 炎 エ ル シ ニ ア		2	21					
偽 結 核 菌								
コ レ ラ 菌 (O1)		5 (2)	2 (2)	1	3 (3)	2 (2)		
" (O1以外)		9 (4)	11		26 (26)	5 (4)		
腸 炎 ビ ブ リ オ		284 (8)	208	6 (2)	89 (89)	83 (11)	1 (1)	
そ の 他 の ビ ブ リ オ		5	8		6 (6)	1 (1)		
エ ロ モ ナ ス		13 (5)	61		1 (1)	12 (12)	2 (2)	
カンピロバクター		43 (2)	439	3		19 (19)	2 (2)	
ブ ド ウ 球 菌		92	45			13		
A 型 ウ ェ ル シ ュ 菌		3				7		
ボツリヌス菌 (E型)								
" (その他)								
セ レ ウ ス 菌		8	4			1		
淋 菌		43						
髄 膜 炎 菌								
レ ン サ 球 菌 (A群)		54						
" (B群)		19						
" (C群)								
" (G群)		4						
" (不明)		1						
ジ フ テ リ ア 菌								
百 日 咳 菌		7						
肺 炎 球 菌		3						
レ ジ オ ネ ラ								
レ プ ト ス ビ ラ								
赤 痢 ア メ ー バ			2	4				
マ ラ リ ア		1 (1)						
そ の 他 の 細 菌		31 (17)	11	1 (1)	135 (135)	11 (8)	7 (1)	

() : 海外旅行者分再掲

表3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（2年8月分）				東 京（2年9月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2			1(1)			
	3	1(1)					
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b						
	1						
	2a	2(2)			1(1)		
	2b						
	3a	2(2)	2(2)				
	3b						
	4a		1(1)	1(1)			
	4b						
	4				1(1)		
	5a						
	5b			1(1)			
	6						
	X						
	Y	1	1(1)				
	型不明		1(1)				
C 群	1		1(1)				
	2						
	3						
	4			1(1)			
	5		1(1)				
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13			1(1)			
	14						
	15						
	型不明						
D 群	17(15)	2	9(7)	20(20)	2(2)		
	その他						

(): 海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990年9月16日～10月15日受理分)

予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
A	東京都本郷	2	1990. 9
46	東京都武蔵調布	1	"
"	東京都日野	1	"
DVS * ¹	東京都墨田区本所	1	"
"	広島県広島市佐伯	1 (1)	"
D2	東京都品川区荏原	1 (1)	"
M1	神奈川県横浜市金沢	1* ³ (1)	"
E11	東京都大田区雪谷	1	1990.10
UVS1 * ²	東京都品川区品川	1	1990. 9
合 計		10 (4)	

() : 海外輸入例再掲

*¹ : DVS = Degraded Vi positive strain

*² : UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

*³ : CP・TC・SM・ABPC・SXT 耐性 (パキスタンからの輸入事例)

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年3月~1990年8月報告分)

	3 か ツ	4 か ツ	5 か ツ	6 か ツ	7 か ツ	8 か ツ	9 か ツ	10 か ツ	11 か ツ	12 か ツ	1 か ツ	2 か ツ	3 か ツ	4 か ツ	5 か ツ	6 か ツ	7 か ツ	8 か ツ	コ ウ ケ イ
ヒコルナ NT	1	1	8	6	20	23	10	9	10	3	-	2	1	-	-	2	1	-	97
コグサッキ-A2	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	15
コグサッキ-A3	-	-	2	9	8	5	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	28
コグサッキ-A4	-	10	29	83	162	45	36	7	1	-	-	-	1	-	-	23	4	-	401
コグサッキ-A5	-	-	1	5	15	6	2	2	2	2	-	-	-	-	3	15	2	-	55
コグサッキ-A6	-	2	4	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	2	11	1	-	71
コグサッキ-A7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A8	-	-	1	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
コグサッキ-A9	4	7	5	40	74	41	22	16	9	3	2	-	-	1	-	5	1	-	230
コグサッキ-A10	-	-	-	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	-	3	36	17	-	90
コグサッキ-A16	-	2	3	9	11	6	6	8	7	5	3	1	5	5	14	14	-	-	99
コグサッキ-A21	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コグサッキ-A24	-	-	-	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コグサッキ-B1	3	1	-	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	1	2	-	30
コグサッキ-B2	6	-	2	11	19	21	36	7	7	3	5	1	-	3	5	12	2	-	140
コグサッキ-B3	-	-	1	2	9	2	6	3	2	4	2	-	-	3	1	13	3	-	51
コグサッキ-B4	8	8	10	61	106	54	73	13	7	2	2	-	-	-	-	1	1	-	346
コグサッキ-B5	9	24	75	81	120	22	24	23	14	2	1	-	-	-	1	9	4	-	409
コグサッキ-B6	1	-	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6
エコー 3	6	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	27
エコー 4	1	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	242
エコー 6	-	-	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	9
エコー 7	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
エコー 9	-	-	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	4	2	-	-	21
エコー 11	3	12	14	68	90	67	75	49	36	23	3	1	-	-	1	1	2	-	445
エコー 12	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	-	-	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
エコー 16	2	-	2	2	-	2	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	11
エコー 18	-	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	13
エコー 21	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	5
エコー 22	1	-	-	4	4	1	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24
エコー 24	1	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	6
エコー 25	-	1	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	4	3	-	-	36
エコー 30	10	7	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	1	3	12	7	-	543
ホーリオ 1	2	10	4	1	1	-	-	3	3	2	2	1	-	4	2	-	-	-	35
ホーリオ 2	2	11	8	4	-	-	-	2	3	1	-	2	1	4	2	-	-	-	40
ホーリオ 3	3	6	4	3	2	-	-	2	-	-	1	-	-	2	2	1	-	-	26
エンチロ 71	-	2	-	3	15	3	6	10	7	14	3	2	17	11	29	43	4	-	169
ライノ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
インフルA (H1)	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフルA H1N1	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
インフルA (H3)	2	2	-	-	-	-	4	-	-	13	321	601	90	2	1	-	-	-	1036
インフルA H3N2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	173	641	157	6	-	1	-	-	-	989
インフルエンザB	10	5	12	1	-	1	-	-	5	25	305	639	450	55	2	1	-	-	1511
インフルエンザC	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ハローインフル 1	-	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	1	-	-	1	-	-	14
ハローインフル 2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	5
ハローインフル 3	-	9	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	3	5	-	-	-	45
RSウイルス	16	4	6	2	2	-	1	5	10	19	9	9	2	1	1	-	-	-	87
ムンブス	10	17	24	39	34	31	20	49	63	28	13	12	9	23	19	20	8	-	419
マシシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
フクシシ	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
レオ NT	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
レオ 2	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	194	130	43	16	6	-	2	5	39	145	187	132	56	34	8	6	-	-	1003
コカタケリウイルス	21	20	7	10	10	2	1	17	34	40	25	19	24	5	-	-	-	-	236
アデノ NT	11	12	13	12	8	21	10	8	15	30	15	15	4	4	1	3	-	-	182
アデノ 1	6	13	16	28	15	4	8	6	10	9	10	4	5	12	6	5	1	-	158
アデノ 2	9	22	17	29	12	11	7	5	17	16	11	8	11	8	3	9	4	-	199
アデノ 3	15	7	14	55	56	114	72	41	41	39	25	13	12	15	25	13	9	-	566
アデノ 4	6	4	1	4	3	6	7	7	5	5	2	2	-	2	4	-	-	-	58
アデノ 5	8	9	6	9	7	4	6	5	7	8	6	3	4	7	7	1	-	-	97
アデノ 6	4	4	13	12	6	4	4	7	10	7	6	-	1	1	1	1	-	-	81
アデノ 8	8	2	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	3	2	-	2	-	-	67
アデノ 11	2	3	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	1	-	-	-	-	-	44
アデノ 14	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	-	6	-	3	4	4	4	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	24
アデノ 37	3	2	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	5	-	1	-	-	-	32
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2
アデノ 41	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	4
ヘルペス	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
タンシヨウヘルペスNT	6	10	13	7	10	7	4	12	9	8	5	13	6	2	-	-	-	-	112
タンシヨウヘルペス 1	53	30	42	44	43	35	31	37	31	47	31	18	28	26	20	17	9	-	542
タンシヨウヘルペス 2	13	10	8	9	14	7	5	14	10	6	2	7	5	4	6	9	2	-	131
サイトウタイシヨウホクシシ	1	2	8	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	-	-	-	36
サイトメカロ	45	43	23	22	22	23	23	24	26	25	22	21	1	3	-	1	-	-	324
アカタカンエン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	-	-	6
バカタカンエン	-	2	-	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	1	1	1	-	-	55
クラミシヤ NT	2	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	2	-	18	11	9	6	-	78
トラコサシ NT	21	26	31	23	25	32	28	16	25	14	20	8	20	11	8	24	18	-	350
ハイエンマイコフラスマ	8	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	3	1	-	53
コウ ケイ	553	582	610	909	1233	817	762	489	548	1058	1997	1197	687	293	215	342	118	-	12410

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年9月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
Coxsackie	A 9	1	2年8月	ふ ん 便	海 外 帰 国 者 検 便
	B 2	1	9月	〃	集 団 発 生（疾 患 調 査）
	B 5	1	9月	〃	流 行 予 測
Adeno	2	1	7月	咽頭ぬぐい液	サ ー ベ ラ ン ス
	型不明	2	7月	ふ ん 便	流 行 予 測

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年9月分）

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	26	8（3）	1（－）	4
衛 生 研 究 所	25	2	－	2

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年9月分、衛生研究所）

	一般健康診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検 査 件 数	77	－	20	28
陽 性 件 数	5（2）	－	3	5（5）

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA－ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2－96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 10 号

(平成2年10月分月報)

平成2年11月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題

最 近 の 赤 痢 事 情

周知のように法定伝染病である赤痢（アメーバ赤痢を含む）は、現在も世界的に発生頻度が高く、公衆衛生上依然無視できない疾病の一つである。ここではこの赤痢のなかで、その主体を占める細菌性赤痢に焦点を当て、最近の動向を概略紹介する。

細菌性赤痢は、本邦においてもかつては下痢性疾患の一つとして極めて重要な位置を占め、戦前はもちろん、戦後も1950年の終り頃までは全国的に水系流行を始めとする集団発生が多発し、その患者数も毎年数万人にも及ぶ状況にあった。しかし、1960年代に入ると患者数は徐々に減少しはじめ、1970年半ばには1,000名前後を数えるまでに至った。これは、主に近年における我が国の上・下水道の整備など衛生環境の改善、抗生物質など治療薬の開発・普及などによるものであり、この事情は近年急減をみた腸チフスの場合と同様であるといえる。

しかし、1970年半ば以降1988年までの患者発生推移を見ると、これまで減少傾向にあった患者発生に殆ど変化がみられなくなり、最近ではむしろ漸増傾向の様相さえ呈してきている。これは、コレラ等ですでに指摘されているように、赤痢においても主に1970年半ば頃より顕著になった海外旅行者の増加と平行して輸入事例が年々増加傾向にあることを反映しているもので、13都市立伝染病院においてこの種の輸入腸炎の実態調査を毎年実施している感染性腸炎研究会の成績にもこのことがよく示されている。すなわち、同調査で確認された細菌性赤痢の輸入症例は、1974年当時は僅か20名前後で全症例数に占める割合も10%未満に過ぎなかったが、その後この種の輸入例は年々増加し、最近3ケ年の成績では年平均300名余を数えるまでになり、全症例に占める割合も実に約76%にも及んでいる。これら輸入例の推定感染地としては、これまでの調査ではアジアを中心とした発展途上国が大半で、なかでもインド、ネパールな

どにおける感染例が多い傾向である。なお、近年におけるアメーバ赤痢の増加も、正確な数字はないものの細菌性赤痢同様輸入例の増加によると考えて間違いはない。

一方、こうした赤痢の発生動向とも密接に関連して検出赤痢菌の菌種や血清型の面でも興味ある変遷が認められる。厚生省伝染病統計に基づく過去20数年間の検出赤痢菌の菌種別推移をみると、本邦では1960年代の始めまでの長い間血清型2aを中心としたB群赤痢菌（*Shigella flexneri*）が主体を占めていたが、1964年に至りD群赤痢菌（*Shigella sonnei*）がそれにとって変わり、それ以降の10数年間本菌を主流とする時代が続いた。しかし、輸入例が目立ちはじめた時期ともよく一致して1970年半ば頃より再びB群赤痢菌の増加が認められるようになり、現在ではこのB群及びD群赤痢菌が主要原因菌としてほぼ同じ割合で検出されている。まだその割合は低率ではあるが、従来極めて稀であったA群赤痢菌（*Shigella dysenteriae*）、C群赤痢菌（*Shigella boydii*）や、同じB群赤痢菌でも血清型6型などが同様増加傾向にあることも、この輸入例の影響による。

他方、細菌性赤痢の治療上不可欠な分離株の薬剤感受性についてみると、東京においてこれまで調査してきた我々の成績では国内及び輸入由来株の両者ともその約80%強が耐性株で、ここ10数年間その耐性頻度に大きな変化は観察されていない。薬剤別にみると両由来株とも、耐性株の出現頻度はテトラサイクリン、ストレプトマイシン、クロラムフェニコール、アンピシリン、ST合剤の順で高く、耐性株の多くはこれら薬剤を主体とする多剤耐性菌で占められるが、最近治療薬として汎用されているホスホマイシンやノルフロキサシンなど新ビリドンカルボン酸系の薬剤に対する耐性株はこれまでのところ幸いまだ認められていない。

（細菌第一研究科 工藤泰雄）

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	1,068							
中 央区 中 央保健所	1,218							
港区 保健衛生課検査係	2,444							
新 宿区 四 谷保健所	1,440							
文 京区 衛 生試験所	439							
台 東区 下 谷保健所	59							
墨 田区 向 島保健所	27							
江 東区 城 東保健所	49							
” 深 川保健所	168							
品 川区 衛 生試験所	2,251				1(1)			1(1)
目 黒区 衛 生試験所	1,517							
大 田区 衛 生検査所	2,988						3	3
世田谷区 世田谷保健所	275							
渋谷区 渋谷保健所	1,034							
中 野区 衛 生試験所	1,863							
杉 並区 衛 生試験所	2,794(46)					2(2)		2(2)
豊島区池袋・長崎保健所	152							
北 区 衛 生試験所	470							
荒 川区 荒 川保健所	587							
板 橋区 検査センター	3,437							
練 馬区 衛 生試験所	3,812							
足 立区 衛 生試験所	2,718(1)						2	2
葛 飾区 葛飾北保健所	2,597							
江戸川区 江戸川保健所	2,748						2	2
小 計	35,058(47)				1(1)	2(2)	7	10(3)
東 京 都 三 鷹保健所	930							
八王子保健所	144							
田 無保健所	251							
島しょ保健所 大 島	408							
三 宅	37							
八 丈	75							
小 笠 原	102							
小 計	1,947							
衛生研究所 本 所	661(181)		1(1)				2(2)	2(2)
多摩支所	1,132(1)					1		1
小 計	1,793(182)		1(1)			1	2(2)	3(2)
合 計	38,798(229)		1(1)		1(1)	3(2)	9(2)	13(5)

() 海外旅行者分再掲 * 表2参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2年10月分

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			2			2	
		1		3		2	
		1					
		1	2			4	1 (1)
			10	2	2	3	
			1				
			2				
		1 (1)	3 (1)	3 (2)	3 (3)	3 (3)	14 (14)
		1	2	3		3	1
		1			1		
			1	1			
			1				
		6 (1)	24 (1)	12 (2)	6 (3)	17 (3)	16 (15)
		1 (1)	40 (1)	10 (10)	2 (2)	22 (2)	82 (35)
		1 (1)	40 (1)	10 (10)	2 (2)	22 (2)	82 (35)
		7 (2)	64 (2)	22 (12)	8 (5)	39 (5)	98 (50)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（2年9月分）				東 京（2年10月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会
大 腸 菌		140 (93)	97 (1)	3 (2)	6 (6)	7 (7)	7 (6)	
赤 痢 菌（A-D群）		10 (6)	3 (1)	24 (19)	28 (28)	2 (2)	11 (3)	
チ フ ス 菌		2		11 (7)				
パ ラ チ フ ス A 菌			6	1 (1)				
その 他 の サ ル モ ネ ラ	O4 (B)	85 (3)	74	2 (1)	2 (2)	1 (1)	6 (1)	2
	O7 (C ₁ 、C ₄)	214 (8)	75	1 (1)	4 (4)	40 (1)	24 (1)	9
	O8 (C ₂ 、C ₃)	43 (5)	38	1 (1)	6 (6)	10 (10)	12 (2)	2
	O9 (D ₁)	164 (6)	51	24	6 (6)	20 (1)	10 (2)	1
	O9、46 (D ₂)	2	1					
	O3、10 (E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	15 (4)	2	1 (1)	7 (7)	2 (2)	6 (3)	1
	O1、3、19 (E ₄)	1	2		4 (4)		1 (1)	
	O13 (G ₁ 、G ₂)	3	1			1	3	
	O18 (K)	10 (1)	1			1 (1)	1	
	そ の 他	2	6				1	2
群 不 明		1	11		1 (1)		1	
腸 炎 エ ル シ ニ ア			18					
偽 結 核 菌								
コ レ ラ 菌（O1）		1 (1)		2 (2)	11 (11)			
"（O1以外）		7 (1)	4	2 (2)	20 (20)	1 (1)		
腸 炎 ビ ブ リ オ		502 (7)	201	7	99 (99)	51 (7)		
そ の 他 の ビ ブ リ オ		3 (1)	12		9 (9)	3		
エ ロ モ ナ ス		6 (1)	46	1 (1)	4 (4)	5 (5)	2 (2)	
カンピロバクター		29 (3)	323	1		6 (6)	4 (4)	
ブ ド ウ 球 菌		45	57	1 (1)				
A 型 ウェルシュ菌		23						
ボツリヌス菌（E型）								
"（その他）								
セ レ ウ ス 菌		7	4					
淋 菌		30						
髄 膜 炎 菌								
レ ン サ 球 菌（A群）		38						
"（B群）		19						
"（C群）		2						
"（G群）		2						
"（不明）								
ジ フ テ リ ア 菌								
百 日 咳 菌		23						
肺 炎 球 菌								
レ ジ オ ネ ラ								
レ プ ト ス ビ ラ								
赤 痢 ア メ ー バ				5 (1)				
マ ラ リ ア								
そ の 他 の 細 菌						10 (10)	3 (3)	

（ ）：海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国 （ 2 年9月分）				東 京 （ 2 年10月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2	1 (1)					
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b	1					
	1						
	2a	1 (1)	1	1 (1)	3 (3)		
	2b						
	3a				1 (1)		
	3b						
	4a						
	4b						
	4			2 (1)			
	5a						
	5b						
	6				1 (1)		
	X						
	Y						
	型不明					1 (1)	
C 群	1			1 (1)			
	2						
	3						
	4			1 (1)			
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明				1	2 (2)	
D 群	7 (4)	2 (1)	21 (17)	21 (21)	2 (2)	7	
	その他						

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年10月 16 日～ 11月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
D 1	神奈川県横須賀市中央	1	1 9 9 0. 1 0
E 1	東京都麻布	1	1 9 9 0. 1 1
O	滋賀県大津	1 (1)	1 9 9 0. 9
DVS* ¹	大阪府大阪市西	1	1 9 9 0. 8
UVS1* ²	大阪府大阪市天王寺	1 (1) * ³	〃
小 計		5 (2)	
パラチフス A 菌			
1	群馬県前橋	1 (1)	1 9 9 0. 6
〃	東京都本郷	1	1 9 9 0. 1 0
〃	福岡県福岡市中央	1 (1)	〃
小 計		3 (2)	
合 計		8 (4)	

() : 海外輸入例再掲

*¹ : DVS = Degraded Vi positive strain

*² : UVS 1 = Untypable Vi positive strain 1

*³ : CP・TC・SM・ABPC・SXT 耐性 (インドからの輸入事例)

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年4月～1990年9月報告分)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	コ ウ ウ ケ イ
	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	
ヒコルナ NT	1	8	6	20	23	10	9	10	4	-	3	1	2	-	2	1	-	-	100
コクサッキー-A2	-	-	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	8	21	-	-	35
コクサッキー-A3	-	2	9	8	6	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	30
コクサッキー-A4	10	29	83	162	46	36	7	1	-	-	-	1	-	-	25	12	-	-	412
コクサッキー-A5	-	1	5	15	6	2	2	2	3	-	-	-	-	3	20	18	1	-	78
コクサッキー-A6	2	4	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	2	12	18	-	-	89
コクサッキー-A7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3
コクサッキー-A8	-	1	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48
コクサッキー-A9	7	5	40	74	41	22	16	9	3	2	-	-	1	-	5	2	-	-	227
コクサッキー-A10	-	-	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	3	37	41	3	-	-	118
コクサッキー-A16	2	3	9	11	6	6	8	7	5	3	1	5	5	14	25	17	1	-	128
コクサッキー-A21	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A24	-	-	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コクサッキー-B1	1	-	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	1	2	-	-	27
コクサッキー-B2	-	2	11	19	21	36	8	7	4	5	1	-	3	5	16	10	4	-	152
コクサッキー-B3	-	1	2	9	2	6	3	2	4	2	-	-	4	4	18	48	8	-	113
コクサッキー-B4	8	10	61	107	54	73	13	7	2	2	-	1	-	-	1	2	-	-	341
コクサッキー-B5	24	75	81	120	22	24	23	14	2	1	-	-	-	1	9	27	7	-	430
コクサッキー-B6	-	-	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	9	3	1	-	18
エコー 3	2	1	9	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	21
エコー 4	62	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	241
エコー 6	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	9
エコー 7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
エコー 9	-	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	7	2	11	1	-	36
エコー 11	12	14	68	91	67	77	50	36	23	3	1	-	1	2	2	2	1	-	450
エコー 12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	-	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
エコー 16	-	2	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	9
エコー 18	-	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13
エコー 21	-	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5
エコー 22	-	-	4	4	1	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
エコー 24	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
エコー 25	1	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	4	3	3	-	-	-	39
エコー 30	7	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	1	4	24	23	-	-	562
ホリオ 1	10	4	1	1	-	-	3	3	2	2	2	1	4	2	-	-	-	-	35
ホリオ 2	11	8	4	-	-	-	2	3	1	-	2	1	4	2	-	-	-	-	38
ホリオ 3	6	4	3	2	-	-	-	2	-	1	-	-	2	5	1	-	-	-	26
エンテロ 71	2	-	3	15	3	6	10	7	14	3	2	17	12	29	51	29	5	-	208
インフルA H1N1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
インフルA (H3)	2	-	-	-	-	4	-	13	321	603	91	3	1	-	-	-	-	-	1038
インフルA H3N2	-	-	-	-	-	-	-	-	11	173	641	158	6	-	1	-	-	-	990
インフルエンザB	5	12	1	-	1	-	-	5	25	305	648	461	59	2	1	-	-	-	1525
インフルエンザC	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
ハライフル 1	2	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
ハライフル 2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	5
ハライフル 3	9	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	3	5	-	-	-	45
RSウイルス	4	6	2	2	-	1	5	10	19	9	9	2	1	1	-	-	-	-	71
ムンプス	17	24	39	34	31	20	49	63	28	13	12	9	25	22	30	13	1	-	430
麻疹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
フクシ	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
レオ NT	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
レオ 2	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
ロタ	130	43	16	6	-	2	5	39	145	199	133	57	39	8	8	-	1	-	831
コカタケリウイルス	20	7	10	10	2	1	1	17	34	40	25	19	24	5	-	-	-	-	215
アチノ NT	12	13	12	8	21	10	8	15	30	17	15	4	4	1	4	1	-	-	175
アチノ 1	13	16	28	16	4	8	6	10	9	10	4	5	12	7	6	4	-	-	158
アチノ 2	22	17	29	12	11	7	5	17	16	11	8	11	8	5	16	7	1	-	203
アチノ 3	7	14	55	56	114	72	41	41	41	29	13	13	15	26	21	34	2	-	594
アチノ 4	4	1	4	3	6	7	7	5	6	2	2	-	2	4	1	-	-	-	54
アチノ 5	9	6	9	8	4	6	5	7	8	6	3	4	8	7	2	1	-	-	93
アチノ 6	4	13	12	6	4	4	7	10	8	6	3	1	1	1	1	-	-	-	81
アチノ 8	2	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	3	2	-	5	-	1	-	63
アチノ 11	3	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	1	1	-	-	-	-	-	43
アチノ 14	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アチノ 19	6	-	3	4	4	4	-	1	1	-	-	-	3	1	1	1	-	-	29
アチノ 37	2	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	6	2	1	-	-	-	-	32
アチノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	2
アチノ 41	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	4
ヘルペススキャン	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3
タシシエンヘルペスNT	10	13	7	10	7	5	14	9	8	5	13	6	3	-	1	-	-	-	111
タシシエンヘルペス 1	30	42	44	43	35	31	37	32	47	31	18	28	26	20	17	17	6	-	504
タシシエンヘルペス 2	10	8	9	14	7	5	14	10	6	2	7	5	4	7	11	2	-	-	121
サイトウタイシホウホクシ	2	8	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	35
サイトメカロ	43	23	22	22	23	23	24	26	25	22	21	1	3	-	1	-	-	-	279
アカタカエン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	-	-	-	6
Bカタカエン	2	-	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	1	1	1	-	-	-	55
クラミジア NT	3	3	1	6	4	3	3	4	2	1	2	-	18	11	9	9	6	-	85
トラコマチス NT	26	31	23	25	32	28	16	25	14	20	8	20	11	8	24	18	7	-	336
ハイエンマイコアラスマ	9	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	3	2	5	-	51
コウケイ	582	610	909	1237	819	765	493	550	1065	2017	1214	704	316	237	445	401	64	-	12428

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノロウィーク，カリシを含む）

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年10月分）

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検 査 材 料	採 取 理 由
Coxsackie	A 9	1	2年8月	髄 液	サ ー ベ ラ ン ス
	A 9	1	9月	ふ ん 便	流 行 予 測
ECHO	6	1	9月	〃	〃
	1 4	1 3	9月	〃	〃
	1 4	1	10月	髄 液	サ ー ベ ラ ン ス
	2 4	1	9月	〃	〃
	2 4	1	10月	〃	〃
	2 5	2	9月	ふ ん 便	流 行 予 測
Mumps		1	9月	髄 液	熱性疾患（MMR）
Adeno	1	1	9月	ふ ん 便	流 行 予 測
	3	1	9月	〃	〃
	5	2	9月	〃	〃

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年10月分）

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 （男子尿道炎患者）	2 3	8（－）	2（－）	4
衛 生 研 究 所	8	－	－	－

* ELISA 法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年10月分、衛生研究所）

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検 査 件 数	1 2 5	—	3 2	9
陽 性 件 数	7（5）	—	—	—

（ ）内は確認試験（TPHA 及び FTA - ABS 法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2 - 96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第10巻 第11号

(平成2年11月分月報)

平成2年12月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題 最近10年間(1980~89年)に東京で

分離された赤痢菌の血清型と薬剤耐性について

1980年以降23特別区の検査機関で分離された赤痢菌とサルモネラを衛生研究所に送付していただき、衛生研究所での分離株と合せて血清型別試験と薬剤耐性試験を実施してきた。各年における成績についてはそれぞれ本誌で紹介してきたが、本号では、1989年までの10年間に検討した赤痢菌の血清型と薬剤耐性試験成績を海外と国内との由来別にまとめたので、その概要を紹介する。

供試した菌株は、東京都内における輸入事例より分離された804株(海外由来株)、並びに海外とは直接関連がないと考えられた事例よりの385株(国内由来株)である。

供試薬剤は、クロラムフェニコール(CP)、テトラサイクリン(TC)、ストレプトマイシン(SM)、カナマイシン(KM)、アンピシリン(ABPC)の5種の他に、1984年の分離株からはスルファメトキサゾール・トリメトプリム合剤(ST)を、さらに1988年からはナリジクス酸(NA)、ホスホマイシン(FOM)及びノルフロキサシン(NFLX)を加えた9種である。

表に各菌群における検出血清型と耐性菌の出現状況を由来別に示す。検出赤痢菌の血清型は各菌群とも海外由来株においてより多彩で、特にA菌群では海外由来株で7種の血清型が検出されているのに対し、国内由来株では2種の血清型のみであり、C菌群でも前者で11種の血清型に対し、後者では5種の血清型あった。B菌群では両由来株とも血清型1b、2aが多く検出されているが、海外由来株では3a、6の検出頻度も高い。

次に耐性菌出現状況についてみると、両由来株ともA、B、C、Dの菌群の順で耐性頻度が高く、全体では供試薬剤のいずれかに耐性であったのは、海外由来株で80.1%、国内由来株で82.9%であった。

各薬剤耐性率は、この10年間それほど大きな変化はなく両由来株ともTC(海外由来株68.5%、国内由来株79.2%)、SM(海外由来株74.0%、国内由来株55.3%)に対する耐性率が高く、次いでCP(海外由来株38.8%、国内由来株38.4%)、ABPC(海外由来株35.3%、国内由来株40.3%)となっている。なお、KM耐性は海外由来株で1.0%、国内由来株で4.2%と低率であった。1984年から検討しはじめたSTに対する耐性率は年々増加

傾向にあり、海外由来株で34.1%、国内由来株で32.4%であった。1988年から検査しているNAに対する耐性率は海外由来株で1.5%、国内由来株で30.5%にみられた。また、最近治療薬として汎用されているFOM、NFLXに対する耐性菌はこれまでのところまだ認められていない。これらの耐性菌の耐性パターンは全体で32パターンにわたっており、海外由来株でCP・TC・SM・ABPC、TC・SM・ST、TC・SM、SM単剤、CP・TC・SM・ABPC・ST、国内由来株でCP・TC・SM・ABPC、TC単剤、TC・SM、TC・ABPCが主要なものであった。

(細菌第一研究科 松下 秀)

由来別検出赤痢菌の血清型と
薬剤耐性菌の出現頻度

(1980~89年、東京)

菌群・血清型	耐性株数/分離株数(%)	
	海外由来株	国内由来株
<i>S. dysenteriae</i> (A群)	1 1/1 (100)	
	2 14/16 (87.5)	1/1 (100)
	3 4/4 (100)	
	4 2/2 (100)	2/2 (100)
	7 1/1 (100)	
	8 1/1 (100)	
	9 3/3 (100)	
小 計	26/28 (92.2)	3/3 (100)
<i>S. flexneri</i> (B群)	1a 2/3 (66.7)	6/6 (100)
	1b 43/43 (100)	31/33 (93.9)
	2a 93/98 (94.9)	39/44 (88.3)
	2b 8/8 (100)	
	3a 30/36 (83.3)	1/3 (33.3)
	3b 5/7 (71.4)	
	4a 4/4 (100)	1/2 (50.0)
	4 12/18 (66.7)	3/3 (100)
	5b 1/1 (100)	
	5 3/3 (100)	1/1 (100)
	6 43/46 (93.5)	6/6 (100)
	Y 1/1 (100)	1/1 (100)
小 計	245/268 (91.4)	89/99 (89.9)
<i>S. boydii</i> (C群)	1 4/6 (66.7)	1/1 (100)
	2 13/14 (92.9)	2/2 (100)
	3 2/2 (100)	
	4 3/4 (75.0)	1/2 (50.0)
	7 1/2 (50.0)	
	8 3/3 (100)	
	10 1/2 (50.0)	
	11 3/3 (100)	
	12 1/4 (25.0)	1/1 (100)
	15 0/1 (0)	
	18 2/3 (66.7)	1/1 (100)
小 計	33/44 (75.0)	6/7 (85.7)
<i>S. sonnei</i> (D群)	340/464 (73.3)	221/276 (80.1)
合 計	644/804 (80.1)	319/385 (82.9)

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	666							
中 央区 中 央保健所	983							
港区 保健衛生課検査係	2,134							
新 宿区 四 谷保健所	1,373							
文 京区 衛 生試験所	307							
台 東区 下 谷保健所	24							
墨 田区 向 島保健所	19							
江 東区 城 東保健所	11							
“ 深 川保健所	56							
品 川区 衛 生試験所	1,375(7)						1 (1)	1 (1)
目 黒区 衛 生試験所	1,334							
大 田区 衛 生検査所	2,938							
世田谷区 世田谷保健所	82							
渋 谷区 渋 谷保健所	1,123							
中 野区 衛 生試験所	2,089							
杉 並区 衛 生試験所	1,744(7)							
豊島区池袋・長崎保健所	86							
北 区 衛 生試験所	378							
荒 川区 荒 川保健所	307							
板 橋区 検査センター	2,905							
練 馬区 衛 生試験所	2,848							
足 立区 衛 生試験所	2,225(13)							
葛 飾区 葛飾北保健所	2,472							
江戸川区 小 岩保健所	2,388							
小 計	29,867(27)						1 (1)	1 (1)
東 京 都 三 鷹保健所	310							
八王子保健所	83							
田 無保健所	140							
島しょ保健所 大 島	347							
三 宅	37							
八 丈	66							
小 笠 原	0							
小 計	983							
衛生研究所 本 所	524(157)		4 (4)		1 (1)		1 (1)	2 (2)
多摩支所	560							
小 計	1,084		4 (4)		1 (1)		1 (1)	2 (2)
合 計	31,934		4 (4)		1 (1)		2 (2)	3 (3)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

検 出		状 況					そ の 他 の 細 菌 *
チフス菌	パラチフ ス A菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1				
		2	1				
				1			
			1				
			2	1		1 (1)	
			1	1			
		1	6	2	1	4	
				1			
			1	1			
			1	1			8 (8)
		1		1			
				2	1 (1)	2	6 (6)
		2					
		6	14	11	2 (1)	7 (1)	14 (14)
		4 (3)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	18 (3)	59 (36)
		4 (3)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	18 (3)	59 (36)
		10 (3)	19 (5)	12 (1)	3 (2)	25 (4)	73 (50)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名	全 国（2年10月分）				東 京（2年11月分）		
	地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会
大腸菌	118(24)	137	1(1)	9(9)	15(5)	6(6)	
赤痢菌(A-D群)	6(4)		7(5)	14(14)	2(2)	1(1)	
チフス菌	1						
パラチフスA菌		1					
その他のサルモネラ	O4(B)	36(2)	36	3(1)	3(3)	4(3)	6
	O7(C ₁ 、C ₄)	52(2)	1(1)	49		5(5)	14
	O8(C ₂ 、C ₃)	37(2)	8(8)	37		1(1)	12
	O9(D ₁)	268	63	2(2)	1(1)	16(1)	7(2)
	O9、46(D ₂)	1	1				
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	6	3(1)		3(3)	1(1)	2(1)
	O1、3、19(E ₄)	2(1)	1		2(2)	2(2)	1
	O13(G ₁ 、G ₂)	5(1)	1				1
	O18(K)	1	2		2(2)		
その他の群	2	2	3(3)				
腸炎エルシニア	1	3					
偽結核菌		8					
コレラ菌(O1)	1(1)		1(1)				
“(O1以外)”				7(7)	4(4)		
腸炎ビブリオ	35(1)	42		39(39)	14(10)	1(1)	
その他のビブリオ	1(1)	2		5(5)			
エロモナス	1(1)	13		1(1)	7(7)	1(1)	
カンピロバクター	61(2)	537	1(1)		5(5)		
ブドウ球菌	35	64		1(1)			
A型ウェルシュ菌	18	7			9		
ボツリヌス菌(E型)							
“(その他)”							
セレウス菌	2	7					
淋菌	25						
髄膜炎菌							
レンサ球菌(A群)	101						
“(B群)”	15						
“(C群)”	1						
“(G群)”	4						
“(不明)”							
ジフテリア菌							
百日咳菌	8						
肺炎球菌	2						
レジオネラ							
レプトスピラ							
赤痢アメーバ		1					
マラリア							
その他の細菌	10(5)	2	3(3)	68(68)	9(9)	4(4)	

()：海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（ 2 年10月分）				東 京（ 2 年11月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b	1(1)		2(2)			
	1						
	2a	2	3	2	1(1)		
	2b						
	3a		1				
	3b						
	4a		1(1)				
	4b						
	4						
	5a						
	5b						
	6						
	X						
	Y						
	型不明						
C 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8			1(1)			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明						
D 群	3(3)	2(1)	2(2)	14(14)	1(1)		
	その他						

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年11月 16 日～ 12 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
E 1	千葉県木更津	1	1 9 9 0. 1 1
”	富山県富山	1	1 9 9 0. 1 0
B 1	愛知県豊橋	1	1 9 9 0. 8
D 6	愛知県豊橋	1	”
O	愛知県豊田	1	1 9 9 0. 1 1
UVS1 *	東京都糞谷	1 (1)	”
小 計		6 (1)	
パラチフス A 菌			
1	東京都江戸川	1	1 9 9 0. 1 2
型別不能	愛知県名古屋市千種	1	1 9 9 0. 9
”	大阪府堺市宿院	1 (1)	1 9 9 0. 8
小 計		3 (1)	
合 計		9 (2)	

() : 海外輸入例再掲

* : UVS1 = Untypable Vi positive strain 1

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年5月~1990年10月報告分)

	5 カ ツ	6 カ ツ	7 カ ツ	8 カ ツ	9 カ ツ	10 カ ツ	11 カ ツ	12 カ ツ	1 カ ツ	2 カ ツ	3 カ ツ	4 カ ツ	5 カ ツ	6 カ ツ	7 カ ツ	8 カ ツ	9 カ ツ	10 カ ツ	コ ウ ケ イ
ヒコルナ NT	6	6	19	23	10	9	10	4	-	3	1	2	-	2	1	-	-	-	96
コクサッキー-A2	-	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	9	39	-	1	-	55
コクサッキー-A3	2	9	8	6	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	31
コクサッキー-A4	29	83	162	46	36	7	1	-	-	-	1	-	-	26	18	2	-	-	411
コクサッキー-A5	1	5	15	6	2	2	2	3	-	-	-	-	3	29	21	8	-	-	97
コクサッキー-A6	4	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	2	13	23	-	-	-	93
コクサッキー-A7	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3
コクサッキー-A8	1	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	51
コクサッキー-A9	5	40	74	41	21	16	8	3	2	-	-	1	1	5	13	3	-	-	233
コクサッキー-A10	-	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	-	3	45	60	12	1	-	155
コクサッキー-A16	3	9	11	6	6	8	7	5	3	1	5	7	20	41	26	1	-	-	159
コクサッキー-A21	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コクサッキー-A24	-	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コクサッキー-B1	-	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	1	3	-	-	-	27
コクサッキー-B2	2	12	19	21	36	8	7	4	5	1	-	5	9	26	26	9	-	-	190
コクサッキー-B3	1	2	9	2	6	3	2	3	2	-	-	4	4	19	59	16	-	-	132
コクサッキー-B4	10	61	107	54	73	13	7	2	3	5	1	-	-	1	3	1	-	-	341
コクサッキー-B5	75	81	120	22	24	23	14	2	1	1	-	-	2	10	43	8	-	-	426
コクサッキー-B6	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	9	3	1	-	-	18
エコー 3	1	8	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	18
エコー 4	80	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	179
エコー 6	-	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9
エコー 7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
エコー 9	2	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	7	3	27	8	2	-	62
エコー 11	14	68	91	68	77	50	36	23	3	1	1	1	3	7	4	1	-	-	448
エコー 12	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	3	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	14
エコー 16	2	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
エコー 18	-	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	13
エコー 21	1	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5
エコー 22	-	4	4	1	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	24
エコー 24	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	5
エコー 25	-	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	4	3	9	-	-	-	44
エコー 30	6	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	1	4	24	32	7	1	-	572
ホリオ 1	4	1	1	-	-	3	3	2	1	2	1	4	3	2	-	-	-	-	27
ホリオ 2	8	4	-	-	-	2	3	1	-	2	1	4	2	1	-	-	-	-	28
ホリオ 3	4	3	2	-	-	2	-	-	1	-	-	2	5	1	-	1	-	-	21
エンテロ 71	-	3	15	3	6	10	7	13	3	2	17	12	40	75	56	10	2	-	274
インフルA (H3)	-	-	-	-	4	-	13	321	603	91	3	1	-	-	-	-	-	-	1036
インフルA H3N2	-	-	-	-	-	-	11	173	641	158	6	-	1	-	-	-	-	-	990
インフルエンザB	12	1	-	1	-	-	5	25	305	648	451	60	2	1	-	-	-	-	1511
インフルエンザC	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
ハライフル 1	3	-	-	-	-	1	5	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	12
ハライフル 2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	5
ハライフル 3	20	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	3	5	1	-	-	-	37
RSウイルス	6	2	2	-	1	5	9	18	9	9	2	1	1	-	-	-	-	-	65
ムンプス	23	39	34	31	20	49	63	28	13	12	9	26	24	34	23	5	1	-	434
マシシ	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
フクシシ	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	9
レオ NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
レオ 2	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	7
ロタ	43	16	6	-	2	5	39	145	199	133	56	45	12	9	1	1	3	-	715
コカクタリウイルス	7	10	10	2	1	1	17	34	40	25	19	24	5	-	-	-	-	-	195
アデノ NT	13	12	8	21	10	8	15	30	17	15	5	5	2	4	1	-	-	-	166
アデノ 1	16	28	16	4	8	6	10	9	10	4	5	13	8	8	7	4	2	-	158
アデノ 2	20	29	12	11	8	8	18	19	11	8	11	10	6	19	12	1	-	-	203
アデノ 3	14	55	56	114	72	41	41	41	29	13	13	18	27	28	44	27	1	-	634
アデノ 4	1	4	3	6	7	7	5	6	2	2	-	2	5	1	1	4	-	-	56
アデノ 5	13	9	8	4	6	5	11	8	7	3	4	9	7	4	5	1	-	-	104
アデノ 6	3	12	6	3	3	4	5	5	6	3	1	1	1	1	1	-	1	-	56
アデノ 8	2	3	5	9	11	6	12	1	1	-	4	6	1	6	-	1	-	-	68
アデノ 11	6	1	3	1	4	5	13	3	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	40
アデノ 14	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	-	3	4	4	-	1	1	-	-	-	-	3	3	2	2	-	-	-	27
アデノ 37	3	5	1	2	1	3	3	-	3	-	6	2	1	-	-	2	1	-	33
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
アデノ 41	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	5
ヘルペスグアン	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3
タンシヨナルヘルペス NT	12	7	10	7	5	14	9	8	5	13	6	4	-	2	-	-	-	-	103
タンシヨナルヘルペス 1	42	44	43	35	31	37	32	47	31	18	28	26	22	23	18	10	6	-	493
タンシヨナルヘルペス 2	8	8	14	7	5	14	10	6	2	7	5	4	7	14	2	1	6	-	120
サイトマイシス・ウホウシシ	7	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	32
サイトメカロ	20	22	22	23	23	24	26	25	22	21	1	3	-	1	-	-	-	-	233
Aカクタンエン	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	5
Bカクタンエン	-	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	1	1	1	-	-	-	-	53
クラミシヤ NT	3	1	6	4	3	3	4	2	1	3	1	18	11	9	9	7	1	-	86
トラコマチス NT	31	23	25	32	28	16	25	14	20	7	19	11	8	24	20	18	13	1	335
ハイエムアイコラスマ	5	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	3	2	5	8	-	50
コウケイ	602	908	1236	819	764	493	548	1062	2018	1220	696	343	281	564	618	182	50	1	12405

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

表6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

（平成2年11月分）

ウイルス / 型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
Coxsackie A 9	1	2年10月	ふ ん 便	流行予測
B 3	1	10月	〃	〃
ECHO 6	1	9月	〃	〃
6	2	10月	〃	〃
6	2	10月	〃	海外帰国者検便
6	1	10月	〃	サーベイランス
6	1	10月	〃	集団発生(疾患調査)
1 1	1	10月	〃	流行予測
1 4	1	9月	〃	〃
1 4	1	11月	〃	集団発生(疾患調査)
3 0	4	10月	髄 液	〃
3 0	4	10月	咽頭ぬぐい液	〃
3 0	4	10月	ふ ん 便	〃
3 0	1	11月	髄 液	サーベイランス
Mumps	1	10月	髄 液	熱性疾患（MMR）
Norwalk-like *	7	11月	ふ ん 便	集団発生(疾患調査)
Adeno 1	3	9月	〃	流行予測

* 電顕法による検出

表7 淋菌及びクラミジア検出状況

（平成2年11月分）

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア*陽性者数	クラミジア*陽性者数
衛生研究所	—	—	—	—

* ELISA法による検出、（ ）内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲
 台東病院分については、次号以下に掲載する。

表8 梅毒血清反応試験成績

（平成2年11月分、衛生研究所）

	一般健康者	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	189	—	125	8
陽性件数	5(3)	—	1	1(1)

（ ）内は確認試験（TPHA及びFTA-ABS法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
 印刷番号 2-96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第10巻 第12号

(平成2年12月分月報)

平成3年1月31日発行

東京都立衛生研究所

話 題

我が国におけるヒト由来サルモネラ血清型 の分布状況 (1979～89年：国内由来株)

東京都における最近10年間(1980～89年)のヒト由来サルモネラの血清型分布については本誌第11巻、第7号で紹介した。本号では、それと比較して全国(1979～89年の11年間)の成績を紹介する。資料は、全国地方衛生研究所から病原微生物検出情報として国立予防衛生研究所に報告された国内由来サルモネラについての型別結果による。

この11年間に全国地方衛生研究所で血清型別に供された菌株数は総計52,302株で、このうちその約89%に当たる46,702株が国内に由来するものであった。これら46,702株のO群は計17種と多彩であったが、その主体はO4群、O7群、O8群、O9群、O3、10群でこれら5群で全体の約95%を占める。これまでに型別されたこれら国内株の血清型は計227型(毎年100前後)でこのうち123血清型は海外由来株と共通して認められたが、残りの104血清型は国内株に限られる

ものであった。下表にこれまでに認められた上位20血清型と各年における検出順位を示す。主要な血清型はS. Typhimurium、S. Enteritidis、S. Litchfield、S. Paratyphi B、S. Infantisなどで、これを東京都のみの場合と比較してみると、上位20位までの血清型では18位のS. Oranienburgと19位のS. Havanaの2血清型が、また上位10位までの血清型ではS. Montevideoだけが、東京都の分離株に含まれないのみで他はすべて共通の血清型となっている。

次に、これら主要血清型の年次推移をみてみると、S. Typhimurium、S. Litchfield、S. Infantisなどの血清型ではほぼ毎年安定して検出されているのに対し、S. Hadarが1987年から、また1979年に1位であった以降それ程検出頻度の高くなかったS. Enteritidisが1989年に急増し(8ページに続く)

国内ヒト由来サルモネラ主要血清型の年次別出現頻度順位 (1979～89年：全国地研)

順位	血清型	菌株数	1979	'80	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
1	Typhimurium	8,738	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
2	Enteritidis	4,637	1	13	10	7	4	6	3	7	4	6	1
3	Litchfield	4,214	5	2	2	3	2	2	2	2	3	4	4
4	Paratyphi B	2,894	7	3	3	2	3	3	4	3	12	8	12
5	Infantis	2,060	4	6	5	4	6	4	5	5	7	7	7
6	Thompson	2,049	9	5	4	6	5	5	6	4	8	5	5
7	Braenderup	1,583	3	4	7	5	7	7	7	10	9	13	18
8	Agona	1,239	6	10	11	9	10	9	9	6	10	10	8
9	Hadar	1,197	-	-	-	-	-	-	-	16	5	2	3
10	Montevideo	1,025	19	-	6	15	16	8	8	11	19	3	14
11	Bareilly	774	14	-	13	8	9	10	11	20	18	-	11
12	Newport	721	11	15	-	10	8	15	17	9	15	15	9
13	Tennessee	709	-	9	16	11	-	20	12	12	11	11	6
14	Cerro	708	-	19	-	14	11	16	14	13	2	18	17
15	Anatum	622	12	8	14	18	16	12	18	-	16	9	14
16	Panama	583	10	7	19	13	12	18	9	18	17	-	-
17	Blockley	562	-	-	9	17	14	11	16	-	-	17	10
18	Oranienburg	528	-	17	8	-	14	-	-	8	14	-	-
19	Havana	421	-	19	-	-	-	-	-	-	6	-	-
20	Derby	384	-	12	17	16	-	13	19	15	-	-	-

- = 20 位以下

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コ レ ラ 菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区 神 田保健所	592							
中 央 区 中 央保健所	989							
港区 保健衛生課検査係	1,911							
新 宿 区 四 谷保健所	1,207							
文 京 区 衛 生試験所	304							
台 東 区 下 谷保健所	169							
墨 田 区 向 島保健所	18							
江 東 区 城 東保健所	17							
” 深 川保健所	78							
品 川 区 衛 生試験所	1,344 (23)							
目 黒 区 衛 生試験所	1,239							
大 田 区 衛 生検査所	2,642							
世田谷区 世田谷保健所	87							
渋谷区 渋谷保健所	832							
中 野 区 衛 生試験所	1,745							
杉 並 区 衛 生試験所	2,194 (8)							
豊島区池袋・長崎保健所	1,307							
北 区 衛 生試験所	456						1	1
荒 川 区 荒 川保健所	306							
板 橋 区 検査センター	2,627							
練 馬 区 衛 生試験所	2,842							
足 立 区 衛 生試験所	1,586 (3)							
葛 飾 区 葛飾北保健所	2,118							
江戸川区 小 岩保健所	2,048							
小 計	28,358 (34)						1	1
東 京 都 三 鷹保健所	285							
八王子保健所	99							
田 無保健所	133							
島しょ保健所 大 島	202							
三 宅	30							
八 丈	67							
小 笠 原	118							
小 計	934							
衛生研究所 本 所	366 (137)				2 (2)		1 (1)	3 (3)
多摩支所	618 (2)							
小 計	984 (139)				2 (2)		1 (1)	3 (3)
合 計	30,276 (173)				2 (2)		2 (1)	4 (3)

() 海外旅行者分再掲 * 表 2 参照

料取扱い件数及び病原菌検出状況

2 年12月分

検 出 状 況							
チフス菌	パラチフ ス A 菌	そ の 他 の サ ル モ ネ ラ					そ の 他 の 細 菌 *
		O4	O7	O8	O3、10	その他	
			1				
			2	1		1	
		2					
				1			
				1			6 (1)
			1				
				1	1		
						1	
			1				
				1			2 (2)
							2 (2)
		2	5	5	1	2	10 (5)
		2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	24 (23)
		2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	3 (3)	24 (23)
		4 (2)	7 (2)	7 (2)	3 (2)	5 (3)	34 (28)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京）

菌 種 名		全 国（2年11月分）				東 京（2年12月分）		
		地研・保健所	一般医療機関	都市立伝染病院	検疫所	衛生研究所	保健所	予防医学会
大腸菌		25(10)	138	4(3)	18(18)	4(4)	3(3)	
赤痢菌(A-D群)		6(4)	7(2)	7(5)	14(14)	3(3)	1	
チフス菌		1						
パラチフスA菌			1					
その他のサルモネラ	O4(B)	36(2)	36	3(1)	3(3)	2(2)	3	
	O7(C ₁ 、C ₄)	52(2)	49		1(1)	2(2)	5	1
	O8(C ₂ 、C ₃)	37(2)	37		8(8)	2(2)	5	
	O9(D ₁)	268	33	2(2)	1(1)	3(3)	1	
	O9、46(D ₂)	1	1					
	O3、10(E ₁ 、E ₂ 、E ₃)	6	3(1)		3(3)	2(2)	1	
	O1、3、19(E ₄)	2(1)	1		2(2)			
	O13(G ₁ 、G ₂)	5(1)	1					
	O18(K)	1	2		2(2)			
その他の不明群		2	2	3(3)				
腸炎エルシニア			8					
偽結核菌								
コレラ菌(O1)		1(1)		1(1)				
" (O1以外)					7(7)			
腸炎ビブリオ		35(1)	42		39(39)	3(3)	1(1)	
その他のビブリオ		1(1)	2		5(5)			
エロモナス		1(1)	13		1(1)	5(5)		
カンピロバクター		61(2)	537	1(1)		7(6)		
ブドウ球菌		35	64		1(1)		4	
A型ウェルシュ菌		18	7					
ボツリヌス菌(E型)								
" (その他)								
セレウス菌		2	7				1	
淋菌		25						
髄膜炎菌								
レンサ球菌(A群)		101						
" (B群)		15						
" (C群)		1						
" (G群)		4						
" (不明)								
ジフテリア菌								
百日咳菌		8						
肺炎球菌		2						
レジオネラ								
レプトスピラ								
赤痢アメーバ				1				
マラリア								
その他の細菌		10(5)	2	4(3)	68(68)	5(5)	1(1)	

(): 海外旅行者分再掲

表 3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京）

菌 型	全 国（ 2 年11月分）				東 京（ 2 年12月分）		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 生 研 究 所	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	型不明						
B 群	1a						
	1b	1 (1)		2 (2)			
	1						
	2a	2	3	2			
	2b						
	3a		1				
	3b						
	4a		1 (1)				
	4b						
	4				2 (2)	1	
	5a						
	5b						
	6						
	X						
	Y						
	型不明						
C 群	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8			1 (1)			
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	型不明						
D 群	3 (3)	2 (1)	2 (2)	14 (14)	1 (1)		
	その他						

()：海外旅行者分再掲

表 4 チフス菌・パラチフス A 菌のフェージ型別成績

(1990 年 12 月 16 日～ 1991 年 1 月 15 日受理分)
予研フェージ型別室

フェージ型	所轄保健所 (患者住所)	例 数	菌 分 離 年 月
チフス菌			
B 1	兵庫県神戸市中央	1 (1)	1 9 9 0.1 1
D 1	愛媛県松山中央	1	1 9 9 0.1 2
E 1	兵庫県西宮	1	1 9 9 0.1 1
5 3 - 1	兵庫県神戸市中央	1 (1)	1 9 9 0.1 2
Vi -	熊本県熊本市	1	1 9 9 0. 8
小 計		5 (2)	
パラチフス A 菌			
2	福岡県北九州市八幡	1 (1)	1 9 9 0.1 1
小 計		1 (1)	
合 計		6 (3)	

() : 海外輸入例再掲

表5 ヒト由来ウイルス検出状況(全国)

(1989年6月～1990年11月報告分)

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	コ ウ ケ イ
	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	カ ツ	
ヒトメタウイルス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	1	-	-	11
ヒトコロナ NT	6	19	23	10	9	10	4	-	3	1	2	2	5	1	-	-	-	-	95
コクサッキー-A2	2	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	9	43	5	1	-	-	64
コクサッキー-A3	9	8	6	3	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	2	-	-	-	32
コクサッキー-A4	83	162	46	36	7	1	-	-	-	1	1	8	38	23	5	-	-	-	411
コクサッキー-A5	5	15	6	2	2	2	3	-	-	-	-	3	31	26	12	1	-	-	108
コクサッキー-A6	11	22	13	2	3	-	-	-	-	-	-	2	13	24	1	-	-	-	91
コクサッキー-A7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3
コクサッキー-A8	9	22	11	2	2	1	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	50
コクサッキー-A9	40	74	41	21	16	8	3	2	-	-	1	1	5	17	10	1	-	-	240
コクサッキー-A10	4	22	6	1	-	1	-	-	-	-	-	4	49	72	15	7	-	-	181
コクサッキー-A16	9	11	6	6	8	7	5	3	1	5	7	22	48	39	5	4	-	-	186
コクサッキー-A24	-	-	-	31	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
コクサッキー-B1	4	10	3	2	-	-	2	1	1	-	-	-	1	3	-	4	1	-	32
コクサッキー-B2	12	19	21	36	8	7	4	5	1	-	5	9	26	34	12	3	-	-	202
コクサッキー-B3	2	9	2	6	3	2	3	2	-	-	4	4	19	63	21	13	2	-	155
コクサッキー-B4	61	107	54	73	13	7	2	3	5	1	1	-	2	4	2	-	-	-	335
コクサッキー-B5	81	120	22	24	23	14	2	1	1	-	-	2	10	51	13	4	1	-	369
コクサッキー-B6	-	1	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	10	3	1	1	-	-	20
エコー 3	8	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	17
エコー 4	50	19	21	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	99
エコー 6	-	5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	1	2	3	-	-	-	15
エコー 7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	4
エコー 9	2	-	1	2	1	6	1	-	-	-	-	7	4	43	46	18	6	-	137
エコー 11	68	91	68	77	50	36	23	3	1	1	1	3	7	9	3	6	3	-	450
エコー 12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
エコー 14	6	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	14
エコー 16	2	-	-	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
エコー 18	2	3	4	1	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	13
エコー 21	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
エコー 22	4	4	1	9	4	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	25
エコー 24	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5
エコー 25	2	5	1	18	2	-	-	-	-	-	-	4	3	11	4	1	-	-	51
エコー 30	62	149	123	97	42	14	8	1	1	-	1	4	24	32	20	16	3	-	597
ホリオン 1	1	1	-	-	3	3	2	1	2	1	4	3	3	-	-	1	-	-	25
ホリオン 2	4	-	-	-	2	3	1	-	2	1	4	2	1	-	-	-	-	-	20
ホリオン 3	3	2	-	-	-	2	-	1	-	-	2	5	1	-	1	-	-	-	17
エンテロ 71	3	15	3	6	12	7	13	3	2	17	12	46	82	72	17	7	1	-	318
インフルA (H3)	-	-	-	4	-	13	321	603	91	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1036
インフルA H3N2	1	-	-	-	-	11	173	641	158	6	1	-	-	-	-	-	-	-	990
インフルエンザ B	-	-	1	-	-	5	25	305	648	451	60	2	1	-	-	-	-	-	1499
ハラインフル 1	-	-	-	-	1	5	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	9
ハラインフル 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	1	3	4	-	13
ハラインフル 3	3	1	-	1	1	1	-	1	-	-	3	8	7	2	-	-	-	-	28
RSウイルス	2	2	-	1	8	11	22	12	10	3	2	2	-	-	-	-	-	-	75
ムンプス	39	34	31	20	49	63	28	13	12	9	26	24	36	25	5	12	-	-	426
マシ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
ワウシ	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	9
レオ NT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
レオ 2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	5
ロタ	16	6	-	2	5	39	145	199	133	56	45	12	9	1	1	3	-	-	672
コカクサリウイルス	10	10	2	1	1	17	34	40	25	19	24	5	-	-	-	-	-	-	188
アデノ NT	12	8	21	10	8	15	30	17	15	5	5	2	5	3	-	-	-	-	156
アデノ 1	28	16	4	8	6	12	9	10	4	5	13	9	8	10	7	5	1	-	155
アデノ 2	29	12	11	8	8	18	19	11	8	12	10	6	22	17	5	-	-	-	196
アデノ 3	55	56	114	72	41	41	42	29	14	13	19	27	30	53	60	33	1	-	700
アデノ 4	4	3	6	7	7	5	6	2	2	-	2	5	1	2	7	4	-	-	63
アデノ 5	9	8	4	6	5	11	9	7	3	4	9	8	5	7	2	2	-	-	99
アデノ 6	12	6	3	3	4	5	5	6	3	1	1	1	3	1	1	2	-	-	57
アデノ 8	3	5	9	11	6	12	1	1	-	4	6	1	6	-	2	-	-	-	67
アデノ 11	1	3	1	4	5	13	3	-	2	1	1	-	-	-	2	-	-	-	36
アデノ 14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アデノ 19	3	4	4	4	-	1	1	-	-	-	3	3	2	2	-	-	1	-	28
アデノ 37	5	1	2	1	3	3	-	3	-	6	2	1	-	-	2	2	-	-	31
アデノ 40	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
アデノ 41	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	5
ヘルペスグレン	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
タシエンヘルペスNT	7	10	7	5	14	9	8	5	13	6	4	-	2	-	1	-	-	-	91
タシエンヘルペス 1	44	43	35	31	37	32	47	31	19	29	26	24	24	28	13	13	6	-	482
タシエンヘルペス 2	8	14	7	5	14	10	6	2	7	5	4	7	14	3	3	6	1	-	116
サイトウマイシスウホウシ	3	2	2	-	3	6	5	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
サイトメカロ	22	22	23	23	24	26	25	22	21	1	3	-	1	1	-	-	-	-	214
Aカタカンエン	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5
Bカタカンエン	2	2	2	32	-	2	1	5	1	3	1	1	1	-	-	-	-	-	53
クラシミア NT	1	6	4	3	3	4	2	1	3	1	18	11	9	9	7	2	2	-	86
トラコマチス NT	23	25	32	28	16	25	14	20	7	19	11	8	24	20	18	13	6	-	309
ハイシマイコフラスマ	6	8	6	-	-	-	4	1	1	1	-	-	3	2	5	11	6	-	54
コウケイ	908	1236	819	764	498	552	1068	2021	1223	699	347	305	622	776	352	200	45	-	12435

小型下痢ウイルス：ロタウイルス以外の小型球形下痢ウイルス（ノーウォーク，カリシを含む）

たことが注目される。S. Hadar は海外由来株においても急増している点から海外旅行者や輸入食品等による関与が強く示唆されるが、その原因を特定するまでには至っていない。一方、S. Enteritidisの急増は1989年に鶏卵を原因とする集団食中毒事件が東京都を始め全国的に多発したこと

(本誌第10巻、第8号及び第11号参照)、また、散発例も全国的に相当数にのぼったことによる。
今後これらの血清型菌の検出率がどのように推移していくのか興味のもたれるところである。
(細菌第一研究科 松下 秀)

表 6 ヒト由来ウイルス検出状況（東京）

(平成2年12月分)

ウイルス	／型	分離株数	採取年月	検査材料	採取理由
ECHO	30	1	11月	髄液	サーベランス
Mumps		1	〃	〃	熱性疾患（MMR）
Norwalk-like *		2	〃	ふん便	集団発生（疾患調査）
		9	12月	〃	〃
		3	〃	〃	定点観測
		1	〃	〃	サーベランス
Adeno	6	1	11月	〃	集団発生（疾患調査）

* 電顕法による検出

表 7 淋菌及びクラミジア検出状況

(平成2年12月分)

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 (男子尿道炎患者)	30	12 (1)	2 (－)	8
衛生研究所	4	1	－	－

淋菌及びクラミジア検出状況

(平成2年11月分)

検査機関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア* 陽性者数	クラミジア* 陽性者数
台東病院泌尿器科 (男子尿道炎患者)	22	7 (2)	2 (－)	5

* ELISA法による検出、() 内はペニシリナーゼ産生淋菌（PPNG）検出例再掲

表 8 梅毒血清反応試験成績

(平成2年12月分、衛生研究所)

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院・その他の依頼
検査件数	234	－	18	6
陽性件数	5 (3)	－	－	1 (1)

() 内は確認試験（TPHA 及び FTA－ABS 法）陽性件数

印刷物規格表 第2類
印刷番号 2－96

東京都微生物検査情報

Tokyo-to Biseibutsu Kensa Jōhō
(Monthly Epidemiological Record, Tokyo)

第 11 巻 第 13 号

(1990 年分)

平成 3 年 3 月 31 日発行
東京都立衛生研究所

微生物検査情報、1990 年のまとめ

1990 年 1～12 月の 1 年間における微生物検査成績のまとめは次の通りである。

表 1 に示すように、この 1 年間に都区各検査機関（東京都予防医学協会を除く）で細菌学的検査に付されたヒト由来材料の総検査件数は 696,695 件で、このうち 3,062 件は海外旅行者に由来するものであった。これら材料からの検出病原菌株数は総計 3,105 で、このうち 70 % に当たる 2,174 は衛生研究所（支所を含む）、残りの 931 は他の都区立各検査機関で分離されたものであった。なお、上記検出菌中海外旅行者由来のものは 1,402 株（45.2 %）であった。

検出病原菌の詳細を、全国の暫定的集計と併せて表 2 に示した。衛研の分離株はその大半が、集団食中毒患者や海外旅行者下痢症患者に由来するものである。食中毒事例からの検出菌は、前年と同様サルモネラによる食中毒が多発したことから、サルモネラが最も多く、次いで腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、腸管病原大腸菌、ウェルシュ菌の順であった。また、例年上位を占めるカンピロバクターは、本菌による集団食中毒事例がなかったため検出菌株数は少なかった。海外旅行者由来の分離菌株の頻度分布は例年同様、腸管病原大腸菌、サルモネラ、プレジオモナス、エロモナス、カンピロバクターの順であった。一方、他の都区立検査機関では、分離株の 72.9 % がサルモネラで、その大半は食品取扱い従事者の検便に由来する。第 2 位は前年同様腸管病原大腸菌で、次いでプレジオモナス、赤痢菌、エロモナス、カンピロバクターの順であり、それらの大部分は海外旅行者の

検便に由来する。他方、予防医学協会の分離株は全てサルモネラで、これらは学童などの健康人検便により検出されたものである。

表 3 は、検出赤痢菌の菌種と血清型をまとめたもので、参考までに全国集計（暫定）も併せて示した。東京都の検出数は前年より少なく 87 株で、菌種はソンネ（D 群）菌が 64 株（73.6 %）と最も多く、ついでフレクスナー（B 群）菌が 18 株（20.7 %）、ボイド（C 群）菌 4 件、および志賀（A 群）菌が 1 株であった。全検出菌株 87 中 73（83.9 %）は海外旅行者由来株で、志賀菌およびフレクスナー菌の全てがこの中に含まれる。なお、本年も前年と同様赤痢の集団発生で患者数が 10 名を越える事例はなかった。

表 4 には、検出腸管病原大腸菌数を病原性カテゴリー一別に表示した。東京都関係では 642 株中毒素原性大腸菌が 492 株（76.6 %）と最も高頻度であった。病原血清型大腸菌と組織侵入性大腸菌はそれぞれ 127 株（19.8 %）、23 株（3.6 %）であった。なお、これら腸管病原大腸菌の過半数は海外旅行者由来株であるが、本年は毒素原性大腸菌の国内由来株が 150 株と、例年より多く検出された。これは本菌による患者数 40 名以上の集団食中毒が 2 事例あったためである。この 2 事例由来株（149 株）は、いずれも耐熱性毒素産生菌であった。また、衛研で分離した病原血清型大腸菌のうち、Verotoxin を産生するものはなかった。

表 5 は、東京都各検査機関（予防医学協会も含む）で分離されたサルモネラ（チフス菌、パラチフス A 菌を除く）の血清型別結果のまとめである。

— 12 ページに続く —

表 1 検査機関別ヒト由来検査材

検査機関名	検査材料 取扱い件数	病 原 菌						
		コレラ菌		赤 痢 菌				
		O-1	O-1以外	A	B	C	D	計
千代田区神田保健所	11,804							
中央区中央保健所	25,130						1	1
港区保健衛生課検査係	33,858						1	1
新宿区四谷保健所	28,894							
文京区衛生試験所	17,195							
台東区下谷保健所	13,219						1	1
墨田区向島保健所	11,829							
江東区城東保健所	671							
“ 深川保健所	16,355							
品川区衛生試験所	24,558 (109)				1 (1)		2 (2)	3 (3)
目黒区衛生試験所	18,747							
大田区衛生試験所	38,964						3	3
世田谷区世田谷保険所	2,770							
渋谷区渋谷保健所	20,733							
中野区衛生試験所	27,185							
杉並区衛生試験所	31,601 (198)		1 (1)		3 (3)	1 (1)	7 (1)	11 (11)
豊島区池袋・長崎保健所	11,803							
北区衛生試験所	17,466						1	1
荒川区荒川保健所	9,431 (1)							
板橋区検査センター	42,282							
練馬区衛生試験所	44,191							
足立区衛生試験所	33,741 (61)				1 (1)		4 (2)	5 (3)
葛飾区葛飾北保健所	33,903						1	1
江戸川区江戸川保健所	37,343						2	2
小 計	553,673 (369)		1 (1)		5 (5)	1 (1)	23 (11)	29 (17)
東京都 三 鷹保健所	21,802							
八王子保健所	16,885							
田 無保健所	17,851						1	1
島しょ保健所 大 島	4,279							
三 宅	671							
八 丈	1,805							
小笠原	1,003							
小 計	63,293						1	1
衛生研究所 本 所	9,484 (2,672)	6 (6)	26 (23)	1 (1)	13 (13)	2 (2)	40 (40)	56 (56)
多摩支所	70,245 (21)					1		1
小 計	79,729 (2,693)	6 (6)	26 (23)	1 (1)	13 (13)	3 (2)	40 (40)	57 (56)
合 計	696,695 (3,062)	6 (6)	27 (24)	1 (1)	18 (18)	4 (3)	64 (51)	87 (73)

() 海外旅行者分再掲

料取扱い件数及び病原菌検出状況（１９９０年分）

検 出 状 況				合 計
チフス菌	パラチフス A 菌	その他のサルモネラ	その他の細菌	
		9		9
		33	3	37
		53	1	55
		27		27
2		20		22
		6		7
		7		7
		18	6	24
		47 (13)	66 (53)	116 (69)
		35		35
2		90		95
		2		2
		42		42
		39		39
		56 (20)	110 (108)	178 (140)
		12		12
		14	1	16
		13		13
		56	2	58
		45 (7)	29 (29)	79 (39)
		6		7
		19		21
4		649 (40)	218 (190)	901 (248)
		11		11
		8		8
		9		10
		1		1
		29		30
		515 (255)	1,535 (814)	2,138 (1,154)
		35		36
		550 (255)	1,535 (814)	2,174 (1,154)
4		1,228 (295)	1,753 (1,004)	3,105 (1,402)

表2 ヒト由来病原菌検出状況（全国及び東京、1990年）

菌 種 名		全 国*				東 京		
		地 研 ・ 保 健 所	一 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 研	保 健 所	予 防 医 学 会 協 会
大 腸 菌		1,250 (665)	1,600 (2)	41 (30)	191 (191)	444 (290)	99 (92)	
赤痢菌 (A—D群)		374 (222)	71 (30)	339 (292)	255 (255)	57 (56)	30 (17)	
チ フ ス 菌		42 (14)	13 (3)	49 (33)	1 (1)		4	
パラチフス A 菌		9 (2)	11 (1)	12 (10)				
そ の 他 の サ ル モ ネ ラ	O4 (B)	903 (140)	893	47 (8)	75 (75)	82 (57)	107 (6)	35
	O7 (C ₁ 、 ₄)	1,268 (128)	464	21 (8)	27 (27)	192 (53)	273 (5)	53
	O8 (C ₂ 、 ₃)	894 (226)	512 (1)	24 (10)	69 (69)	87 (66)	162 (9)	72
	O9 (D ₁)	1,080 (65)	689	56 (6)	29 (29)	127 (24)	57 (9)	19
	O9、46 (D ₂)	20 (1)	13					
	O3、10 (E ₁ 、 ₂ 、 ₃)	228 (117)	33 (1)	6 (5)	78 (78)	37 (32)	39 (9)	10
	O1、3、19 (E ₄)	44 (30)	5	2 (2)	25 (25)	12 (12)	8 (2)	3
	O13 (G ₁ 、 ₂)	45 (7)	12		4 (4)	5 (3)	8 (1)	2
	O18 (K)	48 (12)	21	1	5 (5)	7 (7)	11	5
	(その他)	35 (5)	28	3 (3)	4 (4)	1 (1)	12	1
(群不明)		38 (7)	66		13 (13)		1	3
エルシニア・エンテロリチカ		41 (29)	152					
偽 結 核 菌			10					
コレラ菌(Ogawa)毒素+		43 (34)	2 (2)	19 (17)	21 (21)	4 (4)		
" (Ogawa)毒素-		4 (4)		1 (1)	8 (8)	1 (1)		
" (Inaba)毒素+		9 (7)	1 (1)	4 (4)	3 (3)	1 (1)		
" (Inaba)毒素-					1 (1)			
" (O1以外)		66 (47)	23	5 (4)	163 (163)	26 (23)	1 (1)	
腸 炎 ビ ブ リ オ		1,912 (184)	893	52 (12)	752 (752)	356 (95)	16 (16)	
ビブリオ・フルビアリス		44 (19)	38	2 (2)	34 (34)	11 (7)		
ビブリオ・ミミカス		19 (16)	7 (1)		18 (18)	1 (1)		
エ ロ モ ナ ス		241 (201)	299	17 (7)	11 (11)	145 (145)	27 (27)	
プレジオモナス		442 (406)	35	24 (24)	879 (879)	163 (159)	51 (37)	
カンピロバクター		945 (158)	6,169	68 (16)		132 (119)	16 (16)	
黄色ブドウ球菌		650	687	4 (2)	3 (3)	165	5	
ウェルシュ菌		373	100			104		
ボツリヌス菌								
セ レ ウ ス 菌		64	59			16		
淋 菌		381						
髄 膜 炎 菌		5						
レンサ球菌 (A群)		1,232						
" (B群)		186						
" (C群)		11						
" (G群)		45						
" (不明)		7						
肺 炎 球 菌		25						
百 日 咳 菌		119						
インフルエンザ菌		6						
肺 炎 桿 菌		7 (1)						
赤 痢 ア メ ー バ		10	11	55 (16)				
マ ラ リ ア		1 (1)						
その他の細菌		57 (1)		35 (10)	10 (10)			

() : 海外旅行者分再掲、* : 暫定集計

表3 検出赤痢菌の菌型（全国及び東京、1990年）

菌 型	全 国*				東 京		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 研	保 健 所	予 防 医 学 協 会
A群	2	2(2)		2(2)	3(3)		
	3	2(2)		2(1)	1(1)		
	4	1(1)			1(1)		
	6			1(1)	1(1)		
	7			1(1)			
	9	1(1)	1				
	11			1(1)	1(1)		
	型不明			1(1)			
B群	1a		1(1)	1(1)			
	1b	3(1)	1(1)	8(7)	1(1)		
	1	1(1)					
	2a	31(21)	9(2)	31(23)	18(18)	5(5)	2(2)
	2b	3(1)			1(1)		
	3a	13(12)	1	18(17)	14(14)	3(3)	
	3b	1(1)		1	1(1)		
	4a	15(3)	2(2)	2(2)	2(2)		1(1)
	4	2(1)		5(4)		3(3)	
	5a	1(1)					
	5b				1(1)		
	6	5(5)		9(8)	6(6)	1(1)	2(2)
	V-X		1	1			
	V-Y	2(1)		1(1)			
	型不明	4(4)		5(5)			
C群	1	1(1)		2(2)	1(1)		
	2			1(1)	2(2)		
	4	5(4)			4(4)		
	5			1(1)	1(1)		
	7			1(1)	1(1)		
	8	2(2)	1(1)	3(3)	1(1)	1(1)	
	10				1(1)		
	11	4(4)	1		1(1)		
	12				1		
	13	1(1)			1(1)		
	15		1(1)	1(1)			
	18	1(1)	1(1)	2(2)	1(1)		
	型不明	2(1)					
D群		270(149)	52(22)	235(204)	193(193)	40(40)	24(11)
不 明				3(3)			
合 計		374(222)	71(30)	339(292)	255(255)	57(56)	30(17)

*：暫定数

表4 検出腸管病原大腸菌の内訳(全国及び東京、1990年)

大腸菌	全 国*				東 京		
	地 研 ・ 保 健 所	一 般 医 療 機 関	都 市 立 伝 染 病 院	検 疫 所	衛 研	保 健 所	予 防 医 学 会 協 会
毒素原性大腸菌	632 (305)	65 (1)	16 (16)	132 (132)	433 (283)	59 (59)	
組織侵入性大腸菌	79 (19)	61	3 (3)	10 (10)	15 (10)	8 (3)	
病原血清型大腸菌	393 (222)	1,040 (1)	20 (11)	49 (49)	95 (89)	32 (30)	
不 明	146 (119)	434	2				
合 計	1,250 (665)	1,600 (2)	41 (30)	191 (191)	543 (382)	99 (92)	

* : 暫定数

表5 東京都関係検出サルモラの血清型(チフス菌およびパラチフスA菌を除く)

O群	血 清 型	分離菌株数	O群	血 清 型	分離菌株数
O 4 (B)	S. Typhimurium	54 (13)	O 7 (C1, C4)	S. Isangi	9 (2)
	S. Agona	33 (14)		S. Ohio	8 (7)
	S. Derby	27 (10)		S. Livingstone	8 (3)
	S. Schwarzengrund	20 (1)		S. Othmarschen	7 (1)
	S. Brandenburg	16		S. Bareilly	5 (1)
	S. Stanley	12 (9)		S. Singapore	4 (2)
	S. Paratyphi B	12 (1)		S. Hartford	3
	S. Saintpaul	5 (2)		S. Oranienburg	2
	S. Heiderberg	5 (1)		S. Lomita	2
	S. Sandiego	4		S. Richmond	1 (1)
	S. Bredeney	3		S. Rissen	1 (1)
	S. Essen	2		S. Georgia	1
	S. Indiana	1 (1)		S. Galiema	1
	S. Fylis	1		S. Riggil	1
	S. (d, -)	11		S. (r, -)	2 (1)
	S. (b, -)	4		S. (k, -)	2
	S. II 1,4,12,27:b,e,n,x*	1		検討中	6 (2)
	検討中	13 (1)			
小 計		224 (63)	小 計		518 (58)
O 7 (C1, C4)	S. Thompson	187 (2)	O 8 (C2, C3)	S. Hadar	139 (33)
	S. Tennessee	71 (1)		S. Litchfield	65
	S. Montevideo	59 (7)		S. Brockley	49 (18)
	S. Infantis	48 (3)		S. Newport	32 (8)
	S. Mbandaka	47 (2)		S. Chailey	7
	S. Virchow	20 (14)		S. Kentucky	6 (5)
	S. Braenderup	13 (5)		S. Emek	4 (2)
	S. Potsdam	10 (3)		S. Albany	3 (3)
				S. Manhattan	3 (1)

表5 東京都関係検出サルモネラの血清型 ー続ー

O群	血 清 型	分離菌株数	O群	血 清 型	分離菌株数
O 8 (C2,C3)	<i>S. Bovismorbificans</i>	2 (1)	O11 (F)	<i>S. Aberdeen</i>	1
	<i>S. Muenchen</i>	2			
	<i>S. Tananarive</i>	1 (1)	O13 (G)	<i>S. Putten</i>	6
	<i>S. Puraha</i>	1		<i>S. Havana</i>	4 (2)
	<i>S. Duesseldrof</i>	1		<i>S. Poona</i>	1 (1)
	検討中	6 (3)		<i>S. Grumpensis</i>	1 (1)
	小 計	321 (75)		<i>S. Worthington</i>	1
O 9 (D 1)	<i>S. Enteritidis</i>	174 (10)	小 計		13 (4)
	<i>S. Berta</i>	12 (12)	O16 (I)	<i>S. Gaminara</i>	2
	<i>S. Panama</i>	9 (5)		<i>S. Hvittingfoss</i>	1 (1)
	<i>S. Javiana</i>	6 (5)		検討中	2
	<i>S. Eastborne</i>	1 (1)	小 計		5 (1)
	検討中	1	O18 (K)	<i>S. Cerro</i>	23 (7)
O3, 10 (E1, E2, E3)	<i>S. Anatum</i>	32 (18)	O39 (Q)	<i>S. Champaign</i>	9
	<i>S. Weltevreden</i>	12	O40 (R)	<i>S. Harburg</i>	1
	<i>S. Muenster</i>	12	不 明	検討中	4
	<i>S. London</i>	11 (5)	合 計		1,431 (296)
	<i>S. Lexington</i>	7 (5)	() : 海外旅行者分再掲 * = <i>S. Sofia</i>		
	<i>S. Give</i>	5			
	<i>S. Meleagridis</i>	2 (1)			
	<i>S. Orion</i>	1 (1)			
	<i>S. Amsterdam</i>	1 (1)			
	<i>S. Zanzibar</i>	1			
	検討中	2 (1)			
小 計		86 (41)			
O1, 3, 19 (E 4)	<i>S. Senftenberg</i>	14 (7)			
	<i>S. Krefeld</i>	7 (7)			
	<i>S. Liverpool</i>	1			
	検討中	1			
小 計		23 (14)			

表6 東京都で検出されたチフス菌のファージ型別結果(1990年)

患者 No	患者住所	診 定 日	検 出 菌 の ファージ型	推 定 感 染 地 等
1*	葛 飾 区	1.27	M1	アメリカ
2*	墨 田 区	3.21	O	インド
3*	文 京 区	4.12	D2	インドネシア
4*	北 区	4.19	A	インド
5*	国 立 市	4.20	UVS1	インド
6*	板 橋 区	4.23	A	ブラジル
7*	江 戸 川 区	4.24	UVS1	インド
8*	杉 並 区	4.24	UVS1	インド
9*	墨 田 区	5. 6	O	インド
10*	練 馬 区	5.25	D2	インドネシア
11*	豊 島 区	5.30	B1	フィリピン留学生
12*	町 田 市	7.13	DVS	ドイツ、又はフランス
13*	北 区	7.16	UVS1	インドネシア
14*	ジャカルタ市	7.23	D2	インドネシア在留邦人
15*	東 大 和 市	8. 2	A	フィリピン人
16*	東久留米市	8.15	E1	フィリピン
17*	葛 飾 区	8.22	M1	パキスタン
18*	大 田 区	8.30	D2	インドネシア
19*	渋谷 区	9. 7	E2	イタリア、又はフランス
20	文 京 区	9.13	A	
21	文 京 区	9.13	A	
22	文 京 区	9.16	A	
23	文 京 区	9.16	A	
24*	品 川 区	9.18	D2	インドネシア
25*	品 川 区	9.20	DVS	パキスタン人
26*	日 野 市	9.28	46	パキスタン人
27*	品 川 区	10. 2	UVS1	インドネシア
28	大 田 区	10. 2	E11	
29*	調 布 市	10. 4	46	チリー
30	大 田 区	11. 5	E1	
31*	大 田 区	11.27	UVS1	外国人(国籍不明)

国立予防衛生研究所による結果

注：UVS1=Untypable Vi strain 1 (型別不能1)

DVS=Degraded Vi positive strain (A—degraded と同意)

*海外旅行者

表7 東京都で検出されたパラチフスA菌のフェージ型別結果(1990年)

患者 No	患者住所	診 定 日	検 出 菌 の フェージ型	推 定 感 染 地 等
1*	世 田 谷 区	4.18	1	タイ
2*	北 区	5. 1	2	タイ
3*	多 摩 市	7.11	1	インドネシア
4*	中 野 区	7.18	1	シンガポール、タイ、エジプト、トルコ、 ネパール、イラン、パキスタン、又はインド
5*	朝 霞 市	7.20	1	タイ
6*	北 区	10.19	1	インドネシア
7	江 戸 川 区	12. 8	1	

国立予防衛生研究所による検査結果

注：* 海外旅行者

表8 東京都において確認された輸入消化器系伝染病患者の推定感染地(1990年)

推定 感染地 疾病			中 国	台 湾	香 港	イ ン ド ネ シ ア	フ ィ リ ピ ン	タ イ ラ ン	シ ン ガ ポ ー ル	ベ ー リ ン グ	イ ン ド ネ シ ア	ネ パ ー ル	パ キ ス タ ン	ア ジ ア 複 数 国	ト ル コ	エ ジ プ ト	ケ ー ン ヤ	ペ ー ル ス	ブ ル ガ リ ヤ	メ キ シ コ	ア メ リ カ 合 衆 国	不 明	合 計	
細菌 性 赤 痢	A 群	不明								2						1						2		5
	B 群	1b																				1		1
		2a			1	1		2			1	1										4		10
		3a				1		1			4						1				1		1	9
		3b																				2		2
		4a									1													1
		4							1		1													2
		6					2				2	1												5
	V-Y									1													1	
	不明				2		1		3			2		2							5		15	
C 群	1								1														1	
	7															1							1	
	8									1											1		2	
D 群	10									1													1	
	12																				1		1	
	不明									1													1	
計			1	1	2	23	10	31	6	1	50	3	1	5	1	5	2	2		2		56	202	
赤痢アメーバ					1		3														2		6	
コレラ				1		2	5			2	1				1						3		15	
腸チフス					6	2				5		3						1		1	5		23	
パラチフスA							2														5		7	

表9 尿道炎患者からの淋菌及びクラミジア検出状況(1990年)

検 査 機 関	被検者数	淋菌陽性者数	淋菌・クラミジア陽性者数	クラミジア陽性者数
台東病院泌尿器科 (男子尿道炎患者)	309	87(7)	21(—)	78
衛 生 研 究 所	98	6	—	10

() : PPNG(ペニシリナーゼ産生淋菌)検出例再掲

クラミジアの検出は抗原直接検出法(酵素抗体法)による

表10 梅毒血清反応試験成績(1990年)

都立衛生研究所

	一般健康検診	妊娠時検診	婚姻時検診	病院その他の依頼
検 査 件 数	1,422	2	371	139
陽 性 件 数	58(44)	—	6	21(20)

() : 確認試験陽性件数

表11 由来別ウイルス検出状況(衛生研究所、1990年)

検 査 材 料	検査件数	ウイルス陽性数	検 出 ウ イ ル ス							
			コ ク サ ッ キ ル	エ コ リ オ	ポ ル エン ザ	イン フ ル ン ザ	ム ン プ ス	ロ* 球 形	小** 型 球 形	ア デ ノ
咽頭ぬぐい液 (うがい液を含む)	174	42	4	4	・	30	・	・	・	4
糞 便	1,035	185	8	33	1	・	・	15	111	17
そ の 他	120	26	1	12	・	・	13	・	・	・
合 計	1,329	253	13	49	1	30	13	15	111	21

* : ELISA法

** : 電頭法による検出

・ : 検査実施せず

表 12 月別ウイルス検出数（衛生研究所、1990 年）

検出ウイルス／型	12月*	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	小計	合計
コクサッキー A9									2	1	1			4	13
B1							1							1	
2										1			4	5	
3											1			1	
5										2				2	
エコー 3							1							1	49
6										2	6			8	
11											1			1	
14									1	14	1			16	
21				1										1	
24							3			1	1			5	
25								1		2				3	
30											12	2		14	
ポリオ 3									1						1
インフルエンザ															
AH3	1	9												10	30
B		11	9											20	
ムンプス				1	2	1	2	4	1	1	1				13
ロ タ		2	2	7	2								2		15
小型球形 (SRV)	3	30	18	13	20	3						11	14		111
ア デ ノ 1				1	1					4				6	21
2								1		1	1			3	
3	1				1								1	3	
5										2				2	
6												1		1	
11					1									1	
40					1									1	
41				1					1					2	
不明								2						2	
合 計	5	51	29	22	27	7	7	8	6	31	24	15	21		253

*：1989 年未掲載追加分

検出された血清型は、国内由来株では 68 種類、海外由来株では 53 種類で、全体では 80 種類（12 の O 群）にものぼった。高頻度に検出された血清型は国内分離株では *S. Tompson*、*S. Enteritidis*、*S. Hadar*、*S. Tennessee*、*S. Litchfield* など、例年検出頻度が上位にある *S. Typhimurium* は第 7 位であった。*S. Tompson* や *S. Enteritidis* が高頻度なのは本菌による集団食中毒事例及び散発例が多発したことによる。海外由来株では 1986 年から漸次増加傾向にあった *S. Hadar* が第 1 位を占め、以下 *S. Brockley* *S. Anatum*、*S. Agona*、*S. Virchow* など例年と大差はない。

表 6 及び 7 には、それぞれチフス菌とパラチフス A 菌分離株（東京都関係）のファージ型別結果（国立予防衛生研究所ファージ型別室で実施）を示した。検出チフス菌 31 株中 25 株（80.6 %）は海外での感染例由来であり、うち 6 例は外国人による持込みであった。パラチフス A 菌の検出数は 7 株で、そのうち海外由来例からのものは 6 株（85.7 %）であった。検出された 31 株のチフス菌のうち 21 例が血液、8 例が糞便由来であった。また、パラチフス A 菌は全例が血液由来であった。

表 8 は、消化器系伝染病患者のうち海外で罹患したと推定される症例の推定感染地を疾病別にまとめたものである（東京都医療福祉部結核感染症課資料による）。細菌性赤痢が 202 例と最も多いが、その主な推定感染地は例年同様インド、タイ、インドネシアなどであった。また、コレラが 15 例、腸チフス 23 例、パラチフス 7 例、アメーバ赤痢 6 例で、これらのほとんどがアジア地域での感染例と推定されている。なお、表には示さなかったが、

アメーバ赤痢の国内発生が 13 例認められている。

都立台東病院泌尿器科および衛研における淋菌およびクラミジアの検出状況を表 9 に示した。検査総数は両者あわせて 407 例で、そのうち淋菌は 93（22.9 %）、クラミジア検出例は 88（21.6 %）で、昨年と同様の陽性率であった。これらに加え、両者が同時に陽性であったものが 21 例（5.2 %）認められた。なお、ペニシリナーゼ産生性淋菌（PPNG）が 7 例（1.7 %）から検出されている。この PPNG の検出率は全淋菌分離株 114 の 6.1 % に当たり、前年（26.6 %）より低率であった。

衛研本所及び支所で実施した梅毒血清反応の成績を表 10 に示した。取扱い総数 1,934 件のうち、ガラス板法、緒方法（あるいはガラス板法、RPR カード法）によるスクリーニング（STS 法）での陽性は 85 件（4.4 %）で、このうち確認試験（TPHA 法及び FTA-ABS 法）で陽性であったものは 64 件（3.3 %）であった。

表 11 及び 12 には、衛生研究所において実施したウイルス検査の成績を示した。本年の検査件数は糞便や咽頭ぬぐい液など合計 1,329 件で、これらのうち 253 件（19.0 %）から病原ウイルスが検出された。検出ウイルスはコクサッキーウイルスなど 8 種で、それぞれの抗原型を加味するとその種類は 28 にわたる。主要検出ウイルスは例年同様小型球形ウイルス（SRV）で、冬季に発生したカキが原因食品と推定された食中毒患者から高率に検出された。次いで高頻度に検出されたのはエコーウイルスで、これは昨年全国各地でエコーウイルス 30 型による無菌性髄膜炎の流行があり、東京都においても、10 月に本ウイルスによる集団例が認められたことによる。

（細菌第一研究科 山田澄夫）

